

資料：11.15 第3回鶴岡市櫛引地域婚活支援対策検討会

**「地域社会で取り組む婚活支援のあり方」に関する
検討のまとめ（案）**

平成22年11月15日

鶴岡市櫛引地域婚活支援対策検討会

目 次

1	検討会の概要	1
	(1) 趣 旨	
	(2) 検討経緯	
2	未婚者の現状と課題	
	(1) 結婚について	
	①結婚に遠い現状	2
	②婚活にはまだまだ消極的	6
	③結婚観の多様化	8
	(2) 生活について	
	①コミュニケーションの機会の不足（特に男性）	11
	②コミュニケーションに対する苦手意識	12
	③人生設計を軽視する傾向	13
	(3) 子育てについて	15
3	若者が結婚したいと思える、 結婚したい人が結婚しやすい地域社会の実現に向けて	18

資料編

「20～40代の市民の生活・意識に関するアンケート調査（第2次集計・分析）」

1. 検討会の概要

櫛引地域内の地区区長、女性団体の代表、結婚活動支援の実践者、櫛引庁舎管理職が集まり、鶴岡市櫛引地域婚活支援対策検討会を設置し、「20～40代の市民の生活・意識に関するアンケート調査」集計・分析に関する意見交換、県委託婚活支援コーディネーターの講話、鶴岡市婚活支援講演会への参加を通じて、「地域社会で取り組む婚活支援のあり方」について検討しました。

鶴岡市櫛引地域婚活支援対策検討会	
目的	少子化問題の大きな課題の一つである未婚化・晩婚化の地域実態を把握するための調査、検討を行い、結婚について地域社会全体で支援していく機運醸成を図っていくとともに、地域社会で取り組む結婚支援のあり方について検討する。
検討	<ul style="list-style-type: none"> 平成21年7月から平成22年11月にかけて、検討会3回開催 「20～40代の市民の生活・意識に関するアンケート調査」集計・分析に関する意見交換 「地域社会で取り組む婚活支援のあり方」についての検討
構成員	櫛引地域内の地区区長、女性団体の代表、結婚活動支援の実践者、櫛引庁舎管理職

○「20～40代の市民の生活・意識に関するアンケート調査」概要

項目	内容
目的	未婚者の結婚支援対策等の基礎資料とする
対象者	櫛引地域に住所を有する20～40代の全ての市民 対象者数：2,356人（H22.6月末現在）
実施方法	無記名／区長配布・区長回収
設問	回答者の属性・生活について・結婚について・子育てについて 等
実施時期	配布：8月上旬（区長配布7月30日） 回収：8月下旬
回収率	69.1%（回収数1,627件）

未婚者の現状と課題

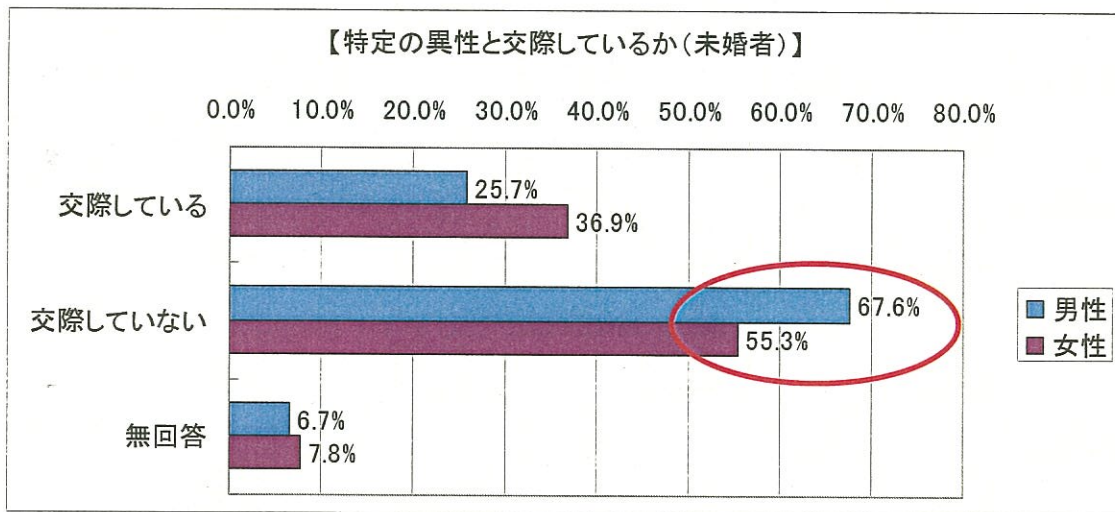
(「20～40代の市民の生活・意識に関するアンケート調査」第2次集計・分析より)

1. 結婚について

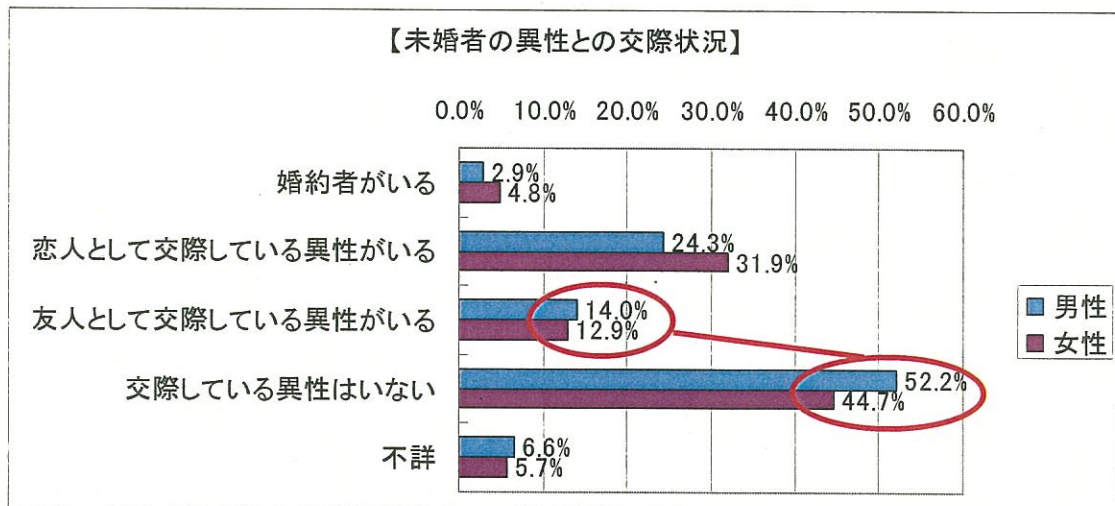
(1) 「結婚に遠い現状」

① 交際率の低さ

「特定の異性と交際していない」人の割合が、男性67.6%、女性55.3%となっており、異性と交際している割合の低さが伺われます。(全国調査でも同様の状況。「交際している異性はいない」「友人として交際している異性がいる」の合計が、男性は66.2%、女性は57.6%)



出典：「20～40代の市民の生活・意識に関するアンケート調査(平成22年)」(鶴岡市榭引地域)



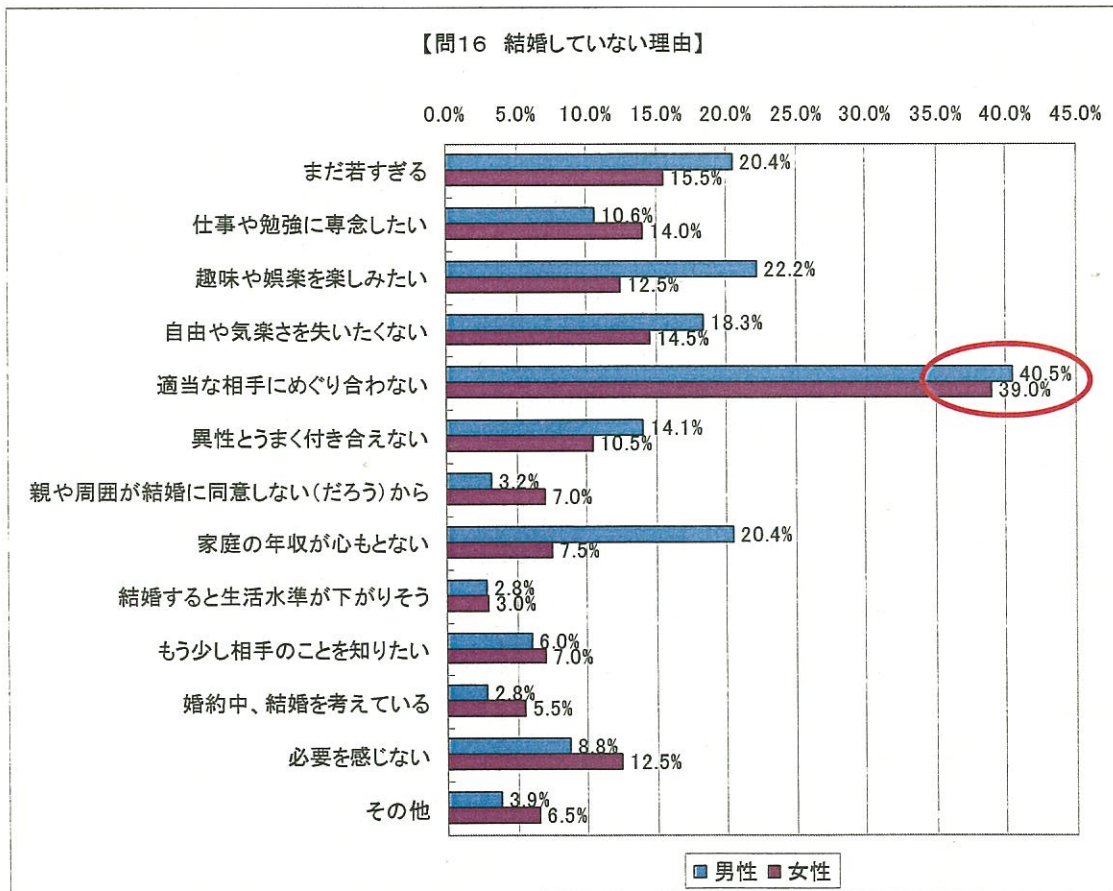
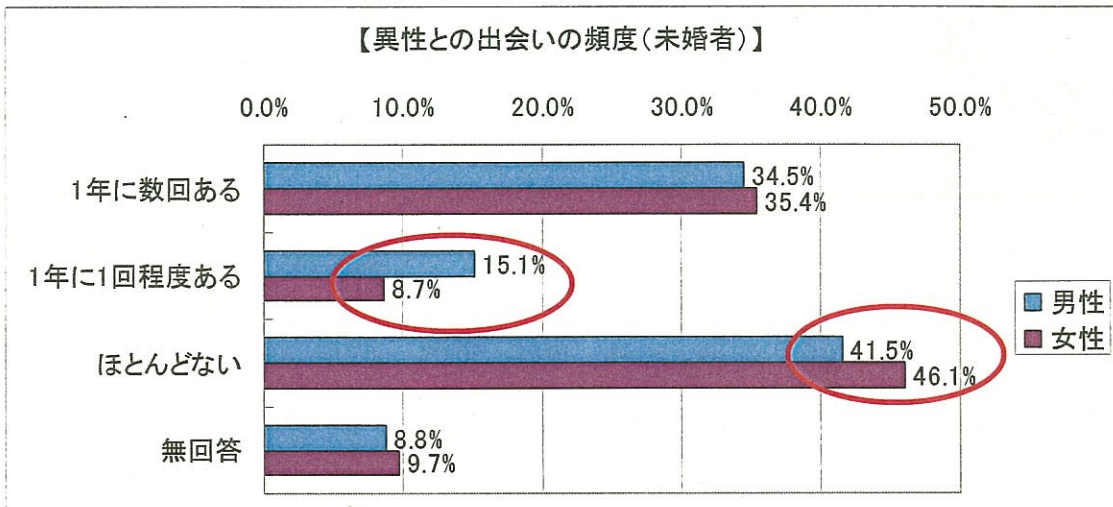
出典：出生動向基本調査「結婚と出産に関する全国調査—独身者調査(2005)」(国立社会保障・人口問題研究所)

※対象者は全国の18～34歳未婚者

②出会いの機会の少なさ

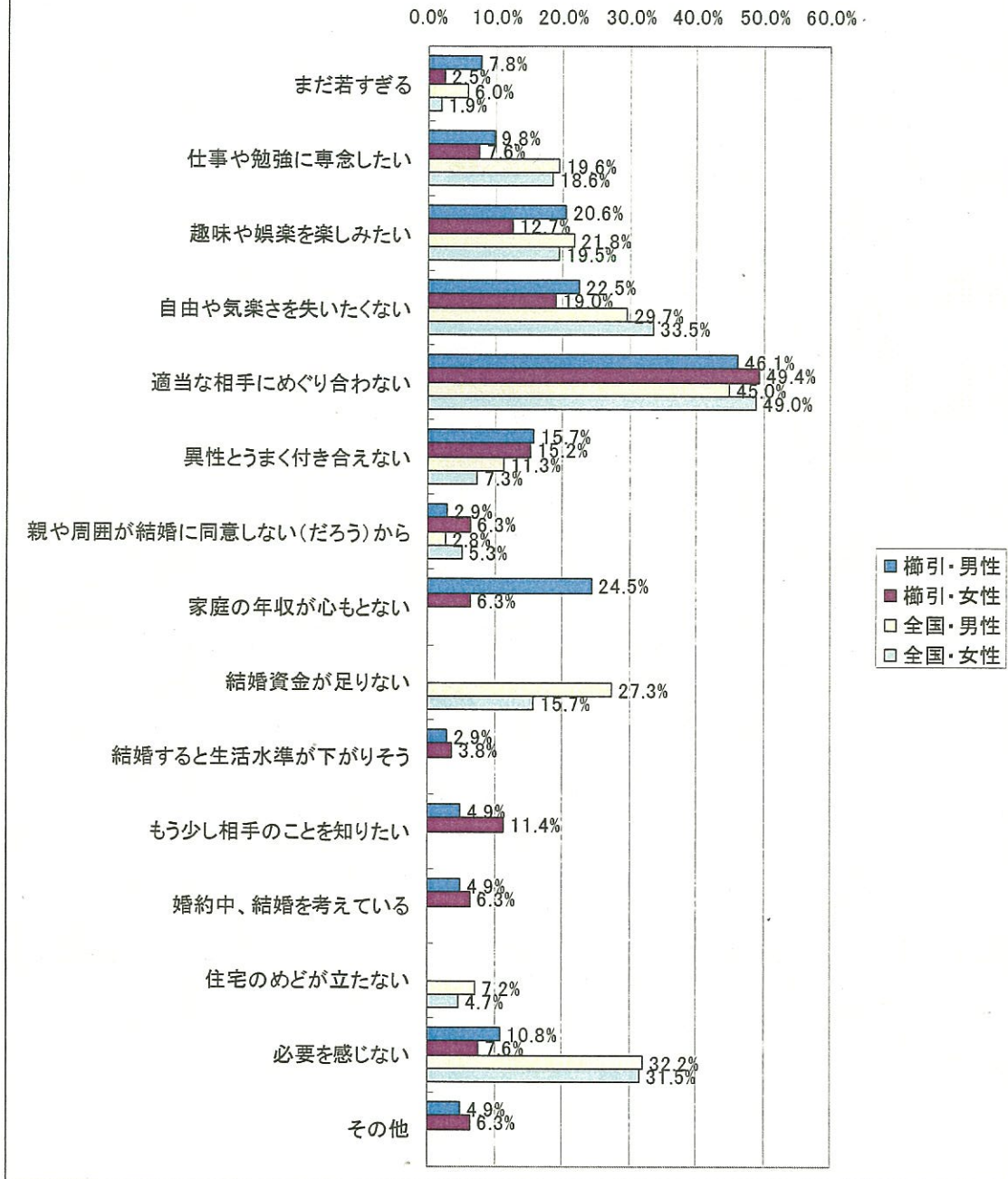
「同じ年代の異性と新たに出会う機会」について、「1年に1回程度ある」「ほとんどない」人は、男性56.6%、女性54.8%となっており、出会いの機会が少ない状況が伺われます。

また、「どのような理由で結婚していませんか」の問に対し、「適当な相手にめぐり合わない」と回答した人がもっとも多く、男性40.5%、女性39.0%となっています(全国調査でも同様の状況)。単に出会いが少ないため「適当な相手にめぐり合わない」ということだけでなく、「適当な相手=自分が求める相手」に出会わない、つまり「結婚相手の理想が高い」のではないかということも一方では考えられそうです。



出典：「20～40代の市民の生活・意識に関するアンケート調査(平成22年)」(鶴岡市榭引地域)

【結婚していない理由(25～34歳・全国との比較)】



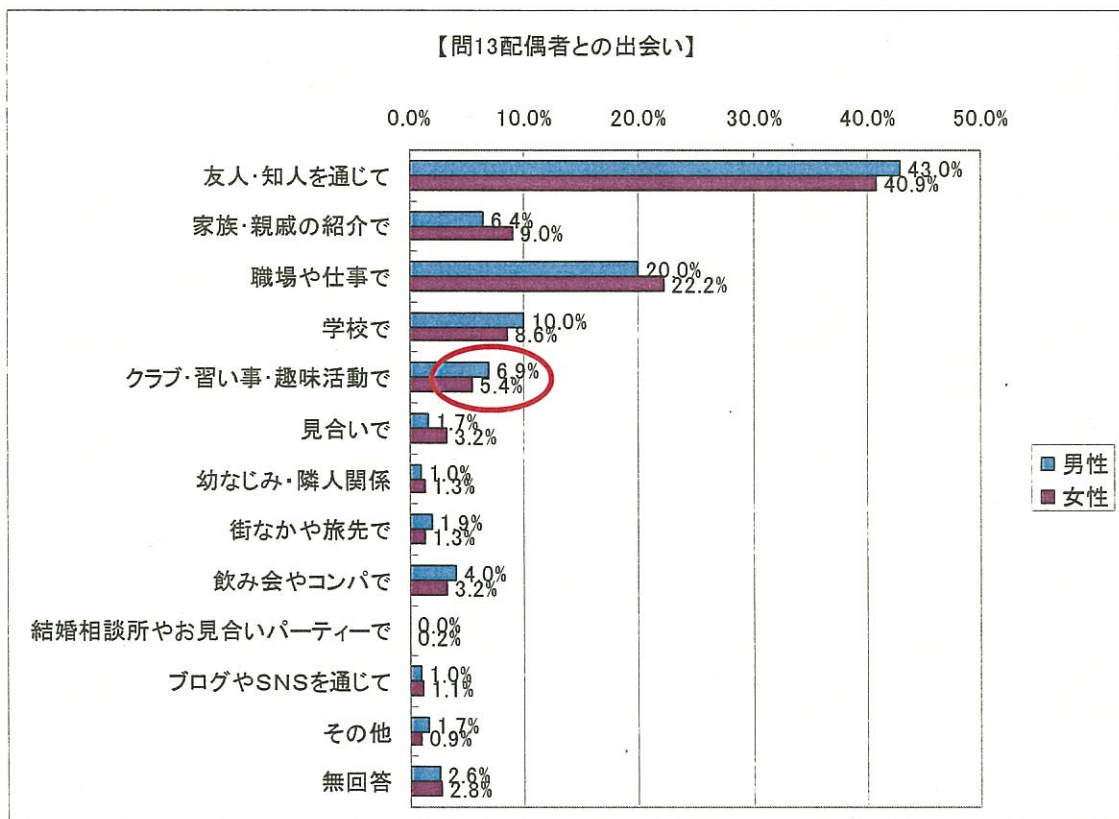
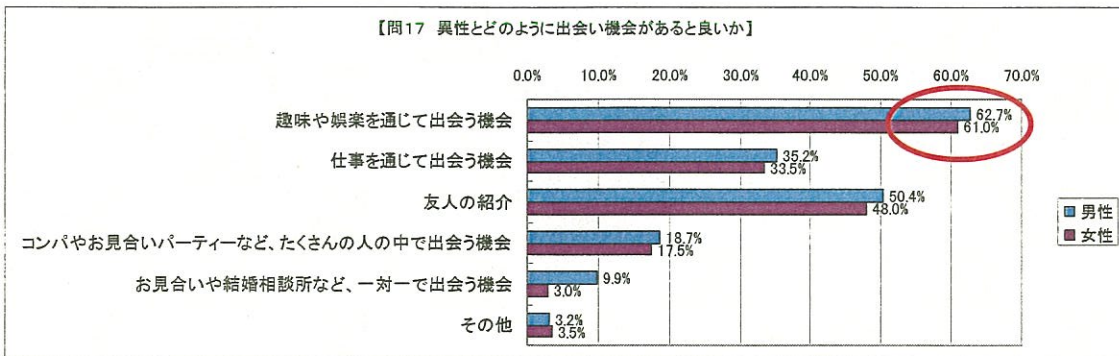
出典：「20～40代の市民の生活・意識に関するアンケート調査(平成22年)」(鶴岡市榑引地域)

出生動向基本調査「結婚と出産に関する全国調査－独身者調査(2005)」(国立社会保障・人口問題研究所) ※対象者は全国の18～34歳未婚者

③ 出会いにおける理想と現実のギャップ

「異性とどのように出会う機会があると良いか」について、「趣味や娯楽を通じて出会う機会（男性62.7%、女性61.0%）」と回答した人の割合がもっとも高く、ソフトな出会いを求める傾向にあります。

一方、既婚者の配偶者との出会いのきっかけについて、「クラブ・習い事・趣味活動で」と回答した人の割合は、男性6.9%、女性5.4%と低くなっており、「未婚者が期待する異性との出会い（理想）」と「既婚者が配偶者と出会ったきっかけ（現実）」にギャップがあることが伺われます。



出典：「20～40代の市民の生活・意識に関するアンケート調査（平成22年）」（鶴岡市榑引地域）

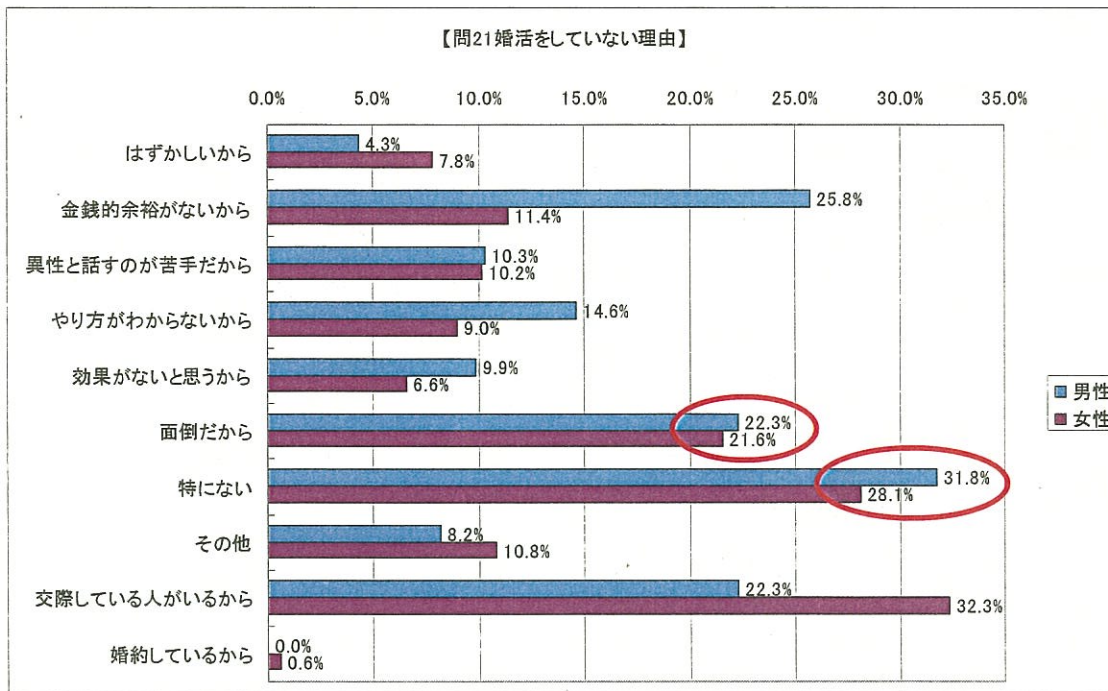
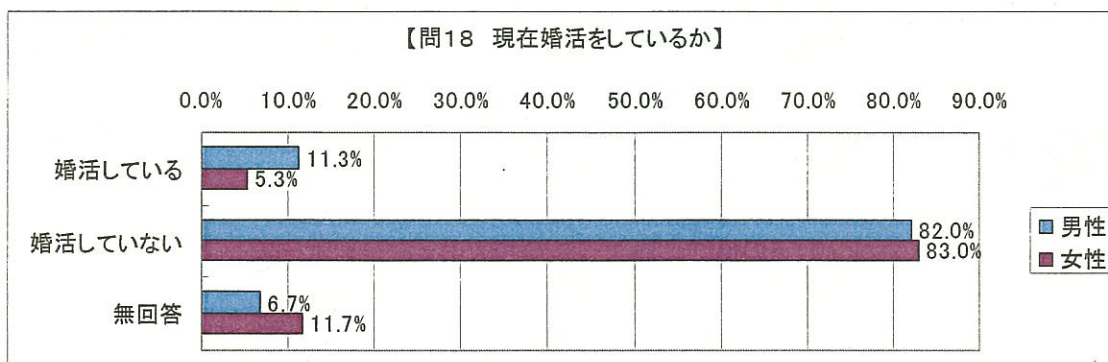
(2) 婚活にはまだまだ消極的

未婚者の中で「婚活していない」人の割合は8割を超えています。

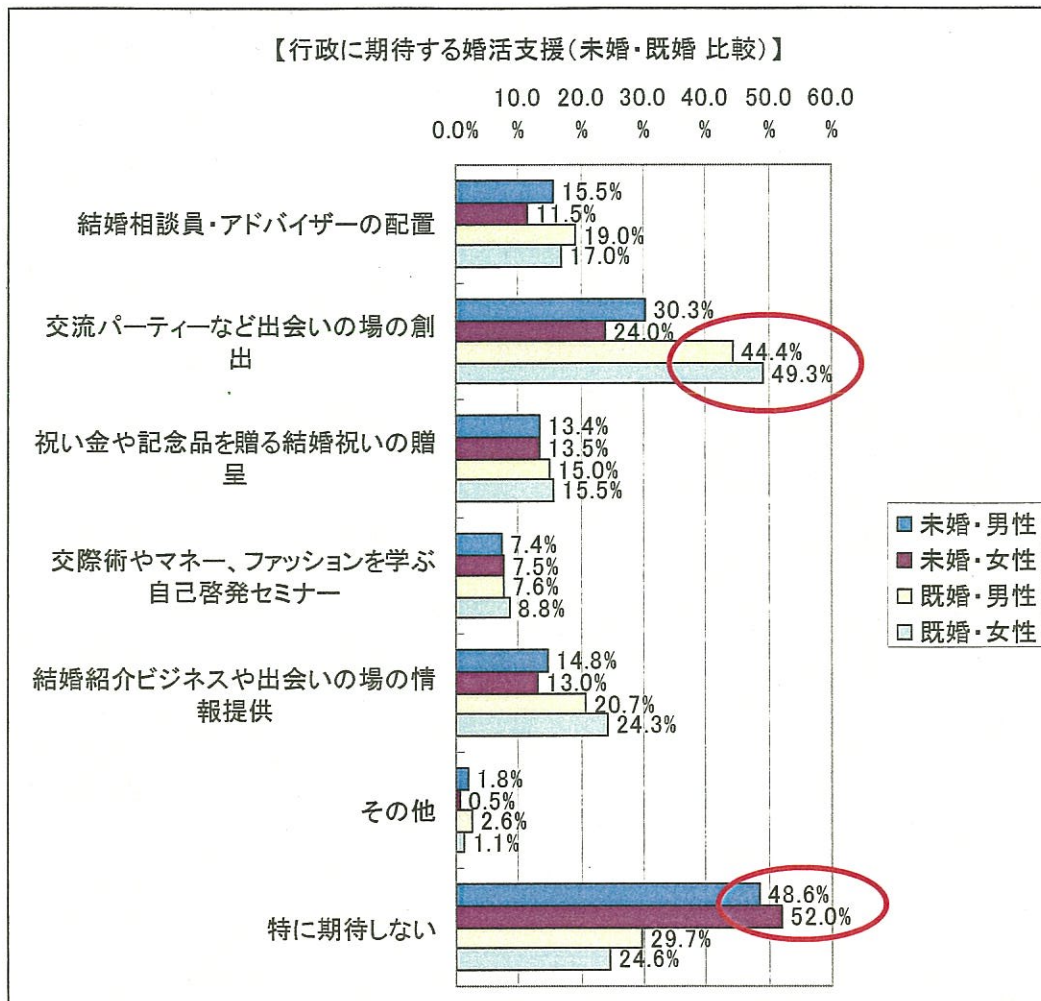
婚活をしない理由についても、「特にない」がもっとも多く、結婚に向けた行動について消極的で「待ち」の姿勢がうかがわれます。

また、行政にどのような支援を期待するかについて、「特に期待しない(男性48.6%、女性52.0%)」がもっとも高く、一方、既婚者では「交流パーティーなど出会いの場の創出(男性44.4%、女性49.3%)」がもっとも高くなっており、当事者とその周りでは、行政の婚活支援に対する意識に開きがある状況が伺われます。

こうした中で、未婚者に「結婚難時代」であることを意識させ、一日も早く婚活に前向きになれるよう意識啓発することが重要であるとともに、婚活における行政の適切な関わり方を探ることが課題であると言えます。



出典：「20～40代の市民の生活・意識に関するアンケート調査（平成22年）」（鶴岡市樺引地域）



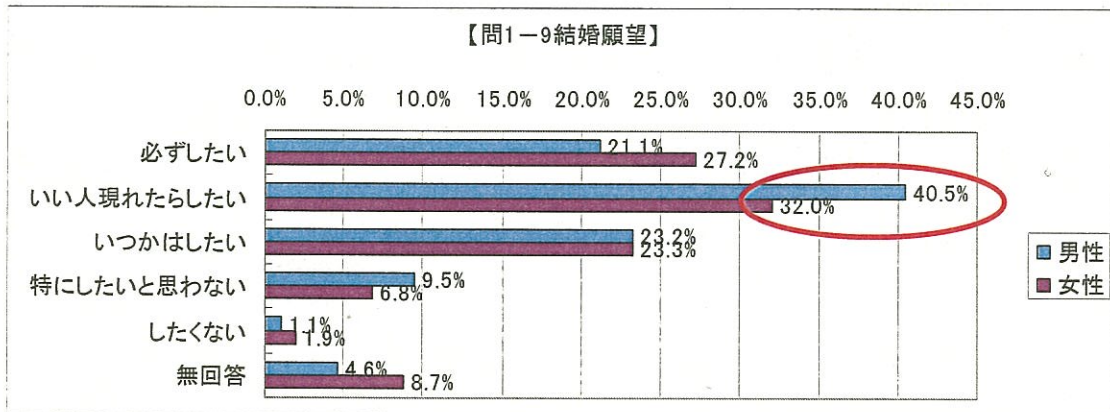
出典：「20～40代の市民の生活・意識に関するアンケート調査（平成22年）」（鶴岡市楸引地域）

(3) 結婚観の多様化

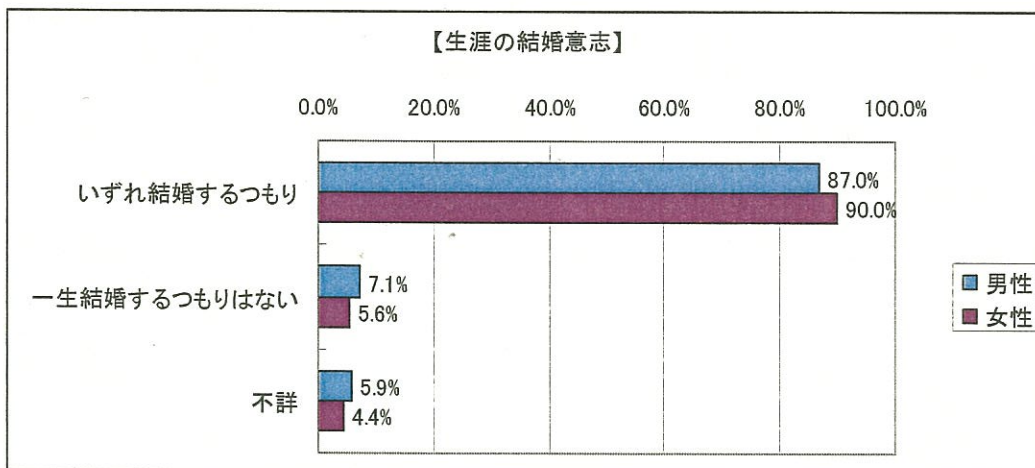
未婚者のうち「結婚したい」人の割合は、8割を超えています。この状況は、全国調査と比較しても同じような状況です。ただし、「いい人が現れたら結婚したい」人の割合がもっとも高く、男性40.5%、女性32.0%で、結婚について価値観が多様であることが伺われます。

また、結婚への喜びや希望について、「非常に感じる」人は、男性14.8%、女性19.9%と少数で、「どちらかといえば感じない」「全く感じない」「どちらともいえない」の合計が、男女とも34.5%となっており、結婚にそれほど魅力を感じない人が多い状況です。一方、既婚者は未婚者と比べて「結婚」や「子供や家族を持てる」ことに喜びや利点を感じている人の割合が高くなっています。

このように結婚観が多様化する中、結婚に魅力を感じない人が多いことが課題であり、「結婚」や「家族」「子育て」のイメージアップが必要であると考えられます。

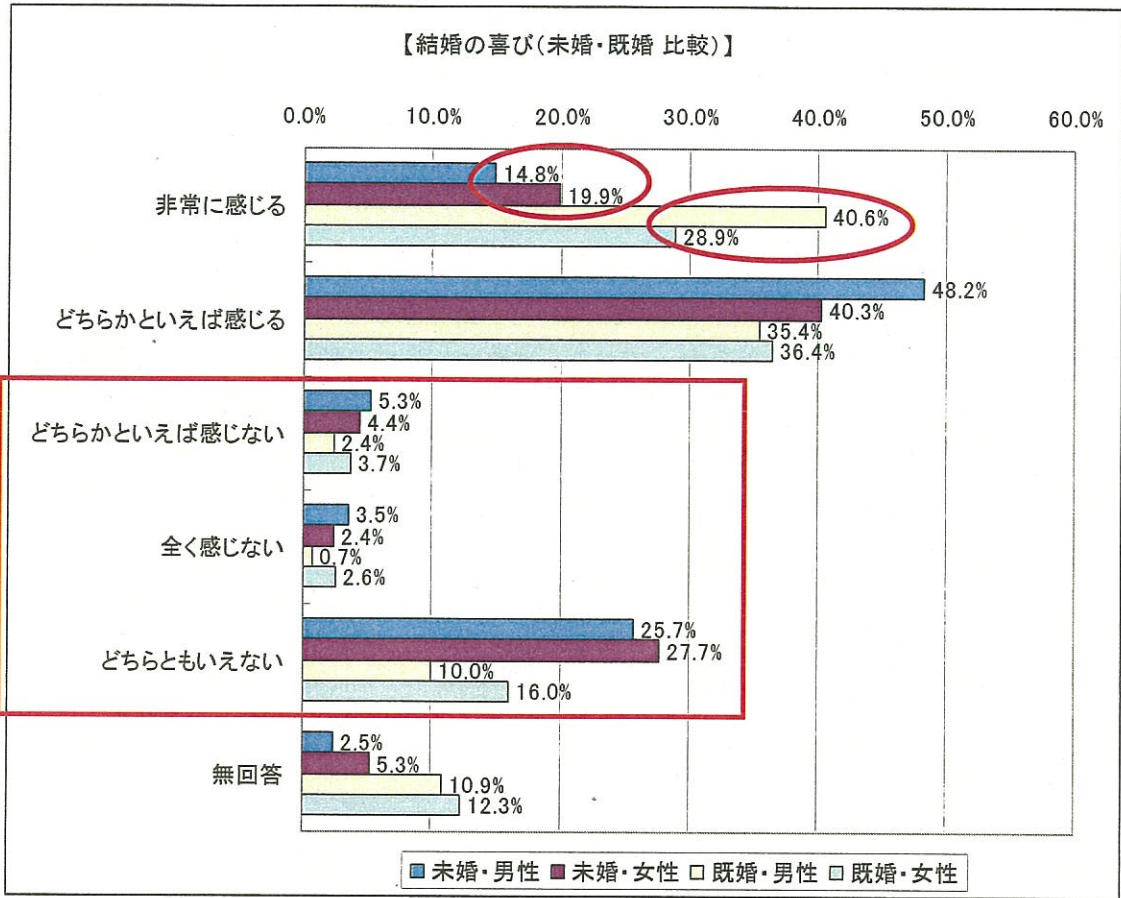


出典：「20～40代の市民の生活・意識に関するアンケート調査（平成22年）」（鶴岡市櫛引地域）

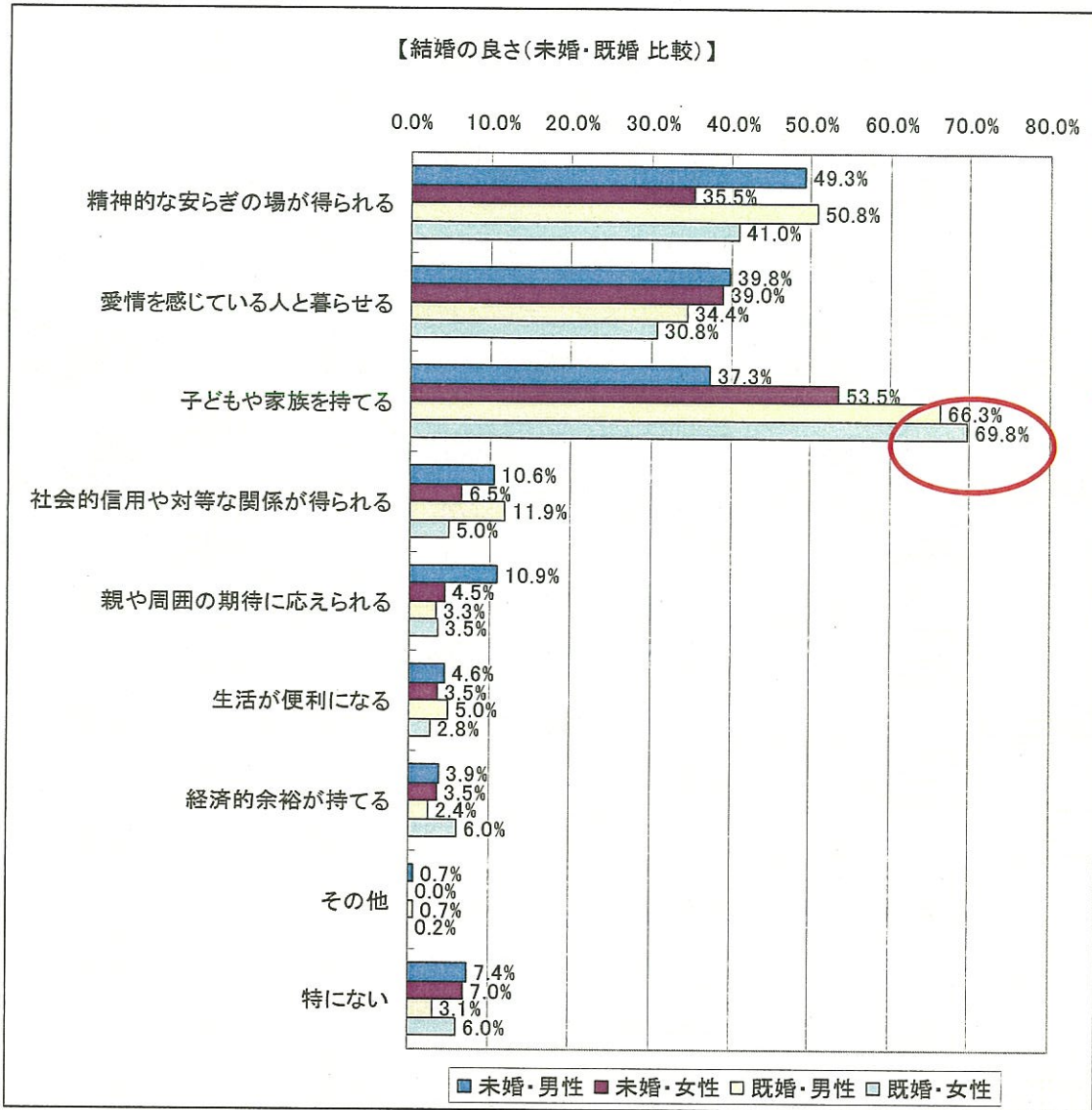


出典：出生動向基本調査「結婚と出産に関する全国調査－独身者調査(2005)」(国立社会保障・人口問題研究所)

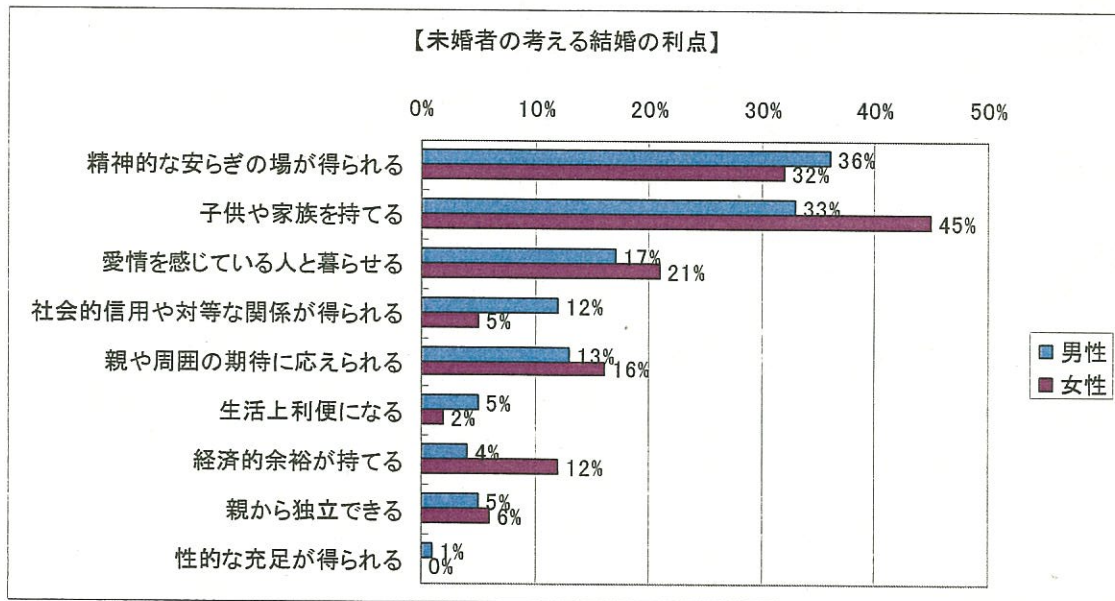
※対象者は全国の18～34歳未婚者



出典：「20～40代の市民の生活・意識に関するアンケート調査（平成22年）」（鶴岡市榊引地域）



出典：「20～40代の市民の生活・意識に関するアンケート調査（平成22年）」（鶴岡市榭引地域）



出典：出生動向基本調査「結婚と出産に関する全国調査－独身者調査(2005)」(国立社会保障・人口問題研究所)

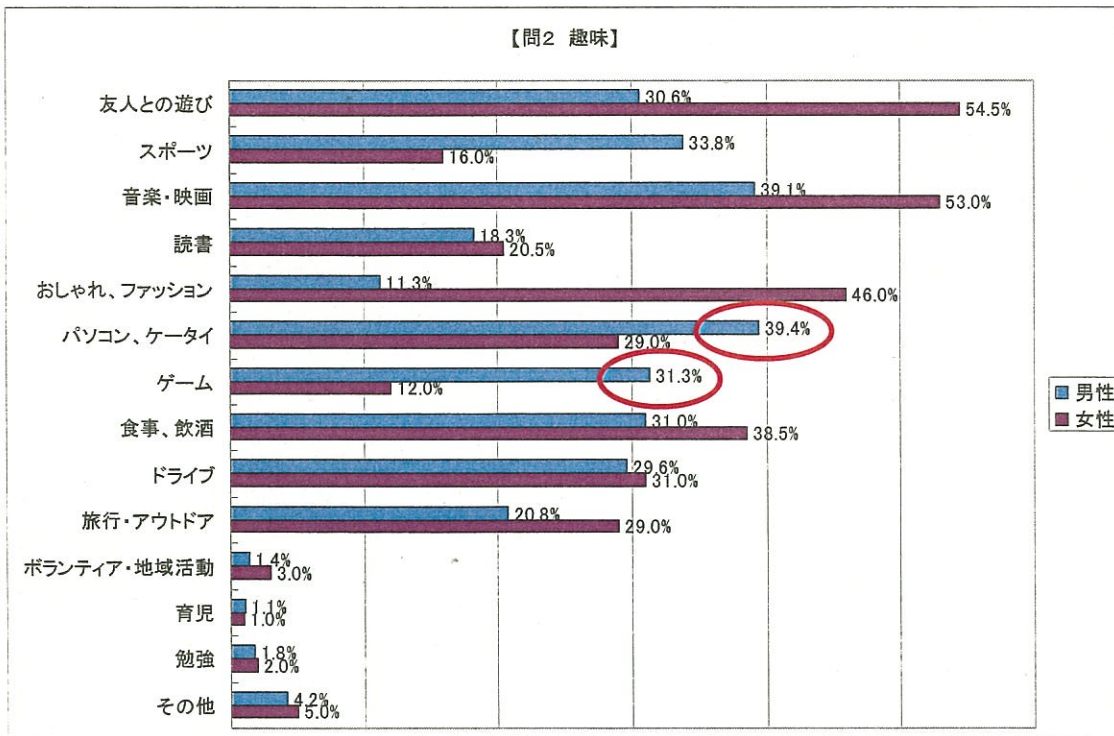
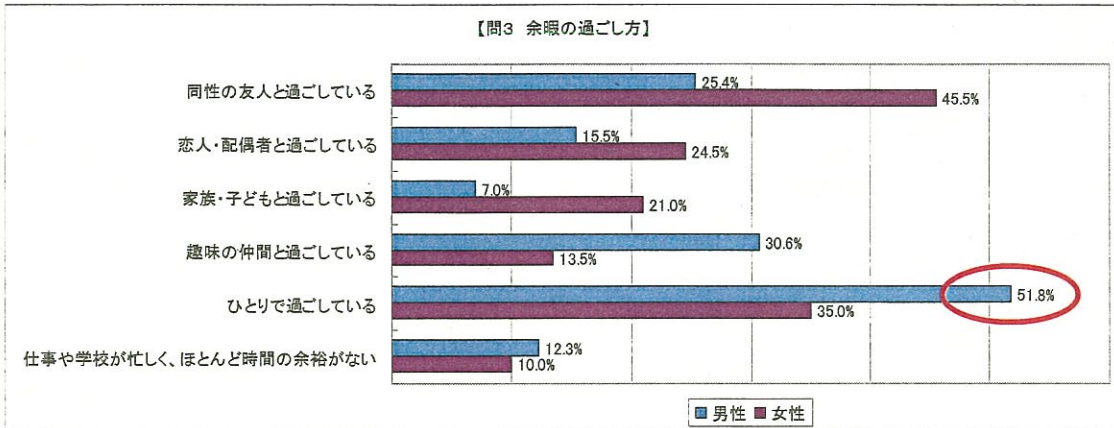
※対象者は全国の18～34歳未婚者

2. 生活について

(1) コミュニケーション機会の不足（特に男性）

余暇を「ひとりで過ごしている」男性の割合が5割を超えており、男性で「パソコン、ケータイ」を趣味にしている人が39.4%と最も高く、「ゲーム」を趣味にしている人も31.3%となっています。

このことから、自分が自由に使える時間で、友人など他者と直接会話するような機会は少なく、コミュニケーションの機会が不足している状況が伺われます。

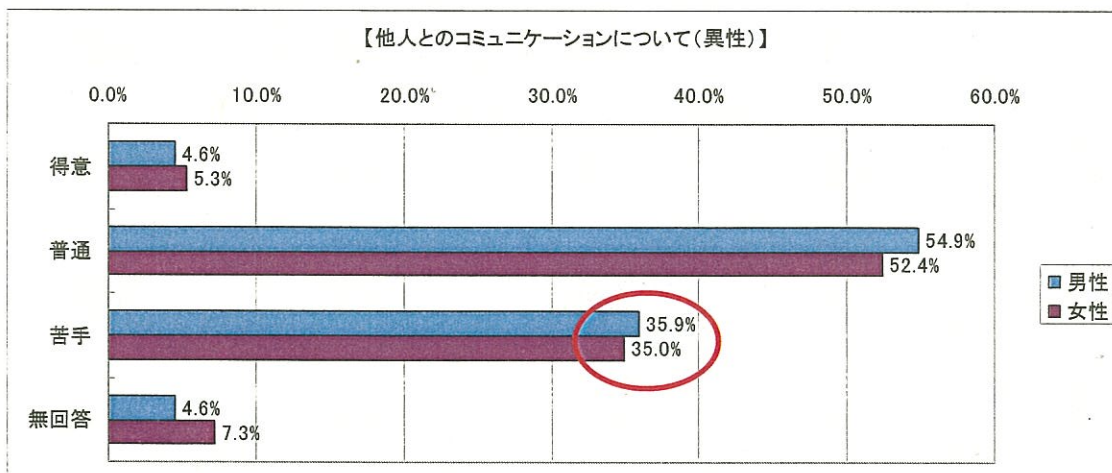
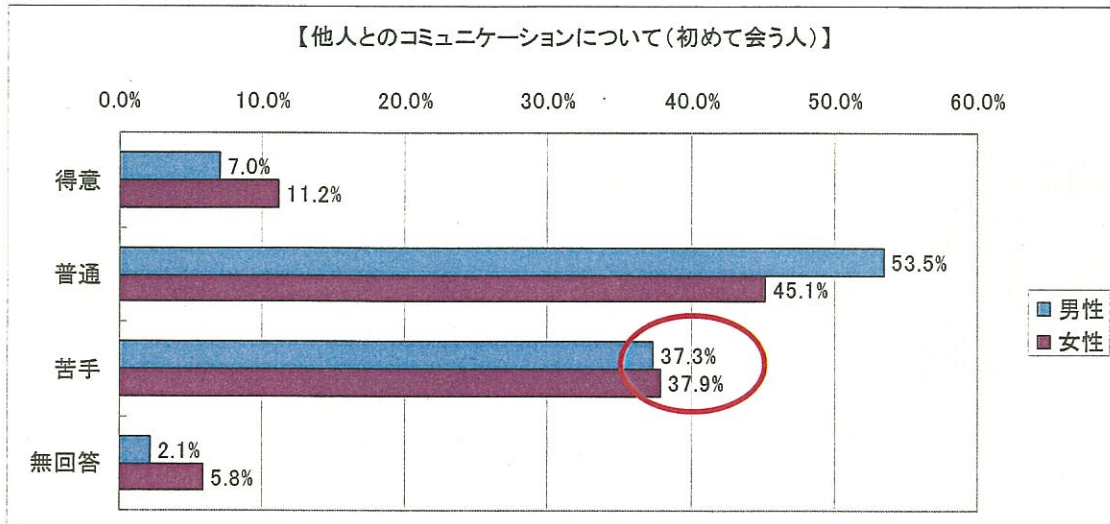


出典：「20～40代の市民の生活・意識に関するアンケート調査（平成22年）」（鶴岡市榊引地域）

(2) コミュニケーションに対する苦手意識

コミュニケーションを「苦手」と感じている人が、3割を超えています。

他者とのコミュニケーションを避け、機会が不足し、コミュニケーション能力の低下が懸念されるので、その対策が必要であると考えられます。

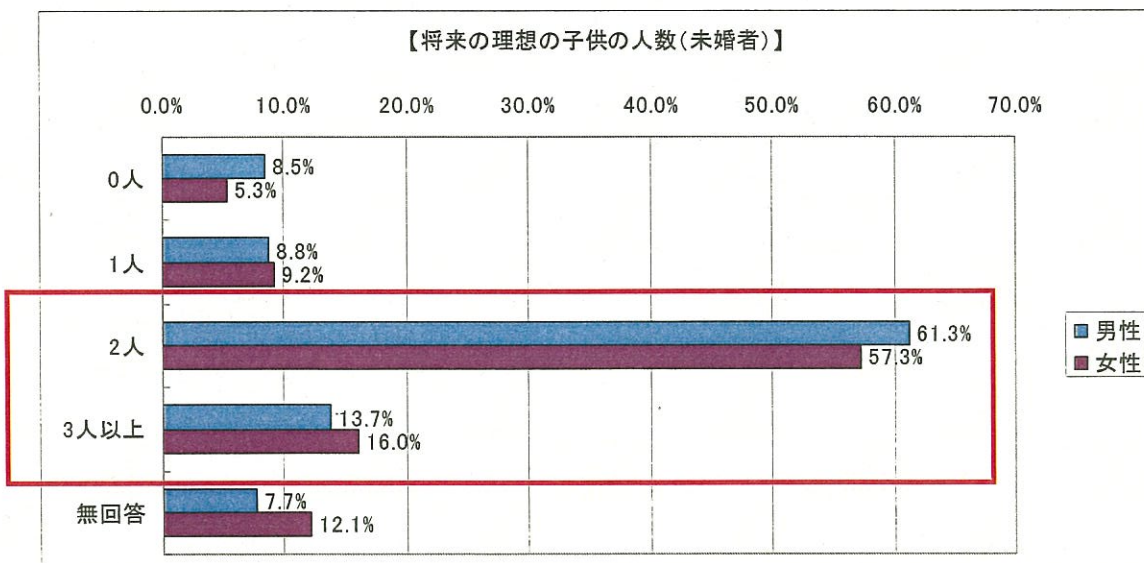
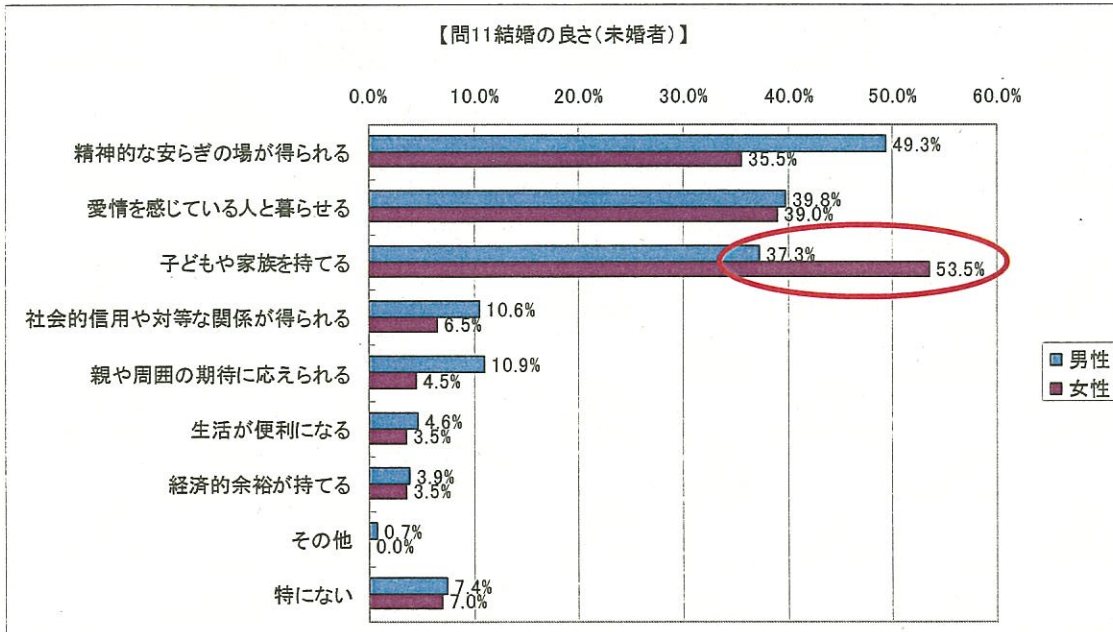


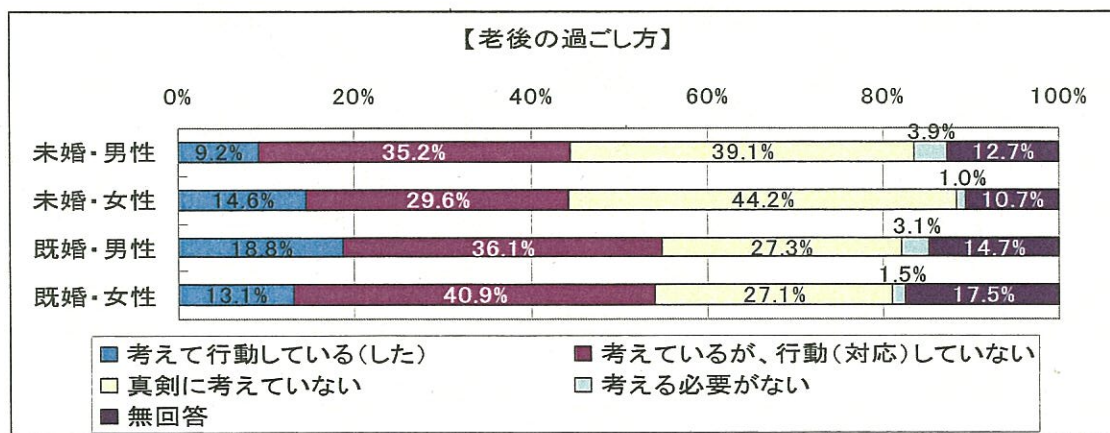
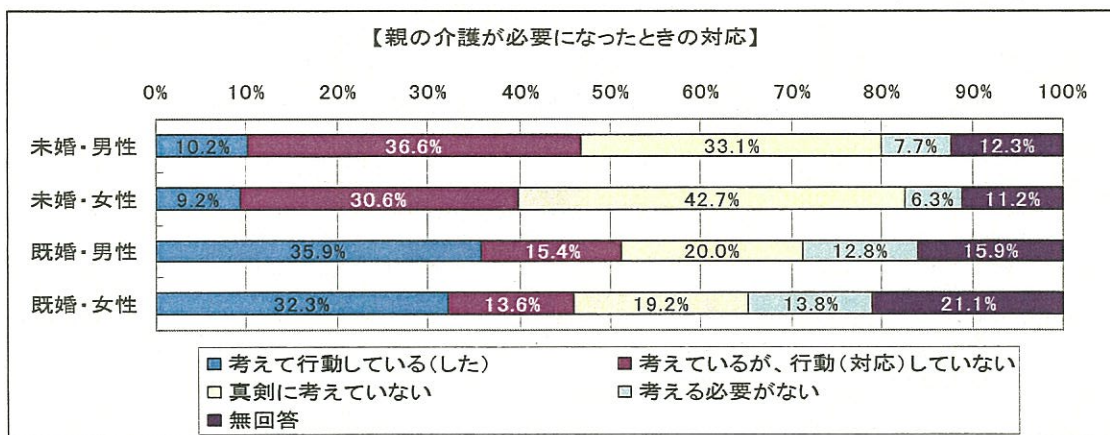
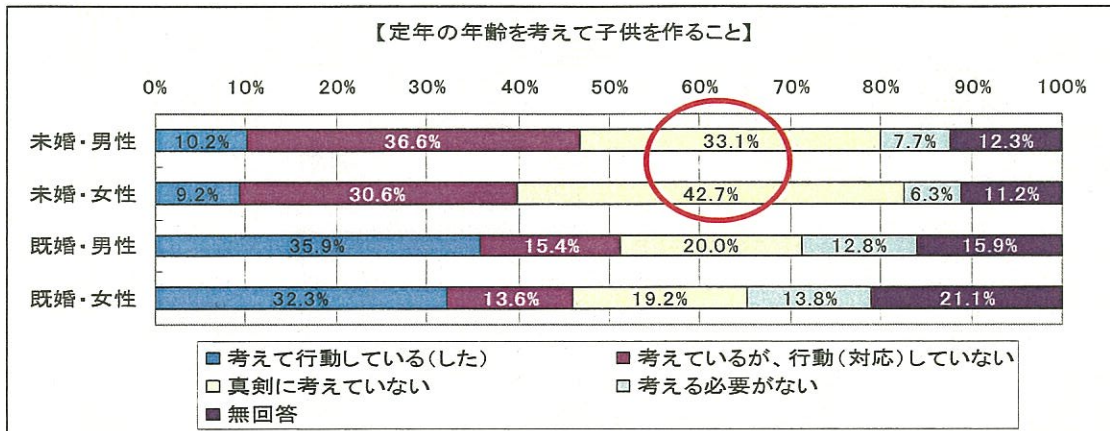
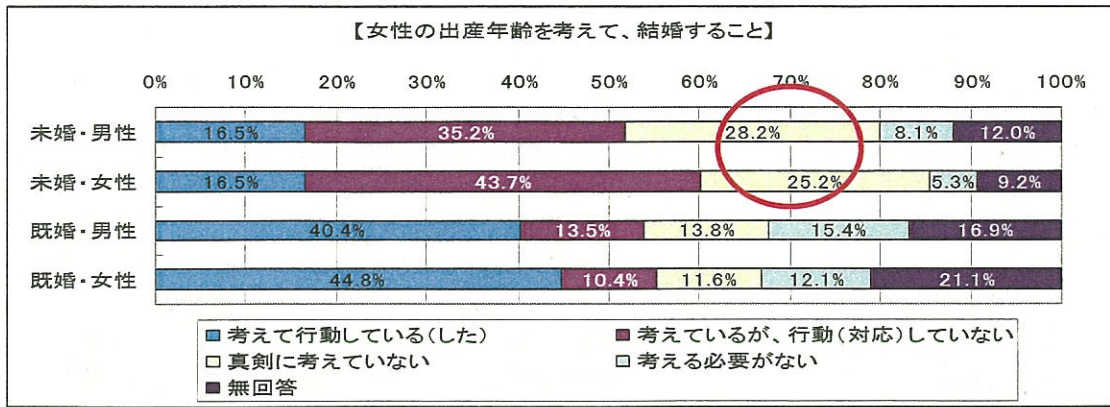
出典：「20～40代の市民の生活・意識に関するアンケート調査(平成22年)」(鶴岡市櫛引地域)

(3) 人生設計を軽視する傾向

結婚の良さについて「子どもや家族を持てる」と回答した人は、男性37.3%、女性53.5%、「将来の理想の子供の人数」について「2人」以上ほしい人が、男性75.0%、女性73.3%となっています。一方、「女性の出産年齢を考えて、結婚すること」について「真剣に考えていない」人が、男性28.2%、女性25.2%、「定年の年齢を考えて子どもを作ること」について「真剣に考えていない」人が、男性33.1%、女性42.7%となっており、人生設計における理想と現実の開きがあると言えます。

妊娠や出産には適齢期やタイムリミットがあるため、年齢が上がると家族計画に制約が出てくるにも関わらず、人生設計をおろそかにしている状況が伺われます。



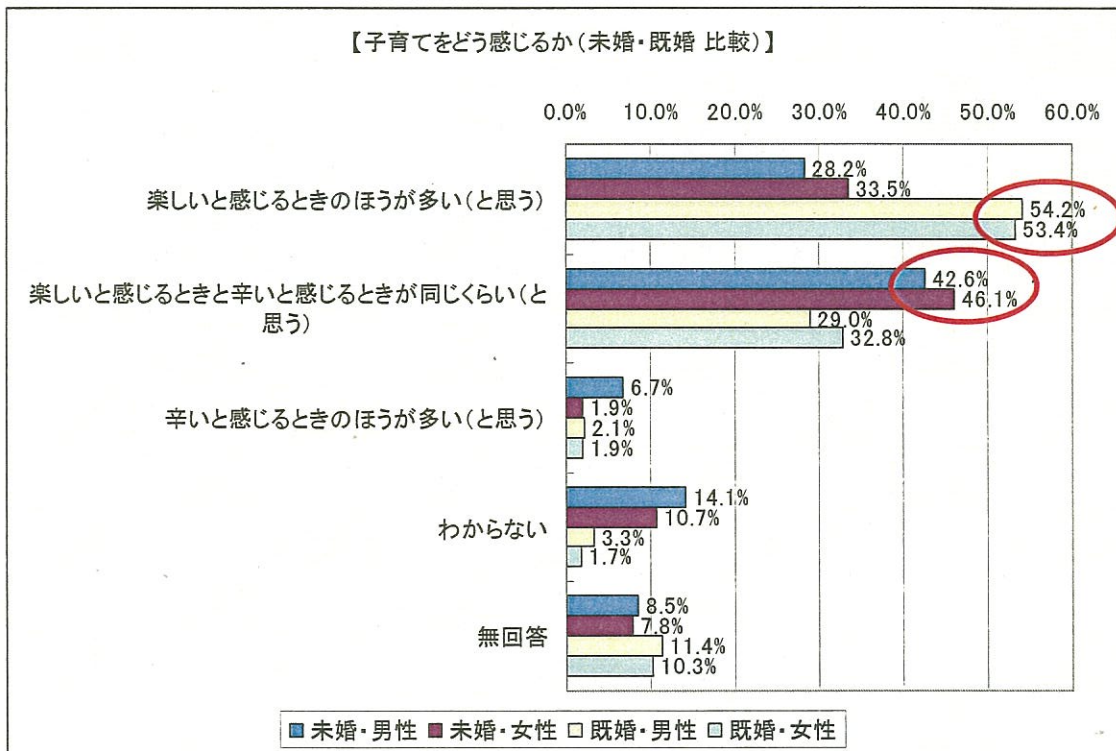


出典：「20～40代の市民の生活・意識に関するアンケート調査（平成22年）」（鶴岡市樺引地域）

3. 子育てについて

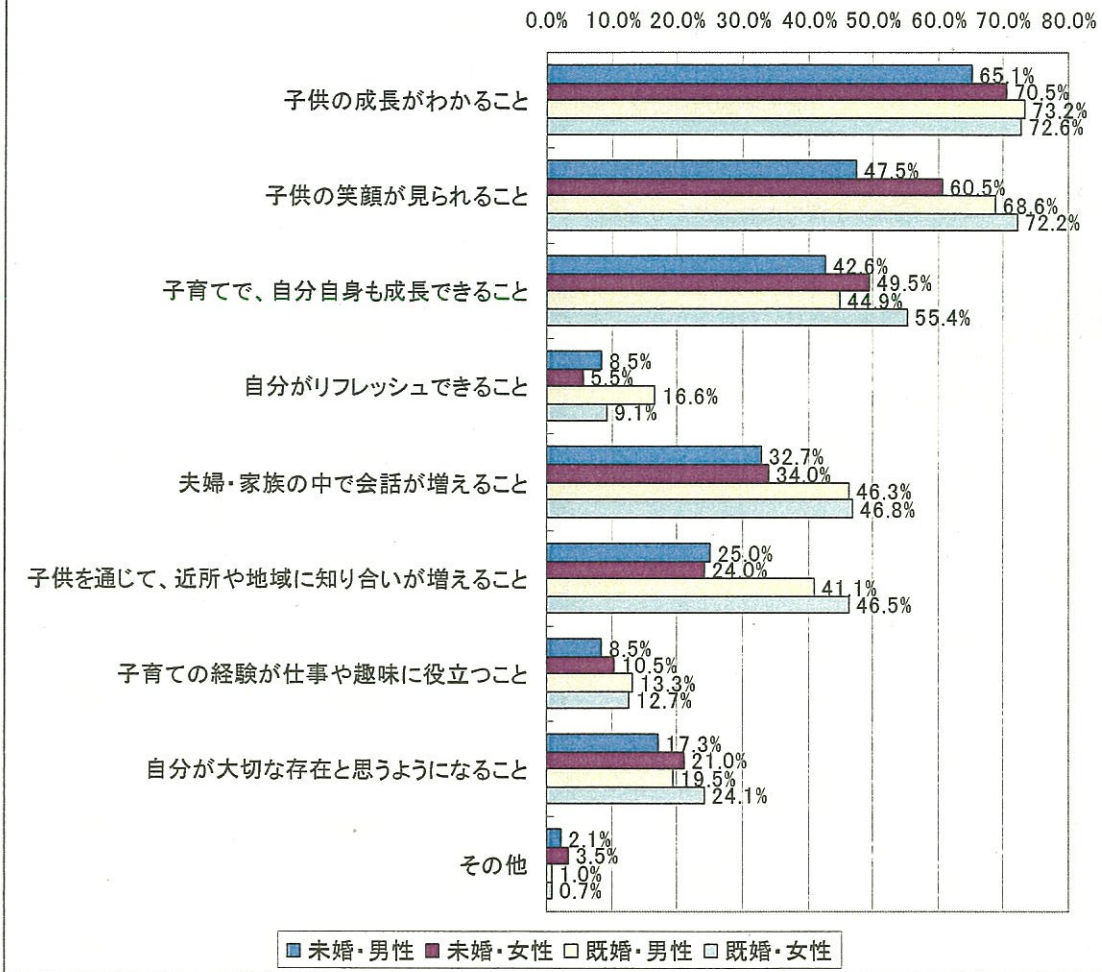
「子育てをどう感じるか」について、未婚者は「楽しいと感じるときと辛いと感じるときが同じくらい」が最も多いのに対し、既婚者は「楽しいと感じるときの方が多い」が最も多くなっています。また、「子育ての楽しさ」についても、未婚者より既婚者の方が、全体的に楽しさを感じているとしている割合が高くなっています。

「行動の自由が制約される」「生計を立てなければならない」など、結婚生活における子育ての負担が結婚のマイナスイメージともなっているため、経験した人にしかわからない子育ての喜びや楽しみを未婚者に伝え、子育ての良さを理解してもらうことが重要であると言えます。



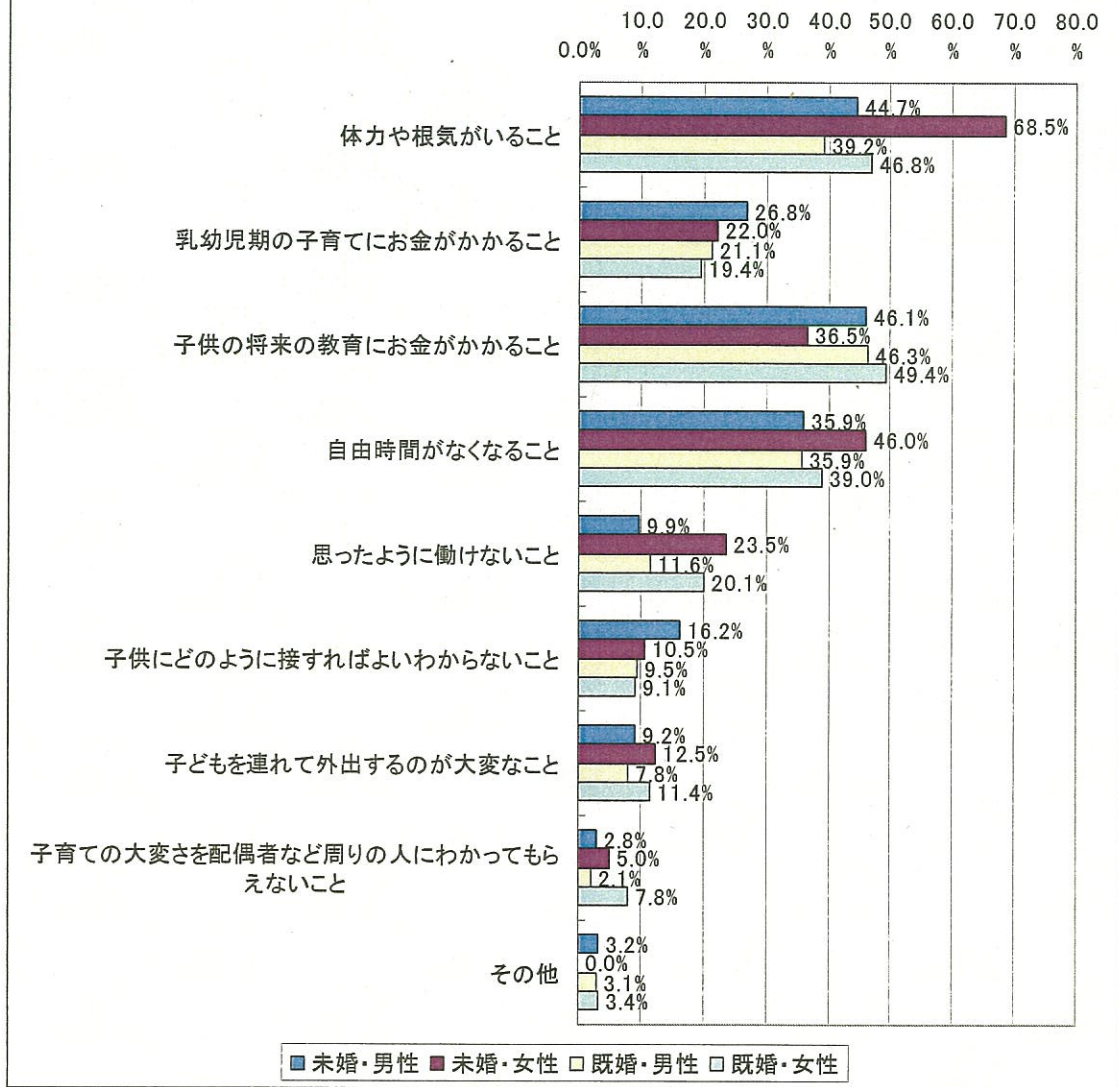
出典：「20～40代の市民の生活・意識に関するアンケート調査(平成22年)」(鶴岡市権引地域)

【子育ての楽しさ(未婚・既婚 比較)】



出典：「20～40代の市民の生活・意識に関するアンケート調査（平成22年）」（鶴岡市櫛引地域）

【子育ての辛さ(未婚・既婚 比較)】



出典：「20～40代の市民の生活・意識に関するアンケート調査（平成22年）」（鶴岡市榊引地域）

若者が結婚したいと思える、結婚したい人が結婚しやすい地域社会の実現に向けて

～ 榊引地域婚活支援対策検討会のまとめ～

結婚支援事業者

- ① 民間のノウハウを活かした魅力あるサービスの展開
- ② 地域格差のないサービス展開
- ③ 地域の婚活支援事業への協力

地域・市民団体

- ① 行政や各関係機関との連携・協力
- ② 市民主体の自発的な婚活支援団体の立ち上げ・事業の展開
- ③ 地域内交流の活性化

未婚者

- ① 出合いの場への積極的参加
- ② 自分磨き(コミュニケーション等セミナーの受講)
- ③ 先人が築いてきた社会を繋いでいくための一員であることを自覚

職場

- ① 雇用・安定した収入の確保
- ② 福利厚生充実
- ③ 婚活支援事業への協力
- ④ 異業種・社内の交流

家庭

- ① 結婚を前向きに思える雰囲気作り
- ② 親も意識改革
- ③ 子育てにおける世代間の協力

学校

- ① 結婚・出産・育児に関する教育
- ② 少子化・人口減少社会に係る教育
- ③ コミュニケーション能力を高める教育

行政

- ① 地域社会全体で支援する環境の整備
- ② 結婚を前向きに捉えられる意識醸成
- ③ 市全体として取り組む姿勢
- ④ 市主催事業の展開 (出合いの機会の創出・自己啓発セミナー等の開催・情報提供)
- ⑤ 他市町村や地域・団体等との連携・協力
- ⑥ 婚活支援組織の育成・支援
- ⑦ 適切な婚活支援の検討
- ⑧ 子育て支援の充実

各分野がそれぞれの役割を果たしながら、連携して取り組むことが不可欠

ここに掲載したものは、「結婚活動の支援や結婚促進のために、各分野や立場でどのようなことが必要か」ということについて、検討委員の方からいただいたご意見です。(重複分一部省略)

【未婚者】【結婚支援事業者】【家庭】【学校】【地域・市民団体】【職場】【行政】【その他】

【未婚者】

①出会いの場への積極的参加

- ・ 未婚の方は、内向的人が多いように見える。事前セミナーとセットにした出会いの場への積極参加が必要。
- ・ 結婚する・しないは個人の選択だが、それぞれの将来を見据えての選択にして欲しい。結婚が難しくなったために、そのことを先送りしがちだが、結婚を前向きに捉え、「婚活」に取り組んで欲しい。
- ・ 各種サークルやスポーツクラブなど諸々の活動に積極参加することが大事。

②自分磨き（コミュニケーション等セミナーの受講）

- ・ 自分磨きセミナーなどの積極受講を勧めたい。
- ・ 異性とうまくつきあえるための「コミュニケーション」についての講話・研修
- ・ 結婚し、家庭を持ちたいと思うならば、婚活を成功させるために自分自身を鍛えること。その柱は、コミュニケーション能力を高めることであり、魅力的な身だしなみや考え方（男女共同参画社会意識）を身につけるよう努力すべきである。
- ・ 自分自身のアピール力（コミュニケーション能力）を高めて欲しい。
- ・ 婚活支援講演会の講演の模様を、ケーブルテレビの特別番組として何回も放送することは大変良いことだと思う。講演会場には行けなかった方でも、この講演会をケーブルテレビで視聴した方は、多かったのではないかと。講師が話していたことを、未婚者の多くが実践してくれること望みたい。

③先人が築いてきた社会を繋いでいくための一員であることを自覚

- ・ 結婚生活によって潤いが生まれ、家族が増えていくことでの責任は増大するが、十分に担えるものだと思われる。先人が築いてきたこのサイクルをまわし続けていく必要がある。

④その他

- ・ 若者は、バーチャルリアリティー（仮想空間）に逃避することなく現実を直視してほしい。確固とした生活設計のもと、社会のせいにならずに人生を切り開いて欲しい。
- ・ 友人の結婚式等に出席したら、その友人の相手方の結婚式参加者とのコミュニケーションを！
- ・ 結婚するということは、その人の人生にとって一大イベントであり、最も大切なことのひとつという認識が大事。
- ・ 何よりも、自分自身が「結婚したい」と思い、「結婚するんだ」という意志を持つことが必要。
- ・ 人生設計を考える上で、結婚は最も大きな節目の一つであることを認識して欲しい。

【結婚支援事業者】

①民間のノウハウを活かした魅力あるサービスの展開

- ・ 事業者サイドの料金設定や、サービス内容を明確にし、多くの人に参加しやすい出会いの場を提供いただきたい。
- ・ イベントに参加する方が、窮屈な思いをせず生き生きとした自分を出せるような企画をお願いしたい。
- ・ 多様で興味が沸くような婚パーティーの企画
- ・ 魅力ある、参加したくなるような広域的な出会いの場の創出
- ・ スポーツを通じた婚活イベントを企画して欲しい。
- ・ 情報の積極的提供（婚活支援サイト、メールマガジン）
- ・ 独身者向けの旅行とセットしたイベントの企画

②地域格差のないサービスの展開

- ・ 都会では多くの事業者がさまざま婚活事業をしているが、この辺りでは民間のサービスがあまりないと思う。鶴岡でももっと民間の婚活支援事業者が事業をすればいいと思う。

③地域の婚活支援事業への協力

- ・ 婚活支援アドバイザーの派遣（地域での婚活支援事業への講師派遣）

④その他

- ・ 結婚はお互いの理解があって成立するものと思うが、ささいなことで分かれるケースが多いと感じる。支援事業者からは、結婚生活が継続されるようアフターケアも行なってもらえないものか。

【家庭】

①結婚を前向きに思える雰囲気作り

- ・ 何よりも両親が鏡であり、仲が良いことが支援につながる。
- ・ 当事者が結婚したくなる雰囲気づくりを家庭でも。
- ・ 家庭内で、結婚について話し合える雰囲気を作っていくことが大切。
- ・ 少子化や高齢化あるいは非婚化は、家庭の存亡や地域の存亡に関わることだということを理解してもらい、結婚に前向き・積極的になるような働きかけが大切。

②親も意識改革

- ・ 今の若者は、家庭のありがたさを十分すぎるほど感じている割には、自らが新しく家庭を作り上げて行くといった意気込みが感じられない。家庭の居心地の良さにどっぷりと浸っていることが晩婚化につながっている。親が子離れしていないことも晩婚化の大きな要因でもある。親の意識も変えていかなければならない。
- ・ 晩婚化が心配される子供を持つ親は、親自身も一緒になって相手探しに協力する必要がある。
- ・ 親自身も、親類・縁者・友人に広く結婚相手の情報提供（お見合いのお世話）をお願いすることが大事。
- ・ 親の方から、色々な人たちに声をかけ情報の提供を受けられる様な環境を作ってあげることも大切。

③子育てにおける世代間の協力

- ・ 収入が目減りし、これまでと同質の生活レベルの維持が難しくなっているように思われる中で、共働きで、時には子育てなどでは親世代が協力していくといったこの地域特有の世代間支援を再度確認していく必要がある。このことは生涯学習として取り上げるべき緊急の課題と思う。

④その他

- ・ 親が、子供に対して、スポーツやイベント等への積極的な参加を働きかける。
- ・ 父母や祖父母にとっては、子や孫の結婚は最重要課題である。また、家庭が円満であり、楽しい家庭生活が子弟の婚活を支える基盤であることを認識したい。
- ・ 家庭にあって、結婚については本人任せとしているのはいかかなものか。昨今の結婚に対する親の放任主義的なところが、晩婚化・未婚化へつながっているのではないだろうか。

【学校】

①結婚や育児の素晴らしさ・出産（適齢期）・少子化や人口減少社会のデメリットについての教育

- ・ 授業を通して、結婚・育児・家庭生活の素晴らしさや重要性を学ばせる機会を増やす。
- ・ 家庭科や道徳などので、「結婚」「育児」「人生設計」の授業を。
- ・ 結婚や育児のすばらしさ、家庭円満の大切さについて教えて欲しい。
- ・ 学校の教育の中でも取り組んでいるものと思うが、結婚・子育て・社会への奉仕についての教育を強化して欲しい。
- ・ 男女の身体のしくみを教える教育の中で、出産に最も望ましい年齢をしっかりと教えていくことが必要だし、併せて人生設計についても教えて欲しい。
- ・ 少子化及び人口減少社会の重大さについて、しっかりと教えることが大切。
- ・ 社会学、人間学の大切さを教える。

②その他

- ・ 婚活のためという訳ではないが、社会人としての素養として①コミュニケーション能力 ②他人を思いやる心配り ③家庭や家族を大切にす姿勢 などの育成は、小学校時代から大切にしたい。
- ・ 友達を大切にする教育や、しっかりとした道徳教育の強化が必要でないか。
- ・ 物事に一生懸命に打ち込む力を付けて欲しい。ゆとり教育から何が生まれたのか。学校の奮起を望みます。

【地域・市民団体】

①行政や各関係機関との連携・協力

- ・ 市民団体はじめ、行政、商工会、農協関係など連携したネットワークで婚活をサポートする。
- ・ 行政との連携及び情報の提供と共有

②市民主体の自発的な婚活支援団体等の立ち上げ・事業の展開

- ・ 婚活支援NPO法人を立ち上げ、行政との連携による婚活事業の企画・運営
- ・ 他地域とのタイアップによる、未婚者の出会いの場の創出。
- ・ 婚活に積極的に関与するNPO法人(元気ネット河北)などとのネットワークを構築するためにも、櫛引地区での実行部隊の立ち上げが急務であると思う。婚活を就職活動と同じくらいの熱意で取り組む土壌作りが必要だ。
- ・ 各地区にあっても、結婚支援活動にいかに取り組むかで、地区の明るさや地区の活力に差が出てくるものと思う。取り組みが遅れば遅れるほど、問題解決は難しくなる。
- ・ 「男を磨く」ことが大切、地域自治会主催の講座も必要である。
- ・ 地域毎に経験豊富な先輩の自発的グループ(4~5人)を作っていたら、情報交換をしてもらおう。
- ・ 昔のような世話焼きおばさんの育成

③地域内交流の活性化

- ・ 地域での交流が少なくなってきたため、個人や家庭の情報が少ない社会になってきている。世話やきばあさんもいなくなった。多くの子供たちの笑い声が聞こえ、地域で気軽に情報が行きかうような地域コミュニティを作っていくため、各地域が果たす役割は大きくなってきているのではないかな。
- ・ 若者が参加し、コミュニケーションを大切に事業の企画やムードづくりの推進
- ・ 未婚者が参加したくなるような、地域活動の企画及び実行と地域の支援

④その他

- ・ 未婚の方が地域で肩身の狭い思いをしないよう、温かい目で見守っていくことも大切。そうしないと、未婚の方がますます内に閉じこもってしまい、結婚から遠ざかってしまう恐れがある。
- ・ 地域毎に青年団(部)的活動を支援する。
- ・ 個人的にも、直接未婚者への働きかけをしていくことが重要。(プライバシーを尊重しながら)
- ・ 広報紙等に若い女性だけでなく、独身男性のプロフィールも掲載する。(例 JA の広報)

【職場】

①雇用・安定した収入の確保

- ・ 結婚適齢者の正職員化と安定した収入化
- ・ 第一に雇用の安定が大切。雇用形態、勤務時間など職場環境の見直し。(土、日、祝日の休みが少ないことは出会いの機会に恵まれないのでは・・・。また、パートでは、経済的不安から結婚に踏み切れないかも・・・)

②福利厚生の充実

- ・ 福利厚生の充実（有給休暇を取りやすい、有給休暇が多い）
- ・ 結婚支援の雰囲気作り（上司の姿勢）、産前産後休暇や育児休業制度の保障などの育児支援体制作りが重要。しかし、結婚・出産が退職につながる現状が婚活を妨げている。
- ・ 独身者が「仕事だけ人間」にならないよう、残業時間等を抑えるなどの配慮が必要(デートや家庭の時間の確保ができる配慮を)

③婚活支援事業への協力

- ・ 行政への情報提供等婚活への理解と連携
- ・ 職場では雇用主が未婚者に呼びかけを行い、婚活支援に協力し理解を求める。
- ・ 職場において「婚活」を勧めている企業には、婚活応援職場の認証を行う制度を設けてはどうか。
- ・ 職場においては、仕事に集中できる環境づくりの一つとして「結婚」を勧める必要があると思う。
- ・ 行政その他で企画する各種行事に参加できるように時間的な配慮をすべき
- ・ 行政主催の婚活事業への参加呼びかけなどの支援

④異業種・社内の交流

- ・ 結婚適齢者への交流機会への参加、助長と職場内の交流創出
- ・ 異業種との交流とイベントなど
- ・ ダンスパーティー・いも煮会等を計画し交流を図る。
- ・ 他企業との異業種交流を図る。
- ・ 社内旅行、レクリエーションを企画・実行する
- ・ 未婚者が20人以上在籍する企業は、婚活担当者を決め、他企業との合コンを気軽に取り持つ仕組みなどを作る。

【行政】

①地域社会全体で支援する環境の整備

- ・ 鶴岡市は毅然として婚活に取り組むという姿勢を見せることが、未婚者にとって大きな励まし、勇気づけとなる。
- ・ 振興実施計画の中に、項目を掲げて支援を行なっていくべきである。
- ・ 予算を含めたあらゆる面での真剣な取り組みが必要。（予算もできるだけ多く）
- ・ 結婚支援事業者に対して、一定の要件を満たす場合は行政が何らかの「認証」をしていくことはできないか。
- ・ 厳しい財政状況下で、行政が今後とも婚活支援を行っていくことができるかは、疑問。

今後とも継続していくためには、市の施策の中に婚活支援の施策を明記していくことが必要でないか。

②結婚を前向きに捉えられる意識醸成

- ・ 行政の婚活支援は良いが、全ての未婚者を対象とするのには無理があるのではないかと。未婚者本人に強い結婚の意志があれば、民間で行っている結婚紹介ビジネスの利用等いくらでも方法はある。要は、晩婚化・未婚化の予備軍をできるだけ作らないよう若いうちに啓蒙していくことが大切であり、それこそが行政の役割でないか。40代になっている未婚の方から相談を受けても、周りの人間としても、対応的には難しいのが現実だ。

③市全体として取り組む姿勢

- ・ 婚活支援の取組みについては、担当部署を一定の担当課を定めて行うことは大切だが、一方では、課を横断した取組みが不可欠。大人の教育と言う面では、教育委員会の社会教育担当かも知れないし、少子化対策という面では、子育て推進課ということにもなる。地域によっては、社会福祉協議会が窓口になったりしているところもある。
「やまがた婚活応援団プラス」に係る鶴岡市の窓口は、本所の市民生活課となっているようだが、市の中でも緊密に連携し、取り組んで欲しい。
- ・ 榎本市長が掲げる5つの鶴岡ルネサンス宣言。創造文化、観光文化、学術文化、安心文化、森林文化、これらの「再生」には結婚して家庭を築いていくことをはじめ、安定した市民生活がベースでなければなしえないことである。独身者の結婚に向けた支援を市としても取り上げて欲しい。その姿勢が大きな励ましとなるのではないかと。

④市主催事業の展開（出会いの機会の創出・自己啓発セミナー等の開催・情報提供）

- ・ 行政が主催する事業には安心感があるので、色々な企画を実施して欲しい。（例：婚活パーティーからモンテや楽天応援ツアー、男女協働料理教室開催など）
- ・ 婚活支援サイトの立ち上げ（メールマガジン登録者に配信）、積極的情報提供
- ・ 定期的な出会いの機会（広域化・異業種交流）の創出と財政的支援
- ・ 出会いのための情報提供とインターネットの活用
- ・ 継続した婚活支援対策の展開
- ・ 市が支援する内容として考えられることは、婚活に意欲を持つ男女に対してコミュニケーション能力を研修してもらうことだと思ふ。
- ・ 一日でも早く出会いの場を作っていただきたい。
- ・ 未婚者向けセミナーの開催（人生設計や幸福な家庭生活に関するものなど）
- ・ 図書館に婚活関係の書籍を置き、多くの人に読んでもらうようPR。
- ・ 「婚活パーティー」に参加しても、カップルが多く成立しないことには進展は望めない。

行政は、公民館事業の成人講座等でも、未婚者のコミュニケーション講座等を積極的に開催していくべき。

⑤他市町村や地域・団体等との連携・協力

- ・ 他市町村とも連携した取り組みを望む。
 - ・ 婚活支援の取り組みは、広域的に取り組むべきであり、鶴岡市の一地域としての取り組みでは効果は期待できない。範囲は、最低でも鶴岡市全体での取り組みが必要であり、出来れば庄内での広域連携が望ましい。

⑥婚活支援組織の育成・支援

- ・ 2ヵ年ぐらいは環境づくりに努力し、できるだけ早く行政は一線からは手を引くべきではないか。自立した組織の育成を支援し、現に組織ができることを望む。
- ・ 地域自治会主催婚活支援イベントへの助成や人材(スタイリスト、アウトドア関係、料理人など)の派遣
- ・ 婚活NPO法人の育成と活動支援

⑦適切な婚活支援の検討

- ・ これまでも行政には、「幸せ相談員制度」や「結婚希望者登録」など、行政主導の結婚支援事業はあったが、事業効果が少ないとされて自然に消滅している現状にある。
近年は、プライバシーや個人的なことには関与してほしくないとの考えも多く、婚活に対する行政の考え方も検討する必要がある。

⑧子育て支援の充実

- ・ 子育て支援は重要である。待機児童の解消のための施策をはじめ各種の施策を直ちに実施し、子育てするなら鶴岡が最もふさわしい場所であるという評価を得てほしい。その前段の結婚が進まないことを、個人の問題ではなく社会の問題として捉え、支援をしていく必要性を強く感じる。恵まれた環境にある市役所職員にはその緊急性がよく理解されていないのではないか。市長の想いが十分に伝わっていないようで心配だ。
- ・ ゼロ才児からの保育の拡充。

⑨その他

- ・ Uターン者に対する窓口を拡充して、県外からの移住も促進して欲しい。
- ・ 婚活イベントの開催にあっては、独身者を運営委員(実行委員)として参画させる。
- ・ 若者が地域に定着できる雇用の場創出・確保と他地域との人的交流の促進

【その他】

- ・ 「婚活パーティー」の名称に、抵抗を感じている人もいると思うので、やわらかい別の表現にできないか。
- ・ 具体的な婚活事業を企画する場合は、若い人の意見を取り入れて行って欲しい。

20～40代の市民の生活・意識に関するアンケート調査

2次集計及び2次分析

【平成22年11月】

当該2次集計及び2次分析は、平成22年8月に鶴岡市櫛引地域で実施したアンケート調査の回答のうち、既婚者について集計・分析したものである。

鶴岡市櫛引庁舎

目 次

1. 回答者の属性	1
2. 生活について	8
3. 結婚についての考え方・イメージ	20
4. 子育てについての考え方・イメージ	37
5. 鶴岡市の魅力	43
6. その他	
・「結婚しやすい地域社会」となるために（記述回答）	46
・「安心して子供を産み育てられる地域社会」と なるために（記述回答）	52

「20～40代の市民の生活・意識に関するアンケート調査」

2次集計・2次分析（既婚者）

回答者の属性

問1 あなたのプロフィールについて、お尋ねします。

(1) あなたの年齢 (2) あなたの性別

	男性		女性		性別不明		男女計	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合
20～24歳	9	0.9%	12	1.2%	0	0.0%	21	2.2%
25～29歳	32	3.3%	53	5.5%	1	0.1%	86	8.9%
30～34歳	73	7.5%	80	8.3%	0	0.0%	153	15.8%
35～39歳	90	9.3%	98	10.1%	0	0.0%	188	19.4%
40～44歳	92	9.5%	122	12.6%	0	0.0%	214	22.1%
45～49歳	123	12.7%	168	17.4%	1	0.1%	292	30.2%
50歳	2	0.2%	3	0.3%	0	0.0%	5	0.5%
年代不明	3	0.3%	5	0.5%	0	0.0%	8	0.8%
計	424	43.8%	541	55.9%	2	0.2%	967	

※年代不明8、性別不明2を除いて、性別・年代別の総数を以下のとおり。

【総数】

	男性	女性	男女計
20～24歳	9	12	21
25～29歳	32	53	85
30～34歳	73	80	153
35～39歳	90	98	188
40～44歳	92	122	214
45～49歳	123	168	291
50歳	2	3	5
計	421	536	957

(3) あなたのご両親からみでの続柄（回答数=9,57）

	長男・長女	二男・次女	三男・三女	四男・四女	五男・五女	それ以外	無回答
男性・20～24歳	88.9%	11.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
男性・25～29歳	62.5%	31.3%	3.1%	0.0%	0.0%	3.1%	0.0%
男性・30～34歳	75.3%	16.4%	4.1%	0.0%	0.0%	4.1%	0.0%
男性・35～39歳	66.7%	23.3%	4.4%	0.0%	0.0%	2.2%	3.3%
男性・40～44歳	68.5%	19.6%	2.2%	1.1%	0.0%	8.7%	0.0%
男性・45～49歳	72.4%	18.7%	1.6%	0.0%	0.0%	4.9%	2.4%
男性・50歳	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
女性・20～24歳	58.3%	8.3%	8.3%	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%
女性・25～29歳	56.6%	24.5%	7.5%	0.0%	0.0%	9.4%	1.9%
女性・30～34歳	62.5%	27.5%	1.3%	0.0%	0.0%	6.3%	2.5%
女性・35～39歳	66.3%	25.5%	2.0%	1.0%	0.0%	4.1%	1.0%
女性・40～44歳	63.9%	23.8%	1.6%	0.6%	0.0%	8.2%	1.6%
女性・45～49歳	62.5%	20.8%	5.4%	0.6%	0.6%	9.5%	0.6%
女性・50歳	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
男性	70.5%	20.2%	2.9%	0.2%	0.0%	4.8%	1.4%
女性	63.1%	23.3%	3.5%	0.6%	0.2%	8.0%	1.3%
全体	66.4%	21.9%	3.2%	0.4%	0.1%	6.6%	1.4%

(4) お住まいの地区 (回答数=957)

	楳引東小 学区	楳引西小 学区	楳引南小 学区	無回答
男性・20～24歳	44.4%	33.3%	22.2%	0.0%
男性・25～29歳	25.0%	46.9%	28.1%	0.0%
男性・30～34歳	28.8%	46.6%	24.7%	0.0%
男性・35～39歳	22.2%	61.1%	16.7%	0.0%
男性・40～44歳	20.7%	55.4%	23.9%	0.0%
男性・45～49歳	33.3%	41.5%	25.2%	0.0%
男性・50歳	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
女性・20～24歳	41.7%	25.0%	33.3%	0.0%
女性・25～29歳	30.2%	41.5%	28.3%	0.0%
女性・30～34歳	23.8%	58.8%	16.3%	1.3%
女性・35～39歳	25.5%	50.0%	21.4%	0.0%
女性・40～44歳	28.7%	50.0%	21.3%	0.0%
女性・45～49歳	28.6%	48.2%	22.0%	1.2%
女性・50歳	0.0%	66.7%	33.3%	0.0%
男性	26.8%	50.1%	23.0%	0.0%
女性	27.8%	48.8%	21.8%	0.6%
全体	27.4%	49.9%	22.4%	0.3%

(5) あなたの就労状況 (回答数=957)

・男性は、「正社員・正職員 (77.9%)」、「農林水産業 (7.6%)」、「自営業 (5.0%)」の順になっています。
 ・女性は、「正社員・正職員 (46.8%)」、「パート・アルバイト (24.4%)」、「無職 (13.2%)」の順になって
 います。

	正社 員	農林水産 業	自営業	パート・ アルバイト	契約・ 派遣	無職	その他	無回答
男性・20～24歳	55.6%	11.1%	0.0%	11.1%	22.2%	0.0%	0.0%	0.0%
男性・25～29歳	93.8%	0.0%	0.0%	0.0%	6.3%	0.0%	0.0%	0.0%
男性・30～34歳	80.8%	5.5%	4.1%	1.4%	6.8%	1.4%	0.0%	0.0%
男性・35～39歳	80.0%	6.7%	3.3%	1.1%	2.2%	3.3%	3.3%	0.0%
男性・40～44歳	79.3%	7.6%	5.4%	2.2%	3.3%	0.0%	2.2%	0.0%
男性・45～49歳	71.5%	10.6%	8.1%	2.4%	2.4%	3.3%	1.6%	0.0%
男性・50歳	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
女性・20～24歳	41.7%	0.0%	0.0%	16.7%	25.0%	8.3%	8.3%	0.0%
女性・25～29歳	34.0%	0.0%	0.0%	28.3%	9.4%	24.5%	3.8%	0.0%
女性・30～34歳	43.8%	2.5%	1.3%	32.5%	6.3%	10.0%	2.5%	1.3%
女性・35～39歳	51.0%	3.1%	1.0%	20.4%	7.1%	14.3%	1.0%	2.0%
女性・40～44歳	50.0%	0.8%	6.6%	22.1%	7.4%	11.5%	0.0%	1.6%
女性・45～49歳	48.2%	3.0%	3.0%	23.8%	4.2%	11.9%	4.2%	1.8%
女性・50歳	33.3%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%
男性	77.9%	7.6%	5.0%	1.9%	4.0%	1.9%	1.7%	0.0%
女性	46.8%	2.1%	2.8%	24.4%	6.7%	13.2%	2.4%	1.5%
全体	60.5%	4.5%	3.8%	14.5%	5.5%	8.3%	2.1%	0.8%

(8) あなたの世帯の主な収入 (回答数=9,577)

・男女とも、「給与 (男性 72.2%・女性 66.8%)」「給与・農業 (男性 11.2%・女性 14.2%)」「農業 (男性 6.9%・女性 7.5%)」の順になっています。

	給与	農業	事業	給与・農業	給与・事業	その他	無回答
男性・20～24歳	66.7%	11.1%	0.0%	22.2%	0.0%	0.0%	0.0%
男性・25～29歳	78.1%	0.0%	0.0%	12.5%	9.4%	0.0%	0.0%
男性・30～34歳	79.5%	8.2%	1.4%	5.5%	5.5%	0.0%	0.0%
男性・35～39歳	74.4%	6.7%	4.4%	10.0%	1.1%	2.2%	1.1%
男性・40～44歳	73.9%	7.6%	5.4%	8.7%	2.2%	2.2%	0.0%
男性・45～49歳	65.9%	6.5%	4.9%	16.3%	2.4%	4.1%	0.0%
男性・50歳	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
女性・20～24歳	58.3%	16.7%	8.3%	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%
女性・25～29歳	75.5%	5.7%	3.8%	7.5%	7.5%	0.0%	0.0%
女性・30～34歳	76.3%	5.0%	1.3%	11.3%	3.8%	0.0%	2.5%
女性・35～39歳	63.3%	9.2%	3.1%	15.3%	4.1%	3.1%	2.0%
女性・40～44歳	66.4%	7.4%	5.7%	11.5%	4.1%	4.1%	0.8%
女性・45～49歳	62.5%	7.7%	3.6%	18.5%	2.4%	3.0%	2.4%
女性・50歳	66.7%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%
男性	72.7%	6.8%	3.8%	11.2%	3.1%	2.1%	0.2%
女性	66.8%	7.5%	3.7%	14.2%	3.7%	2.4%	1.7%
全体	69.4%	7.2%	3.8%	12.9%	3.4%	2.3%	1.0%

(1.0) 現在の子供の人数 (回答数=9,577)

	0人	1人	2人	3人以上	無回答
男性・20～24歳	33.3%	55.6%	11.1%	0.0%	0.0%
男性・25～29歳	15.6%	28.1%	31.3%	12.5%	12.5%
男性・30～34歳	6.8%	34.2%	39.7%	13.7%	5.5%
男性・35～39歳	6.7%	21.1%	42.2%	18.9%	11.1%
男性・40～44歳	3.3%	22.8%	37.0%	26.1%	10.9%
男性・45～49歳	5.7%	7.3%	46.3%	32.5%	8.1%
男性・50歳	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	50.0%
女性・20～24歳	25.0%	41.7%	25.0%	0.0%	8.3%
女性・25～29歳	17.0%	39.6%	32.1%	1.9%	9.4%
女性・30～34歳	5.0%	30.0%	37.5%	16.3%	11.3%
女性・35～39歳	7.1%	12.2%	42.9%	26.5%	11.2%
女性・40～44歳	4.9%	13.9%	36.9%	33.6%	10.7%
女性・45～49歳	3.0%	8.3%	40.5%	33.9%	14.3%
女性・50歳	0.0%	0.0%	66.7%	33.3%	0.0%
男性	6.9%	20.9%	40.4%	22.6%	9.3%
女性	6.3%	17.4%	38.6%	25.9%	11.8%
全体	6.6%	18.9%	39.4%	24.5%	10.7%

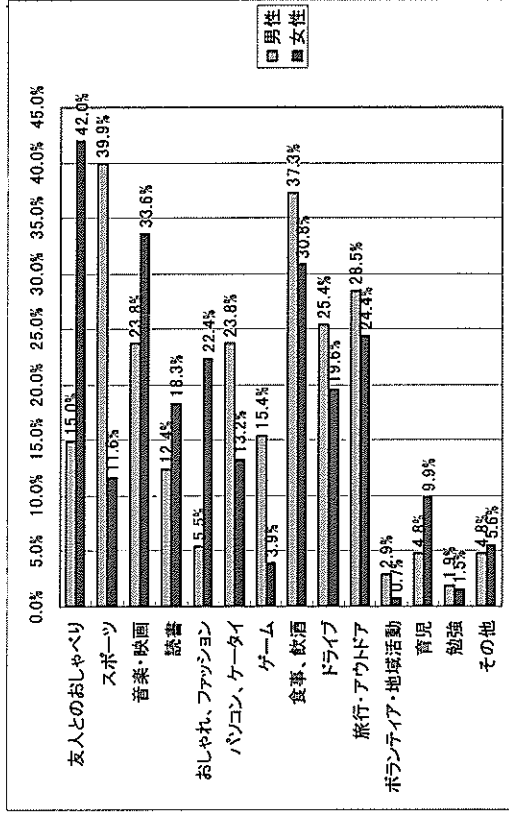
(1.1.1) 将来の理想の子供の人数 (回答数=9,57)

	0人	1人	2人	3人以上	無回答
男性・20~24歳	0.0%	11.1%	55.6%	33.3%	0.0%
男性・25~29歳	0.0%	3.1%	50.0%	37.5%	9.4%
男性・30~34歳	1.4%	4.1%	41.1%	42.5%	11.0%
男性・35~39歳	2.2%	4.4%	41.1%	32.2%	20.0%
男性・40~44歳	4.3%	8.7%	33.7%	21.7%	31.5%
男性・45~49歳	5.7%	3.3%	26.0%	23.6%	41.5%
男性・50歳	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
女性・20~24歳	0.0%	0.0%	25.0%	66.7%	8.3%
女性・25~29歳	0.0%	3.8%	50.9%	34.0%	11.3%
女性・30~34歳	0.0%	3.8%	42.5%	28.8%	25.0%
女性・35~39歳	5.1%	3.1%	38.8%	29.6%	23.5%
女性・40~44歳	3.3%	8.2%	25.4%	25.4%	37.7%
女性・45~49歳	3.6%	3.0%	22.0%	18.5%	53.0%
女性・50歳	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
男性	3.3%	5.0%	35.9%	29.5%	26.4%
女性	2.8%	4.3%	31.7%	26.1%	35.1%
全体	3.0%	4.6%	33.5%	27.6%	31.2%

生活について

問2 あなたの趣味は、どのようなことですか。

・男性は、「スポーツ (89.9%)」「食事・飲酒 (87.3%)」「旅行・アウトドア (28.5%)」の順になっています。
 ・女性は、「友人との遊び、おしゃべり (42.0%)」「音楽・映画 (33.6%)」「食事・飲酒 (30.8%)」の順になっています。



	友人との おしゃべり	スポーツ	音楽・ 映画	読書	おしゃべり、 フアッション	パソコン、 ケータイ	ゲーム
男性・20～24歳	77.8%	33.3%	33.3%	22.2%	11.1%	44.4%	33.3%
男性・25～29歳	37.5%	50.0%	25.0%	6.3%	6.3%	15.6%	21.9%
男性・30～34歳	20.5%	39.7%	23.3%	13.7%	13.7%	26.0%	26.0%
男性・35～39歳	6.7%	36.7%	23.3%	13.3%	6.7%	22.2%	14.4%
男性・40～44歳	13.0%	44.6%	23.9%	10.9%	2.2%	19.6%	10.9%
男性・45～49歳	8.9%	37.4%	23.6%	13.0%	1.6%	27.6%	10.6%
男性・50歳	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
女性・20～24歳	66.7%	16.7%	75.0%	8.3%	58.3%	50.0%	8.3%
女性・25～29歳	58.5%	15.1%	32.1%	9.4%	39.6%	22.6%	5.7%
女性・30～34歳	50.0%	12.5%	28.8%	13.8%	31.3%	18.8%	3.8%
女性・35～39歳	40.8%	11.2%	30.6%	14.3%	23.5%	11.2%	5.1%
女性・40～44歳	35.2%	13.9%	30.3%	23.8%	15.6%	14.8%	4.9%
女性・45～49歳	36.3%	8.3%	36.9%	22.0%	14.3%	5.4%	1.8%
女性・50歳	66.7%	0.0%	66.7%	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%
男性	15.0%	39.9%	23.8%	12.4%	5.5%	23.8%	15.4%
女性	42.0%	11.6%	33.6%	18.3%	22.4%	13.2%	3.9%
全体	30.1%	24.0%	29.3%	15.7%	14.9%	17.9%	9.0%

	食事、 飲酒	ドライブ	旅行・ア ウトドア	ボランティア・ 地域活動	育児	勉強	その他	回答数
男性・20～24歳	55.6%	66.7%	44.4%	0.0%	11.1%	0.0%	0.0%	39
男性・25～29歳	25.0%	21.9%	25.0%	3.1%	3.1%	0.0%	6.3%	79
男性・30～34歳	46.6%	23.3%	32.9%	2.7%	9.6%	2.7%	1.4%	206
男性・35～39歳	40.0%	22.2%	28.9%	1.1%	5.6%	1.1%	6.7%	206
男性・40～44歳	32.6%	19.6%	25.0%	2.2%	3.3%	0.0%	6.5%	197
男性・45～49歳	35.8%	30.9%	27.6%	4.9%	2.4%	4.1%	4.1%	286
男性・50歳	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2
女性・20～24歳	33.3%	50.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	8.3%	48
女性・25～29歳	32.1%	30.2%	20.8%	0.0%	20.8%	0.0%	9.4%	157
女性・30～34歳	33.8%	22.5%	30.0%	0.0%	12.5%	1.3%	5.0%	211
女性・35～39歳	39.8%	11.2%	28.6%	0.0%	11.2%	1.0%	1.0%	225
女性・40～44歳	24.6%	20.5%	28.7%	2.5%	13.1%	1.6%	6.6%	288
女性・45～49歳	28.0%	17.3%	16.7%	0.6%	3.0%	2.4%	6.5%	335
女性・50歳	33.3%	0.0%	66.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	9
男性	37.3%	25.4%	28.5%	2.9%	4.8%	1.5%	4.8%	1020
女性	30.8%	19.6%	24.4%	0.7%	9.9%	1.5%	5.6%	1285
全体	33.6%	22.2%	26.2%	1.7%	7.6%	1.7%	5.2%	2288

図3 あなたは、時間の余裕があるときに、どのように過ごしていますか。

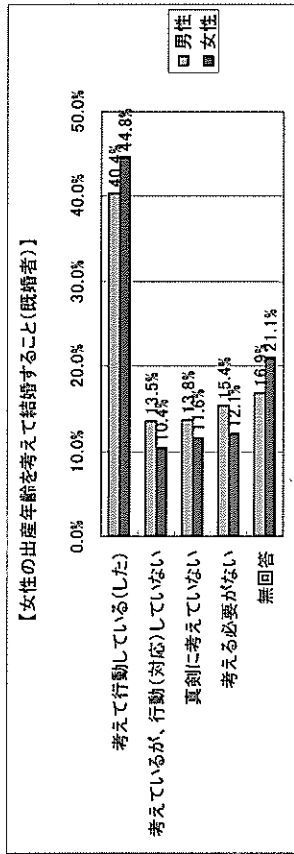
・男性は、「家族・子供と過ごしている (58.9%)」「ひとりで過ごしている (17.8%)」「恋人・配偶者と過ごしている (16.2%)」「仕事や学校が忙しく、ほとんど時間の余裕がない (16.2%)」の順になっています。
 ・女性は、「家族・子供と過ごしている (63.1%)」「恋人・配偶者と過ごしている (15.7%)」「同性の友人と過ごしている (15.1%)」の順になっています。

	同性の友 人と過ごし ている	恋人・配偶 者と過ごし ている	家族・子ど もと過ごし ている	趣味の仲 間と過ごし ている	ひとりで 過ごし ている	仕事や学校が忙 しく、ほとんど時 間の余裕がない	回答数
男性・20～24歳	44.4%	33.3%	77.8%	11.1%	0.0%	11.1%	16
男性・25～29歳	6.3%	21.9%	56.3%	25.0%	6.3%	21.9%	44
男性・30～34歳	11.0%	16.4%	71.2%	8.2%	13.7%	15.1%	99
男性・35～39歳	5.6%	11.1%	63.3%	6.7%	17.8%	7.8%	101
男性・40～44歳	2.2%	13.0%	57.6%	10.9%	19.6%	17.4%	111
男性・45～49歳	0.0%	18.7%	49.6%	13.8%	23.6%	21.1%	156
男性・50歳	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1
女性・20～24歳	16.7%	41.7%	58.3%	16.7%	25.0%	0.0%	19
女性・25～29歳	24.5%	34.0%	67.9%	0.0%	7.5%	1.9%	72
女性・30～34歳	16.3%	13.8%	75.0%	0.0%	7.5%	16.3%	103
女性・35～39歳	15.3%	7.1%	73.5%	3.1%	8.2%	16.3%	121
女性・40～44歳	10.7%	10.7%	67.2%	1.6%	16.4%	13.9%	147
女性・45～49歳	14.9%	16.7%	47.6%	1.2%	19.6%	15.5%	194
女性・50歳	0.0%	66.7%	33.3%	0.0%	66.7%	0.0%	5
男性	5.0%	16.2%	58.9%	11.4%	17.8%	16.2%	528
女性	15.1%	15.7%	63.1%	1.7%	14.2%	13.6%	661
全体	10.7%	15.9%	61.2%	6.0%	15.8%	14.7%	1189

問4 あなたは、ご自身の出産年齢について、どのように考え、行動していますか。(回答数=957)

A. 女性の出産年齢を考えた、結婚すること

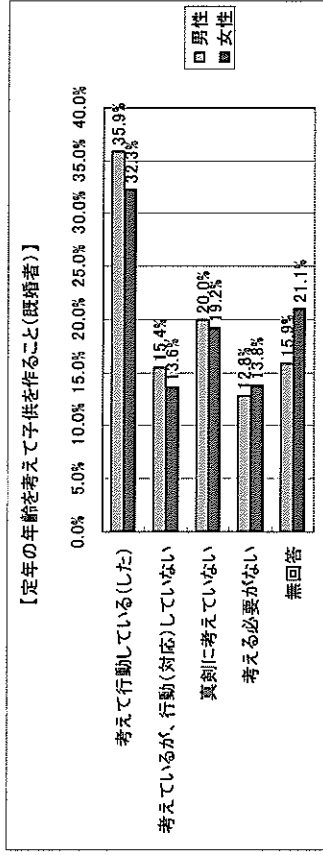
- ・男女のとも、「考えて行動している(した)」(男性40.4%、女性44.8%)「無回答(男性16.9%、女性21.1%)」
- 「考える必要がない(男性15.4%、女性12.1%)」の順になっています。



	考えて行動している(した)	考えているが、行動(対応)していない	真剣に考えていない	考える必要がない	無回答
男性・20~24歳	33.3%	22.2%	11.1%	33.3%	0.0%
男性・25~29歳	34.4%	15.6%	3.1%	40.6%	6.3%
男性・30~34歳	52.1%	9.6%	16.4%	16.4%	5.5%
男性・35~39歳	35.6%	21.1%	18.9%	7.8%	16.7%
男性・40~44歳	35.9%	9.8%	15.2%	13.0%	26.1%
男性・45~49歳	43.1%	11.4%	10.6%	14.6%	20.3%
男性・50歳	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	50.0%
女性・20~24歳	58.3%	16.7%	8.3%	8.3%	8.3%
女性・25~29歳	45.3%	13.2%	15.1%	18.9%	7.5%
女性・30~34歳	48.8%	10.0%	7.5%	12.5%	21.3%
女性・35~39歳	45.9%	16.3%	11.2%	10.2%	16.3%
女性・40~44歳	45.1%	9.8%	12.3%	14.8%	18.0%
女性・45~49歳	41.1%	6.5%	12.5%	9.5%	30.4%
女性・50歳	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	66.7%
男性	40.4%	13.5%	13.8%	15.4%	16.9%
女性	44.8%	10.4%	11.6%	12.1%	21.1%
全体	42.8%	11.8%	12.5%	13.6%	19.2%

B. 定年の年齢を考えた、子どもを作ること

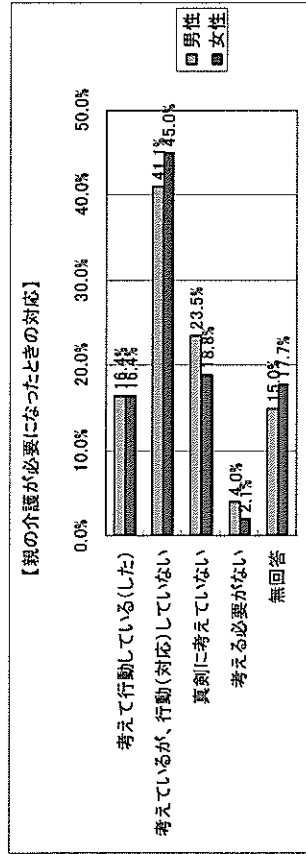
- ・男性は、「考えて行動している(した)」(35.9%)「真剣に考えていない(20.0%)」「無回答(15.9%)」の順になっています。
- ・女性は「考えて行動している(した)」(32.3%)「無回答(21.1%)」「真剣に考えていない(19.2%)」の順になっています。



	考えて行動している(した)	考えているが、行動(対応)していない	真剣に考えていない	考える必要がない	無回答
男性・20~24歳	33.3%	0.0%	22.2%	44.4%	0.0%
男性・25~29歳	31.3%	21.9%	18.8%	18.8%	9.4%
男性・30~34歳	41.1%	11.0%	21.9%	19.2%	6.8%
男性・35~39歳	30.0%	21.1%	25.6%	8.9%	14.4%
男性・40~44歳	37.0%	12.0%	18.5%	7.6%	25.0%
男性・45~49歳	36.2%	15.4%	16.3%	12.2%	17.9%
男性・50歳	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	50.0%
女性・20~24歳	41.7%	8.3%	33.3%	8.3%	8.3%
女性・25~29歳	34.0%	13.2%	32.1%	13.2%	7.5%
女性・30~34歳	37.5%	12.5%	15.0%	15.0%	20.0%
女性・35~39歳	30.6%	18.4%	19.4%	15.3%	16.3%
女性・40~44歳	31.1%	15.6%	18.9%	15.6%	18.9%
女性・45~49歳	30.4%	10.7%	16.7%	11.9%	30.4%
女性・50歳	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	66.7%
男性	35.9%	15.4%	20.0%	12.8%	15.9%
女性	32.3%	13.6%	19.2%	13.8%	21.1%
全体	33.9%	14.4%	19.5%	13.4%	18.8%

C. 親の介護が必要になったときの対応

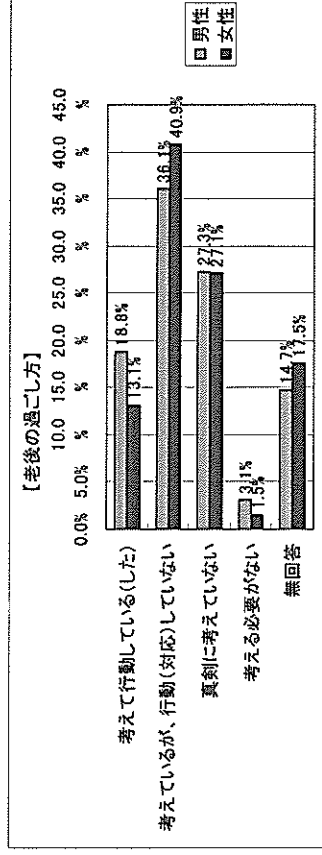
・男女とも「考えているが行動(対応)していない(男性41.1%、女性45.0%)」が最も高く、次いで「真剣に考えていない(男性28.5%、女性18.8%)」の順となっています。



	考えて行動している(した)	考えているが、行動(対応)していない	真剣に考えていない	考える必要がない	無回答
男性・20～24歳	11.1%	55.6%	33.3%	0.0%	0.0%
男性・25～29歳	12.5%	37.5%	43.8%	0.0%	6.3%
男性・30～34歳	15.1%	49.3%	20.5%	8.2%	6.8%
男性・35～39歳	15.6%	37.8%	28.9%	3.3%	14.4%
男性・40～44歳	19.6%	37.0%	17.4%	2.2%	23.9%
男性・45～49歳	17.1%	41.5%	20.3%	4.9%	16.3%
男性・50歳	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	50.0%
女性・20～24歳	8.3%	58.3%	25.0%	0.0%	8.3%
女性・25～29歳	15.1%	45.3%	26.4%	5.7%	7.5%
女性・30～34歳	11.3%	42.5%	26.3%	1.3%	18.8%
女性・35～39歳	14.3%	45.9%	22.4%	2.0%	15.3%
女性・40～44歳	16.4%	45.1%	18.9%	1.6%	18.0%
女性・45～49歳	21.4%	43.5%	10.7%	1.8%	22.6%
女性・50歳	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
男性	16.4%	41.1%	23.5%	4.0%	15.0%
女性	16.4%	45.0%	18.8%	2.1%	17.7%
全体	16.4%	43.3%	20.9%	2.9%	16.5%

D. 老後の過ごし方

・男女とも「考えているが、行動(対応)していない(男性36.1%、女性40.9%)」が最も高く、次いで「真剣に考えていない(男性27.3%、女性27.1%)」の順となっています。

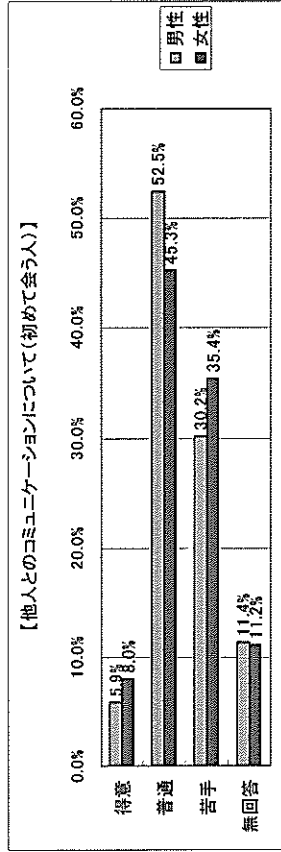


	考えて行動している(した)	考えているが、行動(対応)していない	真剣に考えていない	考える必要がない	無回答
男性・20～24歳	11.1%	44.4%	33.3%	11.1%	0.0%
男性・25～29歳	6.3%	43.8%	37.5%	6.3%	6.3%
男性・30～34歳	16.4%	39.7%	30.1%	6.8%	6.8%
男性・35～39歳	13.3%	36.7%	32.2%	3.3%	14.4%
男性・40～44歳	19.6%	33.7%	22.8%	1.1%	22.8%
男性・45～49歳	27.6%	32.5%	22.8%	0.8%	16.3%
男性・50歳	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	50.0%
女性・20～24歳	8.3%	41.7%	41.7%	0.0%	8.3%
女性・25～29歳	13.2%	34.0%	41.5%	3.8%	7.5%
女性・30～34歳	8.8%	40.0%	31.3%	0.0%	20.0%
女性・35～39歳	11.2%	36.7%	34.7%	3.1%	14.3%
女性・40～44歳	16.4%	45.1%	19.7%	0.0%	18.9%
女性・45～49歳	14.3%	41.7%	20.8%	1.8%	21.4%
女性・50歳	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
男性	18.8%	36.1%	27.3%	3.1%	14.7%
女性	13.1%	40.9%	27.1%	1.5%	17.5%
全体	15.6%	38.8%	27.2%	2.2%	16.3%

問5 あなたは、他人とのコミュニケーションについて、得意な方ですか。(回答数=957)

【初めて会う人】

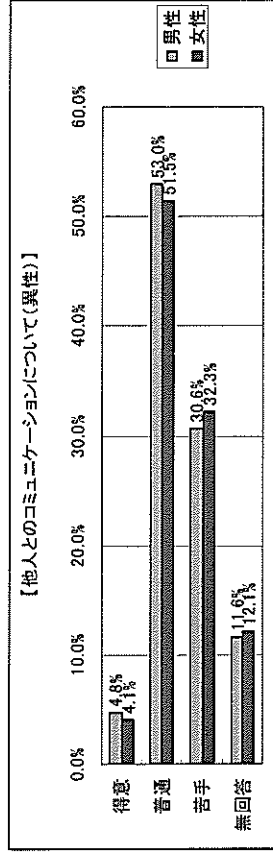
・男女とも、「普通（男性52.5%、女性45.3%）」が最も高く、次いで「苦手（男性30.2%、女性35.4%）」の順になっています。



	得意	普通	苦手	無回答
男性・20～24歳	22.2%	33.3%	44.4%	0.0%
男性・25～29歳	6.3%	53.1%	31.3%	9.4%
男性・30～34歳	4.1%	60.3%	31.5%	4.1%
男性・35～39歳	4.4%	43.3%	36.7%	15.6%
男性・40～44歳	6.5%	57.6%	22.8%	13.0%
男性・45～49歳	6.5%	52.0%	29.3%	12.2%
男性・50歳	0.0%	50.0%	0.0%	50.0%
女性・20～24歳	0.0%	33.3%	66.7%	0.0%
女性・25～29歳	5.7%	54.7%	30.2%	9.4%
女性・30～34歳	11.3%	40.0%	36.3%	12.5%
女性・35～39歳	10.2%	40.8%	39.8%	9.2%
女性・40～44歳	7.4%	46.7%	34.4%	11.5%
女性・45～49歳	7.1%	47.0%	32.7%	13.1%
女性・50歳	0.0%	66.7%	33.3%	0.0%
男性	5.9%	52.5%	30.2%	11.4%
女性	8.0%	45.3%	35.4%	11.2%
全体	7.1%	48.5%	33.1%	11.3%

【異性】

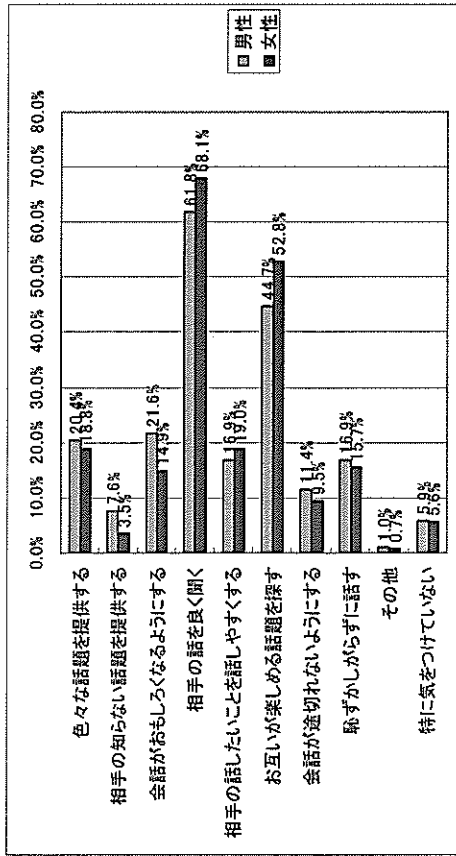
・男女とも「普通（男性53.0%、女性51.5%）」が最も高く、次いで「苦手（男性30.6%、女性32.3%）」の順になっています。



	得意	普通	苦手	無回答
男性・20～24歳	22.2%	33.3%	44.4%	0.0%
男性・25～29歳	9.4%	56.3%	25.0%	9.4%
男性・30～34歳	4.1%	58.9%	32.9%	4.1%
男性・35～39歳	2.2%	43.3%	38.9%	15.6%
男性・40～44歳	7.6%	54.3%	23.9%	14.1%
男性・45～49歳	2.4%	56.1%	29.3%	12.2%
男性・50歳	0.0%	50.0%	0.0%	50.0%
女性・20～24歳	8.3%	50.0%	41.7%	0.0%
女性・25～29歳	3.8%	62.3%	24.5%	9.4%
女性・30～34歳	7.5%	46.3%	33.8%	12.5%
女性・35～39歳	4.1%	45.9%	40.8%	9.2%
女性・40～44歳	3.3%	54.9%	29.5%	12.3%
女性・45～49歳	3.0%	51.8%	29.8%	15.5%
女性・50歳	0.0%	33.3%	66.7%	0.0%
男性	4.8%	53.0%	30.6%	11.6%
女性	4.1%	51.5%	32.3%	12.1%
全体	4.4%	52.1%	31.6%	11.9%

問6 コミュニケーションについて、どのようなことが大切だと思いますか。

・男女とも「相手の話を良く聞く（男性61.8%、女性68.1%）」「お互いが楽しめる話題を探す（男性44.7%、女性52.8%）」が高くなっています。

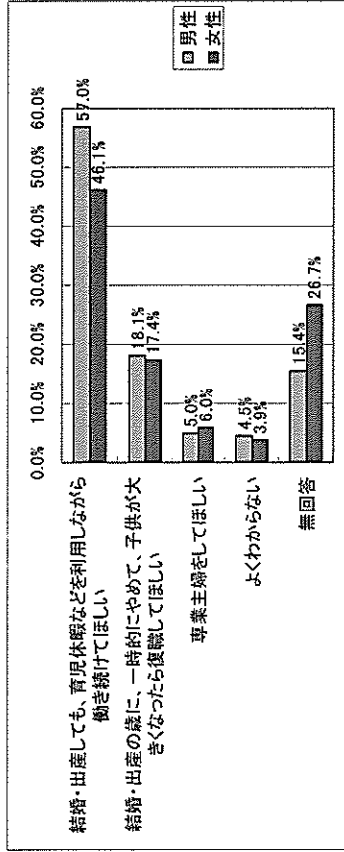


	色々な話題を提供する	相手の知らない話題を提供する	会話がおもしろくなるようにする	相手の話を良く聞く	相手の話を話しやすくする
男性・20～24歳	22.2%	0.0%	44.4%	44.4%	33.3%
男性・25～29歳	18.8%	15.6%	28.1%	59.4%	12.5%
男性・30～34歳	27.4%	6.8%	26.0%	72.6%	17.8%
男性・35～39歳	17.8%	6.7%	24.4%	57.8%	16.7%
男性・40～44歳	23.9%	4.3%	17.4%	60.9%	16.3%
男性・45～49歳	16.3%	9.8%	17.1%	61.8%	17.1%
男性・50歳	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
女性・20～24歳	33.3%	16.7%	25.0%	75.0%	16.7%
女性・25～29歳	17.0%	3.8%	20.8%	75.5%	9.4%
女性・30～34歳	22.5%	1.3%	12.5%	73.8%	21.3%
女性・35～39歳	17.3%	3.1%	17.3%	60.2%	16.3%
女性・40～44歳	21.3%	2.5%	13.1%	64.8%	19.7%
女性・45～49歳	16.1%	4.2%	13.1%	69.0%	22.0%
女性・50歳	0.0%	33.3%	0.0%	100.0%	33.3%
男性	20.4%	7.6%	21.6%	61.8%	16.9%
女性	18.8%	3.5%	14.9%	68.1%	19.0%
全体	19.5%	5.3%	17.9%	65.3%	18.1%

	お互いが楽しめる話題を探す	会話が途切れないようにする	恥ずかしがらずに話す	その他	特に気をつけていない	回答数
男性・20～24歳	44.4%	11.1%	22.2%	0.0%	0.0%	20
男性・25～29歳	53.1%	0.0%	9.4%	0.0%	6.3%	65
男性・30～34歳	46.6%	15.1%	19.2%	1.4%	5.5%	174
男性・35～39歳	41.1%	14.4%	17.8%	0.0%	3.3%	180
男性・40～44歳	46.7%	9.8%	15.2%	1.1%	2.2%	182
男性・45～49歳	43.1%	11.4%	17.9%	1.5%	10.6%	254
男性・50歳	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	1
女性・20～24歳	75.0%	0.0%	16.7%	0.0%	0.0%	31
女性・25～29歳	52.8%	7.5%	11.3%	0.0%	7.5%	109
女性・30～34歳	53.8%	10.0%	13.8%	0.0%	3.8%	170
女性・35～39歳	54.1%	13.3%	16.3%	1.0%	5.1%	200
女性・40～44歳	59.8%	9.8%	14.8%	1.5%	5.7%	260
女性・45～49歳	45.2%	7.7%	17.9%	0.8%	6.0%	340
女性・50歳	33.3%	33.3%	33.3%	0.0%	33.3%	9
男性	44.7%	11.4%	16.9%	1.0%	5.9%	881
女性	52.8%	9.5%	15.7%	0.7%	5.8%	1124
全体	49.2%	10.3%	16.2%	0.8%	5.7%	1995

問7 あなたが結婚した場合、女性(妻)の職業について、どのように考えますか。(回答数=9,57)

・男女とも「結婚・出産しても、育児休暇などを利用しながら働き続けたい(継続してほしい)」(男性 57.0%、女性 46.1%) が最も高くなっています。



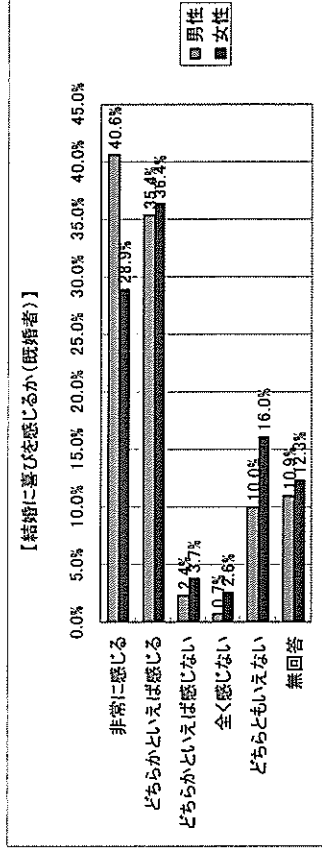
結婚についての考え方・イメージ

問8 あなたは、「結婚」に、喜びや希望を感じますか。(回答数=9,57)

・男性は、「非常に感じる(40.6%)」「どちらかといえば感じる(35.4%)」「無回答(10.9%)」の順となっています。

・女性は、「どちらかといえば感じる(36.4%)」「非常に感じる(28.9%)」「どちらともいえない(16.0%)」の順となっています。

・男女の比較では、男性は「非常に感じる」が高く、女性は「どちらともいえない」が高くなっています。

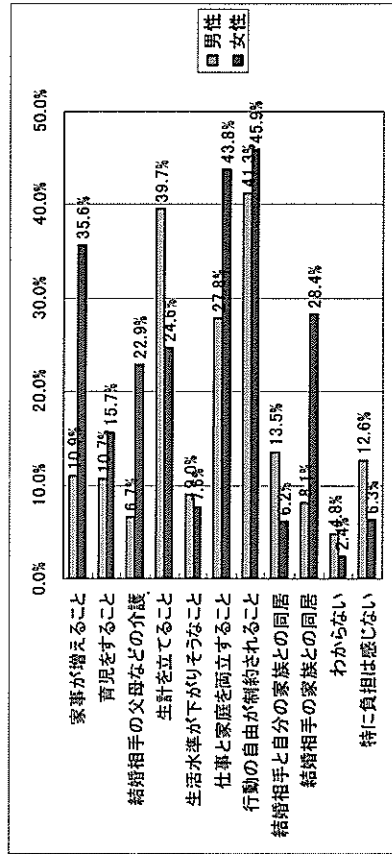


	結婚・出産しても、育児休暇などを利用しながら働き続けたい	結婚・出産の歳に、一時的にやめて、子供が大きくなったら復職してほしい	専業主婦をしてほしい	よくわからない	無回答
男性・20~24歳	33.3%	55.6%	0.0%	0.0%	11.1%
男性・25~29歳	40.6%	28.1%	12.5%	9.4%	9.4%
男性・30~34歳	67.1%	16.4%	5.5%	4.1%	6.8%
男性・35~39歳	55.6%	15.6%	5.6%	6.7%	16.7%
男性・40~44歳	53.3%	22.8%	4.3%	0.0%	19.6%
男性・45~49歳	61.8%	12.2%	3.3%	4.9%	17.9%
男性・50歳	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%
女性・20~24歳	33.3%	50.0%	0.0%	8.3%	8.3%
女性・25~29歳	49.1%	24.5%	3.8%	7.5%	15.1%
女性・30~34歳	48.8%	18.8%	6.3%	3.8%	22.5%
女性・35~39歳	50.0%	14.3%	10.2%	5.1%	20.4%
女性・40~44歳	48.7%	15.6%	6.6%	1.6%	29.5%
女性・45~49歳	41.7%	15.5%	4.2%	3.6%	35.1%
女性・50歳	66.7%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%
男性	57.0%	18.1%	5.0%	4.5%	15.4%
女性	46.1%	17.4%	6.0%	3.9%	26.7%
全体	50.9%	17.7%	5.5%	4.2%	21.7%

	非常に感じる	どちらかといえば感じる	どちらかといえば感じない	全く感じない	どちらともいえない	無回答
男性・20~24歳	71.8%	22.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
男性・25~29歳	50.0%	34.4%	0.0%	0.0%	6.3%	9.4%
男性・30~34歳	53.4%	30.1%	0.0%	0.0%	11.0%	5.5%
男性・35~39歳	37.8%	33.3%	2.2%	1.1%	12.2%	13.3%
男性・40~44歳	33.7%	37.0%	5.4%	1.1%	8.7%	14.1%
男性・45~49歳	35.8%	39.8%	2.4%	0.8%	10.6%	10.6%
男性・50歳	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%
女性・20~24歳	41.7%	50.0%	0.0%	0.0%	8.3%	0.0%
女性・25~29歳	50.9%	30.2%	1.9%	1.9%	7.5%	7.5%
女性・30~34歳	32.5%	43.8%	2.5%	3.8%	8.8%	8.8%
女性・35~39歳	26.5%	35.7%	4.1%	2.0%	16.3%	15.3%
女性・40~44歳	28.7%	32.0%	4.1%	3.3%	22.1%	9.8%
女性・45~49歳	21.4%	38.1%	4.8%	2.4%	16.7%	16.7%
女性・50歳	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
男性	40.6%	35.4%	2.4%	0.7%	10.0%	10.9%
女性	28.9%	36.4%	3.7%	2.6%	16.0%	12.3%
全体	34.1%	35.8%	3.1%	1.8%	13.4%	11.7%

図9 あなたは、「結婚」にどのような負担を感じますか。

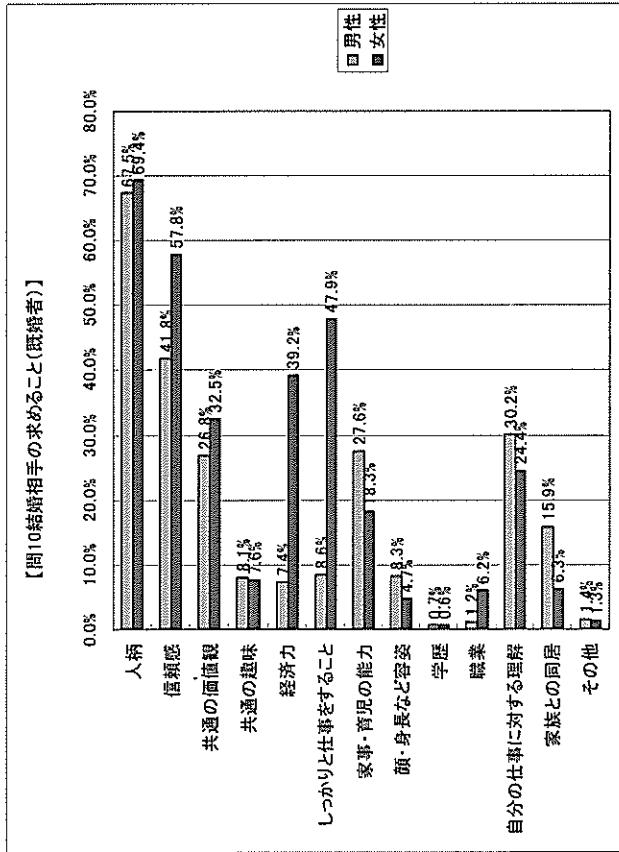
- ・男性は、「行動の自由が制約されること（41.3%）」「生計を立てること（39.7%）」「仕事と家庭を両立すること（27.8%）」の順になっています。
- ・女性は、「行動の自由が制約されること（45.9%）」「仕事と家庭を両立すること（43.8%）」「家事が増えること（35.6%）」の順になっています。
- ・男女の比較では、男性は「生計を立てること」が高く、女性は「家事が増えること」「結婚相手の父母などの介護」「仕事と家庭を両立すること」「結婚相手の家族との同居」が高くなっています。



	家事が増えること	育児をすること	結婚相手の父母などの介護	生計を立てること	生活水準が下がりがりなこと	仕事と家庭を両立すること
男性・20～24歳	11.1%	11.1%	11.1%	44.4%	33.3%	33.3%
男性・25～29歳	15.6%	9.4%	6.3%	37.5%	12.5%	28.1%
男性・30～34歳	6.8%	16.4%	6.8%	46.6%	8.2%	38.4%
男性・35～39歳	8.9%	7.8%	4.4%	30.0%	11.1%	23.3%
男性・40～44歳	12.0%	10.9%	6.5%	39.1%	6.5%	19.6%
男性・45～49歳	13.0%	9.8%	8.1%	43.1%	7.3%	30.9%
男性・50歳	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%
女性・20～24歳	50.0%	33.3%	16.7%	25.0%	8.3%	33.3%
女性・25～29歳	34.0%	13.2%	17.0%	28.3%	9.4%	43.4%
女性・30～34歳	32.5%	17.5%	18.8%	33.8%	7.5%	46.3%
女性・35～39歳	23.5%	15.3%	20.4%	21.4%	7.1%	46.9%
女性・40～44歳	41.8%	13.9%	28.7%	27.9%	9.8%	44.3%
女性・45～49歳	38.7%	16.1%	23.2%	17.3%	5.4%	41.7%
女性・50歳	66.7%	0.0%	100.0%	100.0%	33.3%	33.3%
男性	10.9%	10.7%	6.7%	39.7%	9.0%	27.8%
女性	35.6%	15.7%	22.9%	24.6%	7.6%	43.8%
全体	24.8%	13.5%	15.8%	31.2%	8.3%	36.8%

	行動の自由が制約されること	結婚相手と自分の家族との同居	結婚相手の家族との同居	わがから	特に負担は感じない	回答数
男性・20～24歳	66.7%	11.1%	33.3%	11.1%	22.2%	26
男性・25～29歳	40.6%	6.3%	15.6%	6.3%	12.5%	61
男性・30～34歳	49.3%	15.1%	4.1%	2.7%	9.6%	149
男性・35～39歳	47.8%	12.2%	4.4%	7.8%	15.6%	156
男性・40～44歳	31.5%	16.3%	10.9%	2.2%	12.0%	154
男性・45～49歳	38.2%	13.8%	7.3%	4.9%	12.2%	232
男性・50歳	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1
女性・20～24歳	66.7%	16.7%	41.7%	0.0%	0.0%	35
女性・25～29歳	45.3%	1.9%	20.8%	3.8%	13.2%	122
女性・30～34歳	47.5%	2.5%	27.5%	2.5%	6.3%	194
女性・35～39歳	49.0%	6.1%	26.5%	2.0%	8.2%	222
女性・40～44歳	44.3%	8.2%	36.1%	1.6%	3.3%	317
女性・45～49歳	42.9%	7.1%	25.0%	3.0%	6.0%	380
女性・50歳	66.7%	0.0%	66.7%	0.0%	0.0%	14
男性	41.3%	13.5%	8.1%	4.8%	12.6%	779
女性	45.9%	6.2%	28.4%	2.4%	6.3%	1284
全体	43.9%	9.4%	19.4%	3.4%	9.1%	2063

問1.0 あなたは、どのようなことを結婚する(した)相手に求めますか(ましたか)。
 ・男女とも、「人柄(男性67.5%、女性69.4%)」が最も高く、次いで「信頼感(男性41.8%、女性57.8%)」の順になっています。
 ・男女の比較では、女性で「経済力」「しっかりと仕事をすること」が高くなっています。

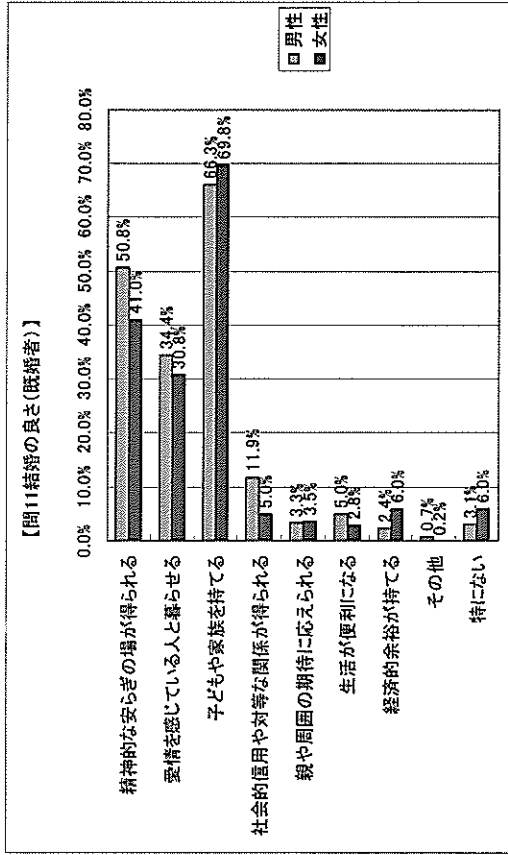


	人柄	信頼感	共通の価値観	共通の趣味	経済力	しっかりと仕事をすること	家事・育児の能力
男性・20～24歳	77.8%	66.7%	22.2%	22.2%	0.0%	11.1%	22.2%
男性・25～29歳	62.5%	37.5%	28.1%	15.6%	15.6%	12.5%	31.3%
男性・30～34歳	69.9%	57.5%	24.7%	9.6%	4.1%	11.0%	26.0%
男性・35～39歳	67.8%	35.6%	28.9%	7.8%	5.6%	6.7%	35.6%
男性・40～44歳	68.5%	35.9%	29.3%	6.5%	13.0%	9.8%	23.9%
男性・45～49歳	65.9%	40.7%	24.4%	5.7%	4.9%	6.5%	25.2%
男性・50歳	50.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
女性・20～24歳	58.3%	75.0%	25.0%	41.7%	33.3%	75.0%	50.0%
女性・25～29歳	69.8%	69.8%	39.6%	5.7%	26.4%	49.1%	32.1%
女性・30～34歳	67.5%	60.0%	28.8%	3.8%	38.8%	47.5%	26.3%
女性・35～39歳	73.5%	55.1%	39.8%	8.2%	34.7%	42.9%	14.3%
女性・40～44歳	68.0%	57.4%	33.6%	9.0%	41.0%	51.6%	14.8%
女性・45～49歳	70.2%	54.2%	28.0%	6.5%	44.0%	45.2%	13.1%
女性・50歳	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%	100.0%	100.0%	0.0%
男性	67.5%	41.8%	26.8%	8.1%	7.4%	8.6%	27.6%
女性	69.4%	57.8%	32.5%	7.6%	39.2%	47.9%	18.3%
全体	68.5%	50.8%	30.0%	7.8%	25.2%	30.6%	22.4%

	顔・身長など容姿	学歴	職業	自分の仕事に対する理解	家族との同居	その他	計
男性・20～24歳	11.1%	0.0%	0.0%	11.1%	0.0%	0.0%	22
男性・25～29歳	9.4%	0.0%	0.0%	28.1%	6.3%	3.1%	80
男性・30～34歳	6.8%	1.4%	1.4%	41.1%	17.8%	0.0%	198
男性・35～39歳	11.1%	1.1%	0.0%	25.6%	11.1%	2.2%	215
男性・40～44歳	6.5%	0.0%	2.2%	29.3%	16.3%	2.2%	224
男性・45～49歳	8.1%	0.8%	1.6%	30.1%	21.1%	0.8%	290
男性・50歳	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	4
女性・20～24歳	8.3%	0.0%	0.0%	16.7%	8.3%	0.0%	47
女性・25～29歳	3.8%	0.0%	7.5%	24.5%	7.5%	1.9%	179
女性・30～34歳	1.3%	1.3%	1.3%	21.3%	2.5%	1.3%	241
女性・35～39歳	7.1%	0.0%	4.1%	23.5%	9.2%	1.0%	307
女性・40～44歳	4.1%	0.0%	8.2%	27.0%	5.7%	1.6%	393
女性・45～49歳	5.4%	1.2%	7.7%	24.4%	6.5%	1.2%	517
女性・50歳	0.0%	0.0%	33.3%	66.7%	0.0%	0.0%	11
男性	8.3%	0.7%	1.2%	30.2%	15.9%	1.4%	1033
女性	4.7%	0.6%	6.2%	24.4%	6.3%	1.3%	1695
全体	6.3%	0.6%	4.0%	27.0%	10.6%	1.4%	2728

問11-1 結婚すると、どのようなことが良いと思えますか。

・男女ともに、「子供や家族を持てる（男性 66.3%、女性 69.8%）」が最も高く、次いで「精神的な安らぎの場が得られる（男性 50.8%、女性 41.0%）」「愛情を感じている人と暮らせる（男性 34.4%、女性 30.8%）」の順となっています。

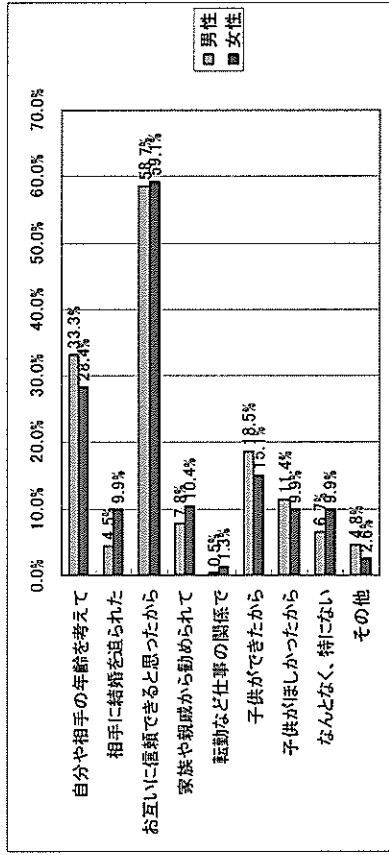


	精神的な安らぎの場が得られる	愛情を感じている人と暮らせる	子どもや家族を持てる	社会的信用や対等な関係が得られる	親や周囲の期待に応えられる
男性・20～24歳	44.4%	55.6%	66.7%	0.0%	0.0%
男性・25～29歳	53.1%	65.6%	46.9%	0.0%	0.0%
男性・30～34歳	49.3%	46.6%	69.9%	8.2%	1.4%
男性・35～39歳	51.1%	34.4%	76.7%	11.1%	4.4%
男性・40～44歳	44.6%	29.3%	63.0%	12.0%	4.3%
男性・45～49歳	56.3%	21.1%	65.0%	18.7%	4.1%
男性・50歳	100.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%
女性・20～24歳	25.0%	75.0%	75.0%	0.0%	0.0%
女性・25～29歳	47.2%	43.4%	77.4%	1.9%	1.9%
女性・30～34歳	38.8%	36.3%	78.8%	0.0%	6.3%
女性・35～39歳	41.8%	23.5%	67.3%	6.1%	3.1%
女性・40～44歳	45.1%	27.9%	66.4%	4.1%	3.3%
女性・45～49歳	38.7%	27.4%	66.7%	8.9%	3.6%
女性・50歳	0.0%	33.3%	66.7%	0.0%	0.0%
男性	50.8%	34.4%	66.3%	11.9%	3.3%
女性	41.0%	30.8%	69.8%	5.0%	3.5%
全体	45.4%	32.4%	68.2%	8.0%	3.4%

	生活が便利になる	経済的余裕が持てる	その他	特にない	回答数
男性・20～24歳	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	15
男性・25～29歳	6.3%	0.0%	0.0%	3.1%	56
男性・30～34歳	8.2%	2.7%	1.4%	4.1%	140
男性・35～39歳	5.6%	1.1%	0.0%	4.4%	170
男性・40～44歳	4.3%	2.2%	1.1%	3.3%	151
男性・45～49歳	3.3%	4.1%	0.8%	1.6%	214
男性・50歳	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	3
女性・20～24歳	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	21
女性・25～29歳	3.8%	0.0%	0.0%	1.9%	94
女性・30～34歳	3.8%	2.5%	0.0%	0.0%	133
女性・35～39歳	2.0%	7.1%	1.0%	7.1%	156
女性・40～44歳	0.8%	5.7%	0.0%	9.8%	199
女性・45～49歳	4.2%	9.5%	0.0%	6.5%	278
女性・50歳	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	4
男性	5.0%	2.4%	0.7%	3.1%	749
女性	2.8%	6.0%	0.2%	6.0%	865
全体	3.8%	4.4%	0.4%	4.7%	1634

図1.2 どのような理由で結婚しましたか。

男女ともに、「お互いに信頼できると思ったから（男性58.7%、女性59.1%）」が最も高く、次いで「自分や相手の年齢を考えて（男性33.3%、女性28.4%）」「子供ができたから（男性18.5%、女性15.1%）」の順となっています。

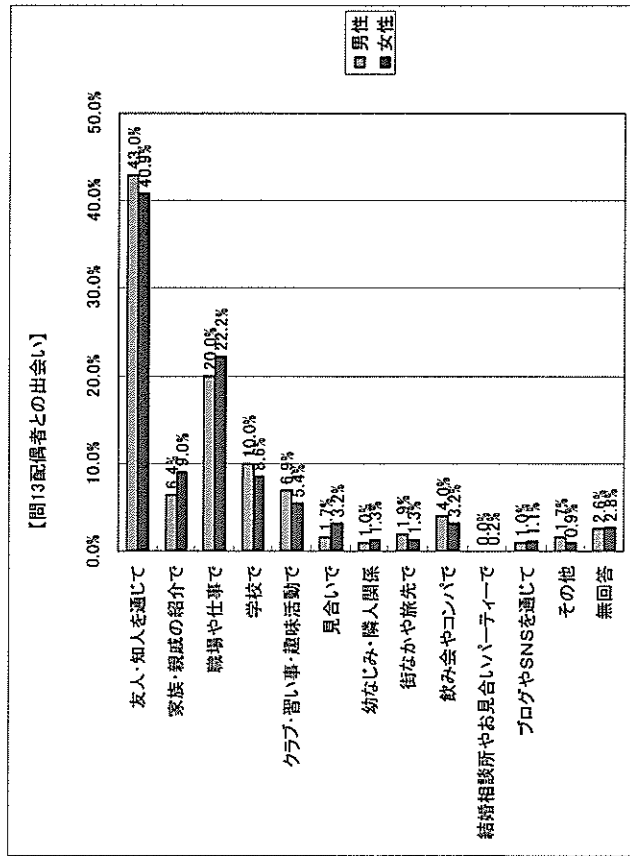


	自分や相手の年齢を考えて	相手に結婚を迫られた	お互いに信頼できると思ったから	家族や親戚から勧められて	転勤など仕事の関係で
男性・20～24歳	0.0%	0.0%	55.6%	0.0%	0.0%
男性・25～29歳	18.8%	3.1%	56.3%	0.0%	0.0%
男性・30～34歳	27.4%	4.1%	65.8%	2.7%	0.0%
男性・35～39歳	35.6%	7.8%	52.2%	7.8%	1.1%
男性・40～44歳	33.7%	4.3%	57.6%	7.6%	0.0%
男性・45～49歳	41.5%	3.3%	60.2%	13.8%	0.8%
男性・50歳	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
女性・20～24歳	8.3%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%
女性・25～29歳	24.5%	5.7%	66.0%	5.7%	1.9%
女性・30～34歳	20.0%	7.5%	60.0%	3.8%	1.3%
女性・35～39歳	27.6%	7.1%	62.2%	10.2%	0.0%
女性・40～44歳	40.2%	8.2%	59.8%	10.7%	2.5%
女性・45～49歳	27.4%	15.5%	57.1%	16.1%	1.2%
女性・50歳	0.0%	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%
男性	33.3%	4.5%	58.7%	7.8%	0.5%
女性	28.4%	9.9%	59.1%	10.4%	1.3%
全体	30.5%	7.5%	58.9%	9.3%	0.9%

	子供ができたから	子供がほしかったから	なんとなく、特にない	その他	計
男性・20～24歳	77.8%	11.1%	0.0%	11.1%	14
男性・25～29歳	40.6%	12.5%	9.4%	12.5%	49
男性・30～34歳	23.3%	20.5%	4.1%	2.7%	110
男性・35～39歳	24.4%	10.0%	6.7%	4.4%	135
男性・40～44歳	17.4%	13.0%	5.4%	2.2%	130
男性・45～49歳	2.4%	5.7%	8.9%	5.7%	175
男性・50歳	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2
女性・20～24歳	75.0%	0.0%	0.0%	0.0%	13
女性・25～29歳	30.2%	17.0%	3.8%	1.9%	83
女性・30～34歳	28.8%	15.0%	11.3%	2.5%	120
女性・35～39歳	15.3%	14.3%	6.1%	3.1%	143
女性・40～44歳	7.4%	7.4%	10.7%	2.5%	182
女性・45～49歳	5.4%	5.4%	12.5%	2.4%	240
女性・50歳	0.0%	0.0%	66.7%	33.3%	5
男性	18.5%	11.4%	6.7%	4.8%	615
女性	15.1%	9.9%	9.9%	2.6%	786
全体	16.6%	10.6%	8.5%	3.6%	1401

図1.3 配偶者とは、どのようなきつかけで出会いましたか。

・男女ともに「友人・知人を通じて（男性43.0%、女性40.9%）」「職場や仕事で（男性20.0%、女性22.2%）」
 「学校で（男性10.0%、女性8.6%）」の順となっています。

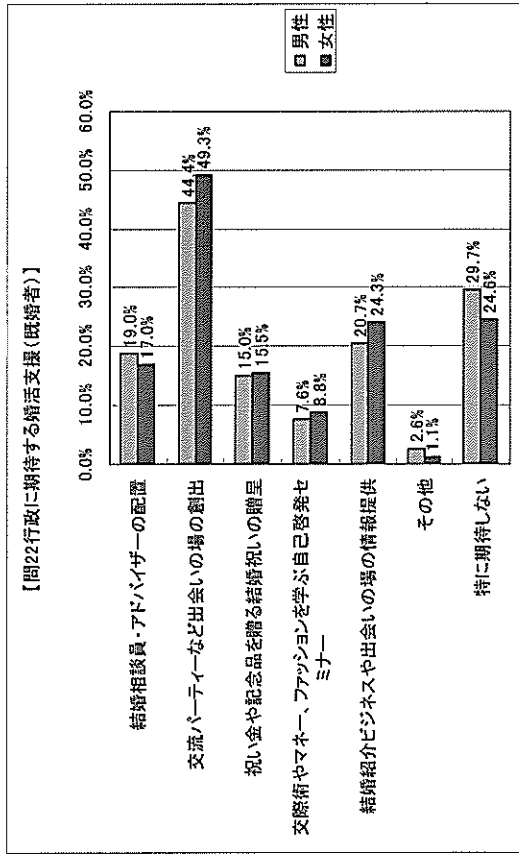


	友人・知人を通じて	家族・親戚の紹介で	職場や仕事で	学校で	クラブ・習い事・趣味活動で	見合いで	幼なじみ・隣人関係
男性・20～24歳	44.4%	0.0%	22.2%	22.2%	0.0%	0.0%	0.0%
男性・25～29歳	59.4%	0.0%	9.4%	18.8%	0.0%	0.0%	0.0%
男性・30～34歳	46.6%	1.4%	16.4%	12.3%	2.7%	2.7%	0.0%
男性・35～39歳	53.3%	3.3%	21.1%	6.7%	6.7%	0.0%	0.0%
男性・40～44歳	34.8%	3.3%	26.1%	8.7%	9.8%	1.1%	1.1%
男性・45～49歳	34.1%	16.3%	19.5%	8.9%	9.8%	3.3%	2.4%
男性・50歳	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
女性・20～24歳	66.7%	8.3%	8.3%	8.3%	0.0%	0.0%	0.0%
女性・25～29歳	49.1%	3.8%	24.5%	11.3%	1.9%	0.0%	3.8%
女性・30～34歳	51.3%	1.3%	21.3%	12.5%	6.3%	0.0%	0.0%
女性・35～39歳	42.9%	6.1%	23.5%	7.1%	7.1%	2.0%	1.0%
女性・40～44歳	41.8%	9.0%	22.1%	9.8%	6.6%	0.8%	1.6%
女性・45～49歳	29.8%	16.1%	22.0%	6.0%	4.8%	8.3%	1.2%
女性・50歳	33.3%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
男性	43.0%	6.4%	20.0%	10.0%	6.8%	1.7%	1.0%
女性	40.9%	9.0%	22.2%	8.6%	5.4%	3.2%	1.3%
全体	41.8%	7.8%	21.2%	9.2%	6.1%	2.5%	1.1%

	街なかや旅先で	飲み会やコンパで	結婚相談所やお見合いパーティーで	ブログやSNSを通じて	その他	無回答	回答数
男性・20～24歳	0.0%	11.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	9
男性・25～29歳	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	3.1%	6.3%	32
男性・30～34歳	1.4%	9.6%	0.0%	0.0%	2.7%	4.1%	73
男性・35～39歳	2.2%	1.1%	0.0%	0.0%	1.1%	3.3%	90
男性・40～44歳	4.3%	4.3%	0.0%	0.0%	2.2%	2.2%	92
男性・45～49歳	0.8%	3.3%	0.0%	0.0%	0.0%	1.6%	123
男性・50歳	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2
女性・20～24歳	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	8.3%	0.0%	12
女性・25～29歳	3.8%	0.0%	0.0%	0.0%	1.9%	0.0%	53
女性・30～34歳	0.0%	5.0%	0.0%	0.0%	1.3%	0.0%	80
女性・35～39歳	1.0%	5.1%	0.0%	0.0%	2.0%	1.0%	98
女性・40～44歳	0.0%	1.6%	0.0%	0.0%	0.8%	1.6%	122
女性・45～49歳	1.8%	3.6%	0.6%	0.0%	0.0%	1.2%	168
女性・50歳	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	3
男性	1.9%	4.0%	0.0%	0.0%	1.0%	1.7%	421
女性	1.3%	3.2%	0.2%	0.0%	1.1%	0.9%	536
全体	1.6%	3.6%	0.1%	0.0%	1.0%	1.3%	967

問22 あなたは、どのような婚活支援事業を行政に期待しますか。

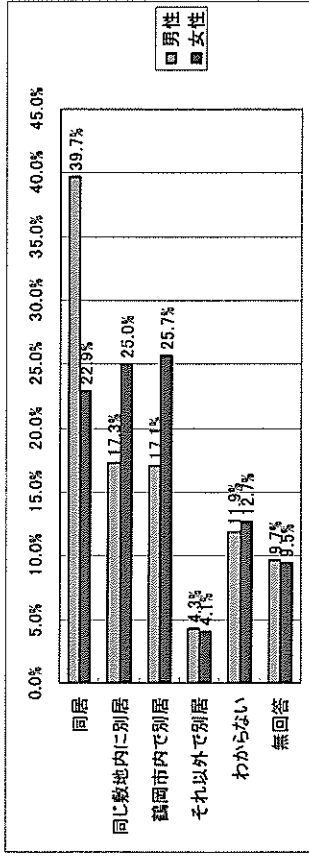
・男女とも、「交流パーティーなど出合いの場の創出（男性44.4%、女性49.30%）」が最も高く、次いで「特に期待しない（男性29.7%、女性24.6%）」「結婚紹介ビジネスや出合いの場の情報提供（男性20.7%、女性24.3%）」の順となっています。



性別・年齢	結婚相談員・アドバイザーの配置	交流パーティーなど出合いの場の創出	祝い金や記念品を贈る結婚祝いの贈呈	交際術やマナー、アクションを学ぶ自己啓発セミナー	結婚紹介ビジネスや出合いの場の情報提供	その他	特に期待しない	計
男性・20～24歳	0.0%	11.1%	55.6%	11.1%	0.0%	0.0%	33.3%	10
男性・25～29歳	18.8%	37.5%	18.8%	0.0%	9.4%	6.3%	34.4%	40
男性・30～34歳	21.9%	56.2%	28.8%	9.6%	21.9%	2.7%	24.7%	121
男性・35～39歳	12.2%	41.1%	13.3%	5.6%	24.4%	5.6%	35.6%	124
男性・40～44歳	21.7%	39.1%	13.0%	8.7%	19.6%	1.1%	29.3%	122
男性・45～49歳	22.0%	48.8%	4.9%	8.9%	22.8%	0.8%	27.8%	167
男性・50歳	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1
女性・20～24歳	8.3%	25.0%	50.0%	16.7%	0.0%	0.0%	25.0%	15
女性・25～29歳	15.1%	32.1%	28.3%	3.8%	11.3%	0.0%	41.5%	70
女性・30～34歳	12.5%	46.3%	20.0%	7.5%	27.5%	2.5%	25.0%	113
女性・35～39歳	14.3%	53.1%	20.4%	8.2%	23.5%	0.0%	22.4%	139
女性・40～44歳	24.6%	57.4%	8.2%	9.0%	28.7%	2.5%	18.9%	182
女性・45～49歳	16.7%	49.4%	8.9%	10.1%	25.6%	0.6%	25.0%	229
女性・50歳	0.0%	66.7%	33.3%	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%	5
男性	19.0%	44.4%	15.0%	7.6%	20.7%	2.6%	29.7%	585
女性	17.0%	49.3%	15.5%	8.8%	24.3%	1.1%	24.6%	753
全体	17.9%	47.1%	15.3%	8.3%	22.7%	1.8%	26.9%	1338

問2.3 結婚した後のご両親やご家族との住まいについて、理想的なものを選んでください。(回答数=957)

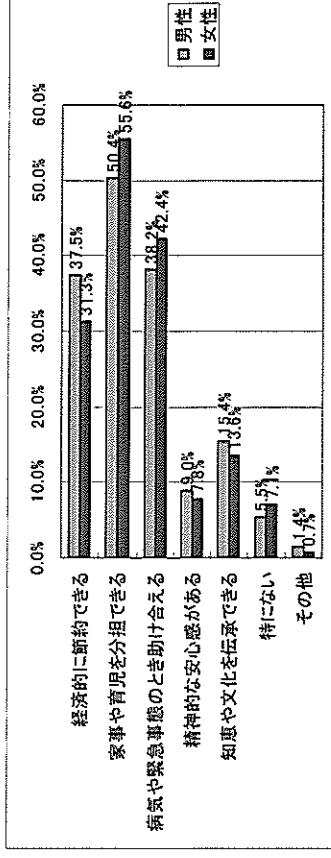
- ・男性は、「同居(39.7%)」「同じ敷地内に別居(17.3%)」「鶴岡市内で別居(17.1%)」の順となっています。
- ・女性は、「鶴岡市内で別居(25.7%)」「同じ敷地内に別居(25.0%)」「同居(22.9%)」の順となっています。
- ・「同居」で男性と女性の理想に少し開きがあります。



	同居	同じ敷地内に別居	鶴岡市内で別居	それ以外で別居	わからない	無回答
男性・20~24歳	44.4%	11.1%	22.2%	11.1%	11.1%	0.0%
男性・25~29歳	46.9%	6.3%	18.8%	3.1%	18.8%	6.3%
男性・30~34歳	50.7%	16.4%	13.7%	2.7%	8.2%	8.2%
男性・35~39歳	26.7%	23.3%	18.9%	5.6%	15.6%	10.0%
男性・40~44歳	34.8%	16.3%	17.4%	5.4%	14.1%	12.0%
男性・45~49歳	44.7%	17.9%	16.3%	3.3%	8.1%	9.8%
男性・50歳	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	50.0%
女性・20~24歳	41.7%	8.3%	33.3%	8.3%	8.3%	0.0%
女性・25~29歳	34.0%	17.0%	32.1%	1.9%	15.1%	0.0%
女性・30~34歳	22.5%	17.5%	30.0%	5.0%	15.0%	10.0%
女性・35~39歳	17.3%	35.7%	21.4%	5.1%	17.3%	3.1%
女性・40~44歳	22.1%	26.2%	22.1%	6.6%	9.8%	13.1%
女性・45~49歳	22.6%	25.0%	25.6%	1.8%	10.7%	14.3%
女性・50歳	0.0%	33.3%	66.7%	0.0%	0.0%	0.0%
男性	39.7%	17.3%	17.1%	4.3%	11.9%	9.7%
女性	22.9%	25.0%	25.7%	4.1%	12.7%	9.5%
全体	30.3%	21.0%	21.9%	4.2%	12.3%	9.6%

問2.4 同居すると、どのようなことが良いと思いますか？

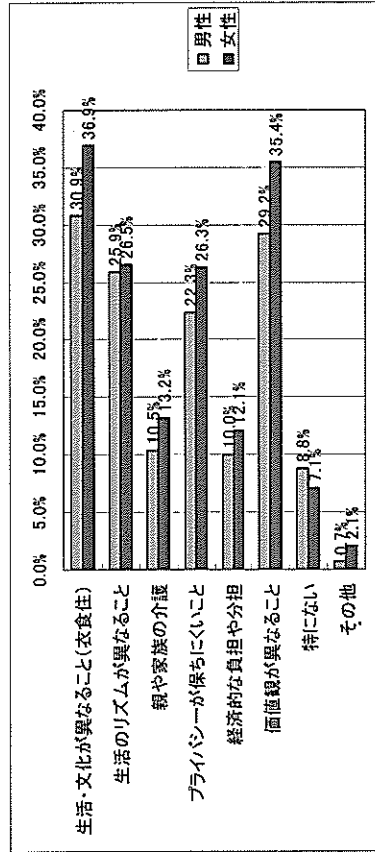
- ・男女とも「家事や育児を分担できる(男性50.4%、女性55.6%)」が最も高く、次いで「病気や緊急事態のとき助け合える(男性38.2%、女性42.4%)」「経済的に前約できる(男性37.5%、女性31.3%)」の順となっています。



	経済的に前約できる	家事や育児を分担できる	病気や緊急事態のとき助け合える	精神的な安心感がある	知恵や文化を伝承できる	特にない	その他	回答数
男性・20~24歳	44.4%	66.7%	33.3%	22.2%	0.0%	11.1%	0.0%	16
男性・25~29歳	37.5%	56.3%	34.4%	18.8%	9.4%	9.4%	3.1%	54
男性・30~34歳	32.9%	49.3%	41.1%	15.1%	19.2%	2.7%	1.4%	118
男性・35~39歳	41.1%	58.9%	35.6%	3.3%	18.9%	4.4%	0.0%	146
男性・40~44歳	30.4%	46.7%	43.5%	8.7%	15.2%	4.3%	2.2%	139
男性・45~49歳	43.1%	45.5%	35.8%	6.5%	13.8%	7.3%	1.6%	189
男性・50歳	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1
女性・20~24歳	41.7%	75.0%	41.7%	8.3%	16.7%	0.0%	0.0%	22
女性・25~29歳	37.7%	67.9%	34.0%	13.2%	9.4%	11.3%	0.0%	92
女性・30~34歳	40.0%	67.5%	37.5%	3.8%	16.3%	3.8%	1.3%	136
女性・35~39歳	34.7%	60.2%	48.0%	8.2%	9.2%	5.1%	0.0%	162
女性・40~44歳	27.9%	45.9%	36.5%	9.0%	14.8%	8.2%	2.5%	179
女性・45~49歳	25.6%	49.4%	47.6%	7.1%	14.9%	7.7%	0.0%	256
女性・50歳	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	33.3%	33.3%	0.0%	3
男性	37.5%	50.4%	36.2%	9.0%	15.4%	5.5%	1.4%	663
女性	31.3%	55.6%	42.4%	7.8%	13.6%	7.1%	0.7%	850
全体	34.1%	53.3%	40.5%	8.4%	14.4%	6.4%	1.0%	1513

問2.5 同居すると、どのようなことを負担に思いますか？

・男性とも、「生活・文化が異なること（男性30.9%、女性36.9%）」「師直観が異なること（男性29.2%、女性35.4%）」「生活のリズムが異なること（男性25.9%、女性26.5%）」の順となっています。



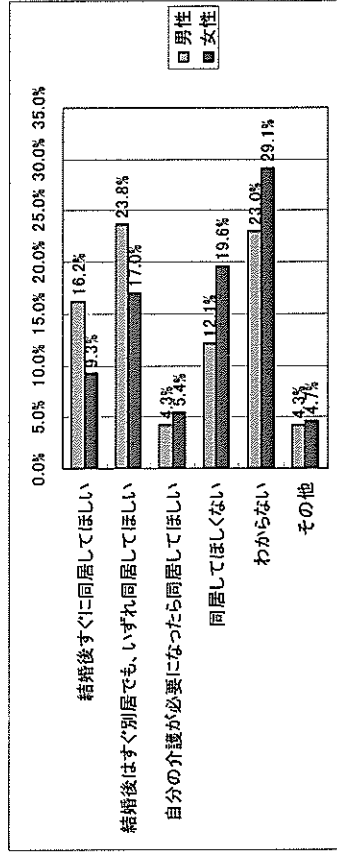
生活・文化が異なること(衣食住)	生活のリズムが異なること(衣食住)	親や家族の介護	プライバシーが保ちにくいこと	経済的な負担や分担	価値観が異なること	特になし	その他	回答数
男性・20~24歳	33.3%	11.1%	33.3%	22.2%	0.0%	11.1%	0.0%	13
男性・25~29歳	40.6%	6.3%	18.8%	9.4%	15.6%	15.6%	3.1%	41
男性・30~34歳	28.8%	24.7%	6.8%	34.2%	8.2%	31.5%	12.3%	107
男性・35~39歳	32.2%	27.8%	12.2%	28.9%	8.9%	32.2%	8.9%	138
男性・40~44歳	30.4%	25.0%	14.1%	15.2%	13.0%	29.3%	7.6%	124
男性・45~49歳	29.3%	26.8%	9.8%	15.4%	8.9%	31.7%	5.7%	157
男性・50歳	0.0%	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2
女性・20~24歳	50.0%	25.0%	16.7%	8.3%	16.7%	33.3%	16.7%	20
女性・25~29歳	32.1%	26.4%	17.0%	22.6%	9.4%	30.2%	15.1%	84
女性・30~34歳	33.8%	33.8%	11.3%	27.5%	11.3%	42.5%	7.5%	134
女性・35~39歳	32.7%	25.5%	8.2%	31.6%	12.2%	48.0%	5.1%	162
女性・40~44歳	37.7%	20.5%	17.2%	28.7%	13.1%	27.9%	4.1%	186
女性・45~49歳	40.5%	28.0%	13.1%	23.8%	11.3%	32.1%	7.1%	264
女性・50歳	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%	66.7%	33.3%	0.0%	6
男性	30.9%	25.9%	10.5%	22.3%	10.0%	29.2%	8.8%	582
女性	36.9%	26.5%	13.2%	26.3%	12.1%	35.4%	7.1%	856
全体	34.3%	26.2%	12.0%	24.6%	11.2%	32.7%	7.8%	1438

問2.6 将来あなたの子供夫婦との同居について、理想的なものを選んでください。(回答数=9,57)

・男性は「結婚後はすぐに別居でも、いずれ同居してほしい(23.8%)」「わからない(23.0%)」「結婚後すぐに同居してほしい(16.2%)」の順となっています。

・女性は「わからない(29.1%)」「同居してほしい(19.6%)」「結婚後はすぐに別居でも、いずれ同居してほしい(17.0%)」の順となっています。

・子供夫婦との将来の同居について、男女間で理想に少し開きがあります。

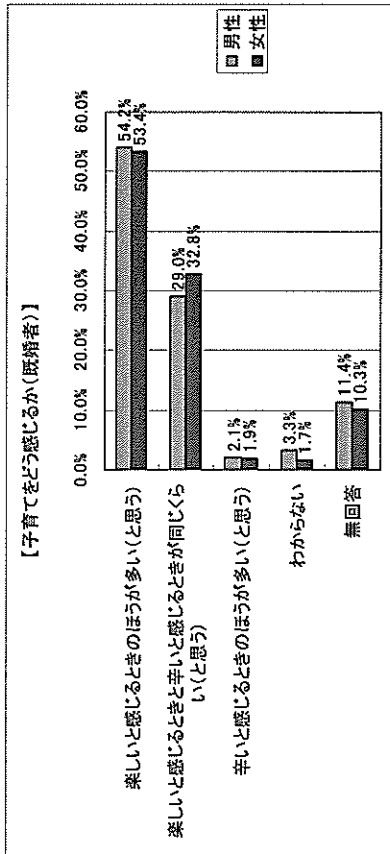


同居の理想	結婚後すぐに同居してほしい	結婚後すぐに別居でも、いずれ同居してほしい	自分の介護が必要になったら同居してほしい	同居してほしい	わからない	その他	無回答
男性・20~24歳	22.2%	22.2%	11.1%	0.0%	22.2%	22.2%	0.0%
男性・25~29歳	18.8%	21.9%	3.1%	6.3%	21.9%	6.3%	21.9%
男性・30~34歳	21.9%	26.0%	4.1%	11.0%	21.9%	6.8%	8.2%
男性・35~39歳	13.3%	24.4%	5.6%	13.3%	24.4%	6.7%	12.2%
男性・40~44歳	10.9%	23.9%	4.3%	14.1%	29.3%	0.0%	17.4%
男性・45~49歳	17.9%	22.8%	2.4%	13.0%	18.7%	2.4%	22.8%
男性・50歳	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%
女性・20~24歳	0.0%	41.7%	16.7%	8.3%	33.3%	0.0%	0.0%
女性・25~29歳	11.3%	30.2%	3.8%	17.0%	28.3%	0.0%	9.4%
女性・30~34歳	6.3%	16.3%	3.8%	22.5%	36.3%	8.8%	6.3%
女性・35~39歳	7.1%	11.2%	11.2%	19.4%	36.7%	5.1%	9.2%
女性・40~44歳	10.7%	13.9%	2.5%	21.3%	24.6%	4.9%	22.1%
女性・45~49歳	11.3%	16.7%	4.8%	18.5%	24.4%	4.2%	20.2%
女性・50歳	0.0%	33.3%	0.0%	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%
男性	16.2%	23.8%	4.3%	12.1%	23.0%	4.3%	16.4%
女性	9.3%	17.0%	5.4%	19.6%	29.1%	4.7%	14.9%
全体	12.3%	20.0%	4.9%	16.3%	26.4%	4.5%	15.6%

子育てについての考え方・イメージ

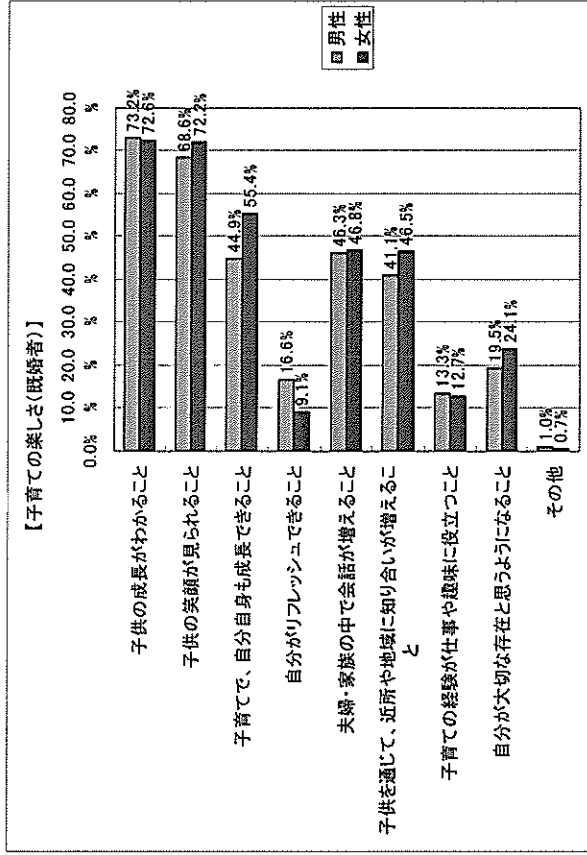
問2.7 あなたは、「子育て」をどのように感じますか。(回答数=9,577)

・男女とも「楽しいと感じる」ときのほうが多い(男性54.2%、女性53.4%)が最も高く、次いで「楽しいと感じるときと辛いと感じるときが同じくらい(と思う)」の順となっています。



問2.8 「子育て」は、どのような楽しさがあると思いますか。

・男性は「子供の成長がわかること(73.2%)」「子供の笑顔が見られること(68.6%)」「夫婦・家族の中で会話が增えること(46.3%)」の順となっています。
 ・女性は「子供の成長がわかること(72.6%)」「子供の笑顔が見られること(72.2%)」「子育てで、自分自身も成長できること(55.4%)」の順となっています。



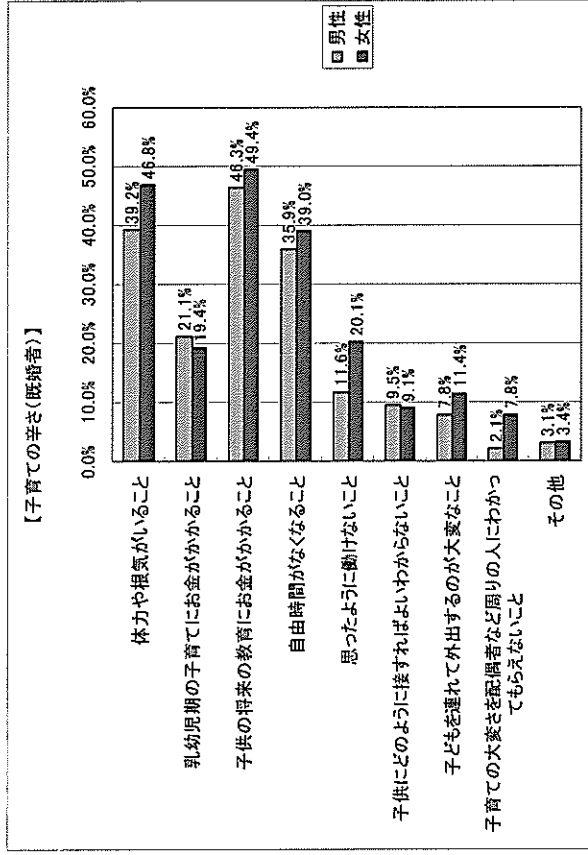
	楽しいと感じるときと辛いと感じるときが同じくらい(と思う)	楽しいと感じるときが辛いと感じるときよりも多い(と思う)	辛いと感じるときと楽しいと感じるときが同じくらい(と思う)	辛いと感じるときよりも多い(と思う)	わからない	無回答
男性・20~24歳	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
男性・25~29歳	56.3%	18.8%	3.1%	9.4%	12.5%	0.0%
男性・30~34歳	58.9%	31.5%	2.7%	0.0%	6.8%	0.0%
男性・35~39歳	61.1%	25.6%	2.2%	1.1%	10.0%	0.0%
男性・40~44歳	54.3%	28.3%	3.3%	5.4%	8.7%	0.0%
男性・45~49歳	45.5%	32.5%	0.8%	4.1%	17.1%	0.0%
男性・50歳	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%
女性・20~24歳	83.3%	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
女性・25~29歳	52.8%	35.8%	1.9%	0.0%	9.4%	0.0%
女性・30~34歳	51.3%	41.3%	0.0%	2.5%	5.0%	0.0%
女性・35~39歳	58.2%	29.6%	3.1%	2.0%	7.1%	0.0%
女性・40~44歳	55.7%	27.9%	2.5%	1.6%	12.3%	0.0%
女性・45~49歳	48.2%	33.9%	1.8%	1.8%	14.3%	0.0%
女性・50歳	33.3%	66.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
男性	54.2%	29.0%	2.1%	3.3%	11.4%	0.0%
女性	53.4%	32.8%	1.9%	1.7%	10.3%	0.0%
全体	53.7%	31.1%	2.0%	2.4%	10.8%	0.0%

	子供の成長がわかること	子供の笑顔が見られること	子育てで、自分自身も成長できること	自分がリフレッシュできること	夫婦・家族の中で会話が增えること
男性・20～24歳	88.9%	88.9%	66.7%	33.3%	77.8%
男性・25～29歳	75.0%	75.0%	37.5%	18.8%	40.6%
男性・30～34歳	79.5%	80.8%	49.3%	17.8%	47.9%
男性・35～39歳	71.1%	75.6%	42.2%	14.4%	40.0%
男性・40～44歳	73.9%	69.6%	48.9%	25.0%	53.3%
男性・45～49歳	69.9%	53.7%	42.3%	9.8%	43.9%
男性・50歳	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%
女性・20～24歳	91.7%	83.3%	66.7%	8.3%	41.7%
女性・25～29歳	83.0%	84.9%	49.1%	3.8%	62.3%
女性・30～34歳	80.0%	80.0%	60.0%	7.5%	37.5%
女性・35～39歳	72.4%	74.5%	52.0%	9.2%	49.0%
女性・40～44歳	67.2%	67.2%	55.7%	11.5%	36.9%
女性・45～49歳	68.5%	66.1%	55.4%	9.5%	51.8%
女性・50歳	66.7%	66.7%	100.0%	33.3%	100.0%
男性	73.2%	68.6%	44.9%	16.6%	46.3%
女性	72.6%	72.2%	55.6%	9.1%	46.8%
全体	72.8%	70.6%	50.8%	12.4%	46.6%

	子供を通じて、近所や地域に知合いが増えること	子育ての経験が仕事や趣味に役立つこと	自分が大切な存在だと思うようになること	その他	回答数
男性・20～24歳	33.3%	22.2%	33.3%	0.0%	40
男性・25～29歳	40.6%	25.0%	25.0%	3.1%	109
男性・30～34歳	43.8%	16.4%	23.3%	0.0%	262
男性・35～39歳	47.8%	8.9%	25.0%	1.1%	294
男性・40～44歳	34.8%	14.1%	21.7%	0.0%	314
男性・45～49歳	40.7%	10.6%	8.9%	1.6%	346
男性・50歳	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1
女性・20～24歳	58.3%	0.0%	33.3%	0.0%	46
女性・25～29歳	41.5%	17.0%	32.1%	3.8%	200
女性・30～34歳	50.0%	16.3%	35.0%	1.3%	294
女性・35～39歳	49.0%	13.3%	20.4%	0.0%	333
女性・40～44歳	36.9%	11.5%	18.9%	0.0%	373
女性・45～49歳	50.6%	11.3%	22.0%	0.6%	564
女性・50歳	66.7%	0.0%	0.0%	0.0%	13
男性	41.1%	13.3%	19.5%	1.0%	1366
女性	46.5%	12.7%	24.1%	0.7%	1623
全体	44.1%	13.0%	22.0%	0.8%	3189

問2.9 あなたは、自分にとって「子育て」の辛さとは、どんなことだと思いますか。

・男女とも「子供の将来の教育にお金がかかること（男性46.3%、女性49.4%）」「体力や根気がいること（男性39.2%、女性46.8%）」「自由時間がなくなること（男性35.9%、女性39.0%）」の順となっています。

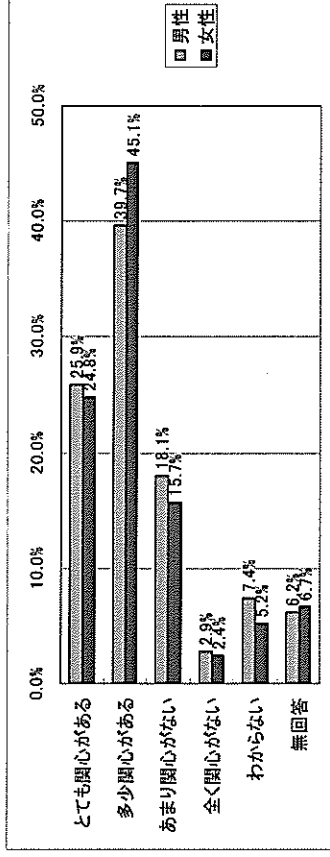


	体力や根気が いること	乳幼児期の子育てに お金がかかること	子供の将来の教育 にお金がかかること	自由時間が なくなること	思ったように 働けないこと
男性・20～24歳	55.6%	55.6%	55.6%	66.7%	44.4%
男性・25～29歳	46.9%	28.1%	34.4%	43.8%	12.5%
男性・30～34歳	42.5%	26.0%	46.6%	42.5%	13.7%
男性・35～39歳	42.2%	24.4%	44.4%	44.4%	13.3%
男性・40～44歳	39.1%	19.6%	46.7%	33.7%	12.0%
男性・45～49歳	32.5%	13.0%	49.6%	23.6%	6.5%
男性・50歳	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%
女性・20～24歳	41.7%	33.3%	50.0%	50.0%	25.0%
女性・25～29歳	50.9%	30.2%	47.2%	50.9%	34.0%
女性・30～34歳	50.0%	30.0%	50.0%	48.8%	26.3%
女性・35～39歳	50.0%	24.5%	54.1%	46.9%	22.4%
女性・40～44歳	45.9%	10.7%	46.7%	31.1%	14.8%
女性・45～49歳	43.5%	13.7%	48.8%	31.0%	15.5%
女性・50歳	33.3%	0.0%	66.7%	33.3%	0.0%
男性	39.2%	21.1%	46.3%	35.9%	11.6%
女性	46.8%	19.4%	49.4%	39.0%	20.1%
全体	43.5%	20.2%	48.1%	37.6%	16.4%

	子供にどのような 接すればよいかわ からないこと	子どもを連れ て外出するの が大変なこと	子育ての大変さを配偶 者など周りの人にわかっ てもらえないこと	その他	回答数
男性・20～24歳	11.1%	22.2%	22.2%	0.0%	30
男性・25～29歳	6.3%	18.8%	3.1%	6.3%	64
男性・30～34歳	11.0%	13.7%	1.4%	1.4%	145
男性・35～39歳	10.0%	4.4%	1.1%	2.2%	168
男性・40～44歳	9.8%	7.6%	3.3%	3.3%	161
男性・45～49歳	8.9%	3.3%	0.8%	4.1%	175
男性・50歳	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1
女性・20～24歳	8.3%	16.7%	8.3%	0.0%	28
女性・25～29歳	1.9%	30.2%	7.5%	1.9%	135
女性・30～34歳	10.0%	10.0%	3.8%	1.3%	184
女性・35～39歳	13.3%	14.3%	9.2%	5.1%	235
女性・40～44歳	5.7%	6.6%	12.3%	3.3%	216
女性・45～49歳	11.3%	7.7%	6.0%	4.2%	305
女性・50歳	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	4
男性	9.5%	7.8%	2.1%	3.1%	744
女性	9.1%	11.4%	7.8%	3.4%	1107
全体	9.3%	9.8%	5.3%	3.2%	1851

問3.0 あなたは、出生率の低下により子供の人数が少なくなってきたら、「少子化」に関心がありますか。
(回答数=957)

・男女とも「多少関心がある(男性39.7%、女性45.1%)」の割合がもっとも高く、次いで「とても関心がある(男性25.9%、女性24.8%)」が高くなっています。

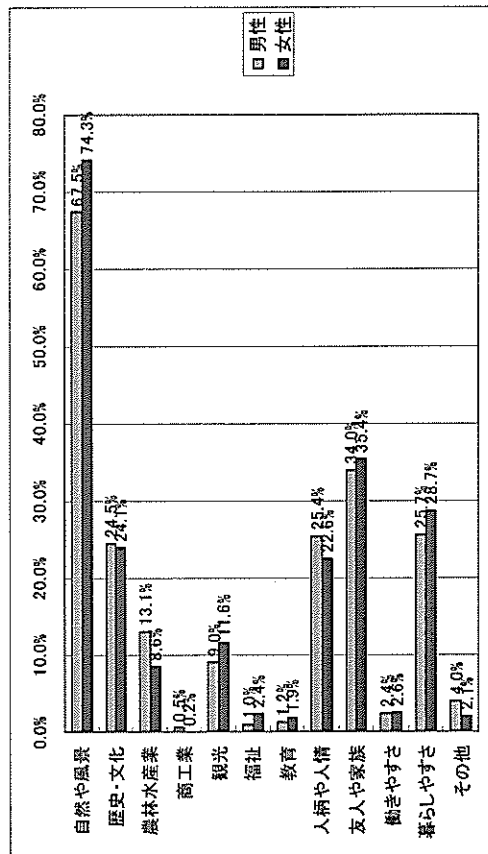


	とても関心がある	多少関心がある	あまり関心がない	全く関心がない	わからない	無回答
男性・20～24歳	22.2%	33.3%	44.4%	0.0%	0.0%	0.0%
男性・25～29歳	21.9%	37.5%	21.9%	12.5%	3.1%	3.1%
男性・30～34歳	27.4%	39.7%	21.9%	4.1%	2.7%	4.1%
男性・35～39歳	18.9%	52.2%	12.2%	0.0%	10.0%	6.7%
男性・40～44歳	25.0%	42.4%	16.3%	3.3%	9.8%	3.3%
男性・45～49歳	32.5%	30.1%	18.7%	1.6%	7.3%	9.8%
男性・50歳	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%
女性・20～24歳	33.3%	33.3%	16.7%	0.0%	16.7%	0.0%
女性・25～29歳	20.8%	43.4%	26.4%	5.7%	3.6%	0.0%
女性・30～34歳	20.0%	52.5%	18.8%	1.3%	2.5%	5.0%
女性・35～39歳	21.4%	45.9%	16.3%	4.1%	9.2%	3.1%
女性・40～44歳	26.2%	48.4%	9.0%	3.3%	3.3%	9.8%
女性・45～49歳	28.0%	41.1%	14.9%	0.6%	5.4%	10.1%
女性・50歳	66.7%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%
男性	25.9%	39.7%	16.1%	2.9%	7.4%	6.2%
女性	24.8%	45.1%	15.7%	2.4%	5.2%	6.7%
全体	25.3%	42.7%	16.7%	2.6%	6.2%	6.5%

鶴岡市の魅力

図3-1 鶴岡市にはどのような魅力があると思いますか？

男女とも「自然や風景（男性 67.5%、女性 74.3%）」の割合がもっとも高く、次いで「友人や家族（男性 34.0%、女性 35.4%）」が高くなっています。

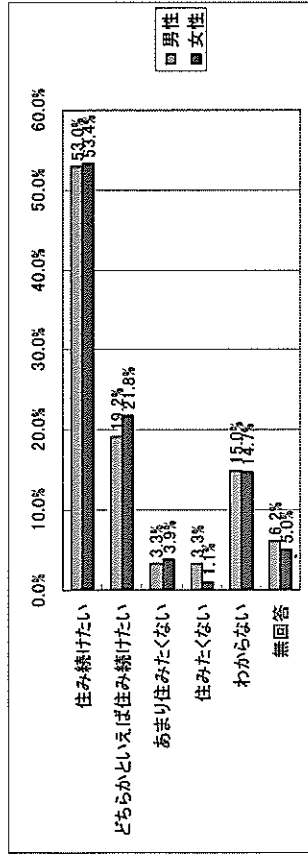


	自然や風景	歴史・文化	農林水産業	商工業	観光	福祉	教育
男性・20～24歳	44.4%	11.1%	0.0%	0.0%	11.1%	11.1%	11.1%
男性・25～29歳	59.4%	18.8%	3.1%	0.0%	9.4%	0.0%	0.0%
男性・30～34歳	71.2%	21.9%	17.8%	0.0%	9.6%	1.4%	0.0%
男性・35～39歳	67.8%	20.0%	16.7%	1.1%	7.8%	0.0%	1.1%
男性・40～44歳	65.2%	22.8%	7.6%	1.1%	9.8%	2.2%	1.1%
男性・45～49歳	70.7%	33.3%	15.4%	0.0%	8.9%	0.0%	1.6%
男性・50歳	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
女性・20～24歳	75.0%	25.0%	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%
女性・25～29歳	64.2%	17.0%	5.7%	0.0%	13.2%	5.7%	0.0%
女性・30～34歳	72.5%	13.8%	10.0%	1.3%	6.3%	0.0%	2.5%
女性・35～39歳	71.4%	24.6%	13.3%	0.0%	15.3%	3.1%	1.0%
女性・40～44歳	77.0%	30.3%	9.0%	0.0%	9.8%	3.3%	4.9%
女性・45～49歳	77.4%	26.8%	6.5%	0.0%	11.9%	1.8%	0.6%
女性・50歳	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
男性	67.5%	24.5%	13.1%	0.5%	9.0%	1.0%	1.2%
女性	74.3%	24.1%	8.6%	0.2%	11.6%	2.4%	1.9%
全体	71.3%	24.2%	10.6%	0.3%	10.4%	1.8%	1.6%

	人柄や人情	友人や家族	働きやすさ	暮らしやすさ	その他	回答数
男性・20～24歳	22.2%	33.3%	0.0%	33.3%	0.0%	16
男性・25～29歳	18.8%	40.8%	3.1%	28.1%	6.3%	60
男性・30～34歳	28.8%	46.6%	2.7%	21.9%	4.1%	165
男性・35～39歳	22.2%	40.0%	1.1%	31.1%	4.4%	192
男性・40～44歳	25.0%	31.5%	4.3%	25.0%	5.4%	185
男性・45～49歳	28.5%	22.0%	1.6%	23.6%	2.4%	256
男性・50歳	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2
女性・20～24歳	25.0%	66.7%	0.0%	33.3%	0.0%	30
女性・25～29歳	26.4%	56.6%	1.9%	28.3%	0.0%	116
女性・30～34歳	20.0%	41.3%	3.8%	36.3%	2.5%	168
女性・35～39歳	16.3%	31.6%	3.1%	30.6%	4.1%	210
女性・40～44歳	27.0%	23.8%	0.8%	24.6%	0.8%	258
女性・45～49歳	22.6%	33.9%	3.6%	26.8%	2.4%	360
女性・50歳	33.3%	66.7%	0.0%	33.3%	0.0%	7
男性	25.4%	34.0%	2.4%	25.7%	4.0%	876
女性	22.6%	35.4%	2.6%	28.7%	2.1%	1149
全体	23.8%	34.8%	2.5%	27.4%	2.9%	2025

問3.2 あなたは、今後も鶴岡市に住み続けたいと思いますか。(回答数=9.5.7)

・男女とも「住み続けたい(男性53.0%、女性53.4%)」の割合がもっとも高くなっています。



	住み続けたい	どちらか といえ ば住 み続 けたい	あまり住 みたく ない	住みたく ない	わから ない	無回答
男性・20～24歳	33.3%	0.0%	11.1%	0.0%	55.6%	0.0%
男性・25～29歳	53.1%	6.3%	3.1%	6.3%	21.9%	9.4%
男性・30～34歳	61.6%	20.5%	2.7%	1.4%	11.0%	2.7%
男性・35～39歳	54.4%	25.6%	2.2%	1.1%	13.3%	3.3%
男性・40～44歳	50.0%	16.3%	5.4%	6.5%	15.2%	6.5%
男性・45～49歳	50.4%	21.1%	2.4%	3.3%	13.8%	8.9%
男性・50歳	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%
女性・20～24歳	41.7%	25.0%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%
女性・25～29歳	60.4%	20.8%	3.8%	0.0%	11.3%	3.8%
女性・30～34歳	58.8%	17.5%	5.0%	0.0%	13.8%	5.0%
女性・35～39歳	50.0%	25.5%	6.1%	0.0%	16.3%	2.0%
女性・40～44歳	56.6%	18.9%	2.5%	1.6%	14.8%	5.7%
女性・45～49歳	49.4%	23.2%	3.6%	2.4%	14.3%	7.1%
女性・50歳	33.3%	66.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
男性	53.0%	19.2%	3.3%	3.3%	15.0%	6.2%
女性	53.4%	21.8%	3.9%	1.1%	14.7%	5.0%
全体	53.2%	20.7%	3.7%	2.1%	14.8%	5.5%

(その他)

「結婚したいと思える、また、結婚したいと思う人が結婚しやすい地域社会となるためには、どんなことが必要とお考えか。

(男性)

若者が参加できるイベント、サークル等を企画する
 行政が出会いの場を作り出していいものではないかと思う。
 地元にもっと近場に、遊園地や動物園などの施設は必要だと思えます。
 どのような結婚でも地域の人が理解し、協力すること。
 働く場の確保。若い人の他地域への流出をさせないような地域を作る。子育てしやすい仕組みを作る。
 若い人は都会にあこがれると思う。お年頃の人達をいかに地域に残すか、結婚したいかしないかは、好きな人がいるかいないかで、場所はあまり関係ない。若い人を多く残せるようなお洒落な都市づくりみたいな感じが必要なのかも。
 権引には各種スポーツ大会というすばらしい伝統があるので、各大会終了後、合同反省会を企画する。問22のような固い考えでなく、合同反省会で輪が広がる。
 同年代のコミュニケーションの場
 地元就職場が少ないため、大学や都会に行く人が多いため、もっと誘われる会社の誘致や雇用の場が多いなど、人と接する事が多い地域にした方が良くと思う。
 育児に関してのサポートの充実(制度・資金)
 結婚することによってのメリットが大きいたく思わせ。特に税金の額の減りとか、現在もやっているかも知れないが、独身よりも金銭的に今よりも助けてやる必要がある。
 一般市民の経済が潤うこと
 若い人が増える
 出会う機会、結婚する意志、結婚し子育てすることが普通である環境
 結婚しても安心して働くことができる様な雇用条件と安心して子供を預けることができる保育施設の充実
 保育所や学童などの増設
 地区費等支出の多さを抑え、かわりに支援金が入るような地区運営ができる金銭的にゆとりがある地域であるとうれしい
 あまりにも地域の行事、旧暦引町時代の行事が多く、他の地域の人が理解しにくい所があるのももう少しその辺りを考えてほしいと思う。
 祝い金100万単位等(結婚後10年住んだ場合とか)みんな鶴岡で結婚しその後住みたいくなる。
 経済の安定 子育てしやすい環境 サービスの充実 子育てや老後の生活への期待が持てるような環境やサービスを提供する
 ・婚活支援事業を越区域で行うこと。・超区域によるマッチングパーティーの定例化。また会員登録を経ての特定情報提供。・WEB上での自由書込み板の設置(既婚未婚問わず)。・推薦者同伴型のマッチングパーティーを提案します。・事業運営の方向として、いかに小規模に多発的にクロージング的な雰囲気の中で結婚を希望する人々に選択肢を与え続けるか?と思えます。・結局は「どこで暮らすかより、誰と暮らすか」じゃないの?(笑)頑張ってください
 婚活を市で積極的に開催し、少しでも多くの出会いの場を設けて欲しい。(友人、知人、職場内では出会いが限られる為)
 結婚する人に対して国或いは地域からの何らかの助成。

結婚してからケアをする前のケアより重視してもらいたい(行政へ)

日本ではムリだ

自分の意見をしっかりと伝えるコミュニケーション(相手の意見も聞く)を小中学校で身に付けること。

経済的基盤

若い人が勤める環境づくり 子育ての楽しさを伝える

わからない

家と家の結婚ではなく、本人と本人の結婚を一番に考え、親、親戚等、でしやばらない人になること。周りがうるさすぎ、かわりすぎ。

人の数自体が少ないので、結婚の機会が少ないのは当然。異性の多い場所への情報の提供、発信が必要と思う。本人は生活に忙しいので、代わりに行政が果たせる役割は大きい。情報収集能力も高いから、共働きの方が子供を安心して預けられるところが必要(24H対応可能であること)

子供を育てられる環境が必要

地域との交流の場をたくさん設けることにより、孤立することがないようにする

税金を安くしないと子育てではできません。

もっと遊べる場所があればと思います。

相手を思いやる心を育てる教育

若年層の方々が、正社員として仕事ができる職場(会社)が必要で、やはり収入が安定していないと結婚に踏み切れないのでは？

結婚したいと思っている人たちの出合いの場

出合いの場を数多く提供する。地域、会社、市民全体で結婚しやすい環境を多く提供する雰囲気作りからが重要だと考える。

若い男女が一緒に働くことのできる職場がたくさんあること。(1日の中で、職場で過ごす時間が一番長いので、そこで出合いがあればいいと思う。)

- ・結婚後、子育て等の支援 ・デートに行くスポットがない
- 結婚後、住んでいる地域で働けるように配属等の配慮があること
- 出産時に退職しても生活できるような支援。出産費用の負担軽減
- 職場の確保。出合いの場の創出。各種のグループ化促進
- そんな制度あることすら知らなかったの、情報量アップすればいいと思う。

若者同士が顔を合わせる場があればいい。野外ライブ、夏フェスのようなイベントはできないか。

現在の様な仕事がない、又はあっても非正規とならざるを得ない状況がある以上、結婚を考えると出て来ない人が多くなるのは仕方ない事だ。行政もしくは社会のあり方を考える前に「人間個人のあり方」を本気で考える時代だと思う。(地域のコミュニティ、結びつきなど)

気軽に参加できる婚活パーティーなどの出合いの場の提供

地区の人との関わりは大事だと思うが、地区行事が多すぎる。同地区からの結婚だと余り寂しくないかも知れないが、他地区からの結婚だと苦に感じる人の方が多いと思う。

普通に仕事していても生活できない。公務員だけお金もらいすぎ、もっと社会全体を良くして底辺を上げないと。

地域自体が元気で活発であること。

安定した経済(収入)

出合いの場が絶対的に少なすぎるのでイベント等の場の創出。

強者(政治家、行政、経済界)が公益性を重んじる。

仕事の充実

周囲の目が気になると思うので、周囲が“見守る”程度でいて欲しい!

集落内での若者同士の関わりを増やすこと。慣例などを若者に押し付けず、若者なりに解釈し、行動できる環境。

経済的な支援

結婚できない人を見ると身だしなみの悪さが目に付きます。出合いの場を提供しても良いが、その前に問22で答えたように交際術、ファッションなど、自分自身の意識を養えるセミナーの開催も必要と思います。

結婚する自覚は個人の考えだし、回りで何が必要かはわからない。

独身でいると、将来どういう状況になるか等教育した方がよい。

税金や補助金制度、特に育児に関する割引、税金等があれば不満、負担は減ると思います。特に育児に關することを条例できっちりあげると鶴岡市民も増加。出生率もアップすると思います。行政が人が増えるばかりで対応が悪いのは条例制度のやる気のなさに他ならないと思う。

教育のレベルアップ

未来が明るく感じられる日常生活、人間関係

どんな結婚活動をしているも社会的に侮蔑されることのない社会作り

自分の生活も不安定なときに、人の人生まで背負う気には、ならないと思う。

子育ての期間にある人への経済的支援

- ・働きエリアのみでなく、全市的な取り組み ・各関係機関、団体との協働による取り組み

出合いが増えるように、市のほうでもっと若い人に力を貸して、荘内大祭や天神祭りのような祭りを若い人たち主体にして行事をおこしてはいいかですか？

結婚前、結婚後の地域支援が必要だと思う

相手が田舎の場合、嫁ぎたくないと思われる可能性がある。田舎地域の活性化。

保育料金の値下げ。産休のある会社を増やす。専業農家の子供でも保育園に入れるようにしてもらえれば共働きができて、経済的に楽になる。

- ・行政が婚活支援を積極的に行う
- ・任意グループの婚活パーティー等の支援
- ・社会教育での婚活関連講座の開設

働く場所の確保

結婚したいと思う人の親が、結婚がいいと思わないとダメである。現状では、皆親をみて結婚したくないと思ってるのではないか？

安心して生活できる環境の提供(仕事や家など)と子どもが楽しく安全な地域であるか、また自分たちが年をとった時に周りでもサポートしてくれる環境をつくること。

結婚前は家族感にながなる。家族とは子孫へつなげる。子育てから介護(される)のローテーションの大切さ、安心感を若者に伝えること。

若者の集う機会や組織など仲間作りをできる交流の場が必要だと思う

(女性)

将来的に安心して生活を送れること。行政のサポートが少なすぎるので(老後)いろいろいるかんがえてほしい。

同窓会があると幼いころの知っている人が多いので出合いがあると思う。

農家を中心とした頃からの地区の行事、神社、寺等が多く、若者に役割があるので、そういう事が負担。まして、同年代の人もほとんどいない状態なので。

地域の行事、会合、及び寺の行事が多すぎて、とても負担に感じる。今は勤めている人がほとんどで、忙しい中、時間を割いて参加しなければならぬことにわずらわしさを感じている。まして、今の若い人達はこういった事情を受け入れてくれるとは思えない。婚活を進めていく上で、見直しをしなければいけない重要事項だと思う。

出合いの場となる飲み会や夜のにぎわいが出る飲み屋の環境が整っていない、街が夜静まりかえっているイメージが強い。地元を離れていきやすい環境である。

農家に嫁いだのですが、収入より支出の多さに驚いています。もともと、田舎生活もいいなと思える収入を・・・。

結婚するまでのお金の助成。

若い人同士が集える場所の必要

自然豊かで子どもにとって住みやすいが、親の経済力が低下して、子どもが増えるほどお金もかかるし、家族も増加し、子どもの面倒(共働き)を見る人がいなくなってきたため、支援できる施設を増加できなかったのではないかと。

税金が安いこと。もしくは、払う税金に見合うサービスが受けられること。

市民の経済力がもつと消えること

経済的な安全は、必要不可欠だと思う。若者が安定した収入を得られるよう、行政でも働きかけが必要だと思う。

親や親族、地域のネットワークの復活が一番可能性があると思う。結婚したいと思う人が周囲の声に耳を傾けるような雰囲気作りができるといい。職場ごとの婚活ネットワーク作りも可能性があると思う。

同居をする環境が多い。2人で過ごせる場所がもつとあればよい。(アパート、安い土地の提供)2世帯は辛いものがある。

卒業後、地元での就職ができたり、地元に戻ってきて働く場所があれば、若い人たちも定着するので

は・・・?

保育料が高いので安くすれば・・・。市内の幼稚園に入れた方がいいが少し遠いのでバスがあれば、子供がいても働ける企業があれば。

正社員として働ける場所(特に男性の場合)、結婚したら家族を養うことができるかが、結婚に踏み切れるかどうかの決心にもつながるのでは・・・。

私の周りでもほとんどどの友達も結婚を真剣に考えていません。真剣に考えている人も少なくともいいのですが、まず結婚したいと思わせる社会を作っていくかなければならないと思います。

自分の身内ですが、高齢の母を介護しながら二人で生活しています。そんな状況の中で結婚したくてもできないのが実情です。親の面倒をせずに自分の幸せばかりは考えられないとのこと。そんな人たちの心のケアをお願いしたいです。

あまりにも行事が多すぎる

相手に経済力を望む

教育、社会福祉などを今、どんな状況なのかをしっかりと行政が把握し、行政は率先して改善やより良い環境になるようにもつとがんばってほしい。市民の心の声をきいてほしい。

県外への交通の利便性を良くしてほしい

若者が集まる場所やイベントの提供

カップルだけが入れる店

婚引にアパートの建設

高齢社会の中で、子供が親を介護する仕組みや、家を守るため嫁とり、婿とりという考えを若い人に押し付けられないこと。

結婚は地域社会で取り組むものではないと思う。

出合いの場が必要。知り合いにも出合いがなく結婚できない人がいる。40代・50代の男性だと、若い女性を求めているが、なかなか出合いがないようだ。

働き口を増やし若い人が就職しようと思う地域にすること。(一若い人が鶴岡市に住むため)結婚後も配偶者どちらかに働き口があること。

安定した職場環境

やはり、多くの方は子育てに対する協力が必要だと思います。現在チャイルドシートの無料貸出もありがたいですし、他にもいろいろあったのがあると思います。

仕事の安定

結婚したら家族と一緒に暮らす、名前が変わる・・・等等、あまりにもたくさん決まりがあります。フランスのように一緒に住んでも別居でも世間の目が気にならないのも自由な形があるのもいいのではありません。理由がなくなる、生活スタイルを変えなくてはいけない等マイナスのほうが目立っている。

出合いの場を提供 気軽に参加できる雰囲気

何にしても収入、仕事がかかりすぎていないと始まらないと思う。将来不安な今、結婚は簡単なものではないと思います。

「現在の山形の労働賃金では、結婚しても養っていけないから結婚できない」と若い子達から聞きますし、実際結婚していても、子供を持って生活していくのが精一杯です。好きだから結婚する、一緒にいたいから結婚するには至らないのが現状であり、働いても、その後不安が出ないような労働時間、賃金の見直しも必要ではないかと思えます。

「家に縛られないこと。育児を助ける制度が充実すること。

子育てしやすい環境になれば、結婚しやすい社会になるのではないかと。

とりあえず、働き口が必要だと思ふ。県外に出て生活している友人も帰りたいけど仕事がないといっている。婚活と行政は関係あるかわかりませんが、子育てをしていく上での職場での理解などは、この辺ではまだまだだと思えます。(特にサービス業)女性が働き安環境づくりをもつとしてほしいと思っています。

暮らしやすさ、人柄人情

結婚したくても出合いがないとか「面倒くさい」とか周りに色々言っていて独身者がたくさんいます。もつと市などでするパーティーなど楽しいイベント類があるといいと思います。※女性の年をもつと上の方でも参加できるようにしてほしい。

生活基盤がしっかりと社会になること(仕事や社会保障)

子供が病気になるたびに短期で預かってくれる施設があたらないと思う。乳幼児の子供がいると面接で落とされるそうです。就活していた人の話ですけど

みんなが就職できている。(無職状態の人が多い)

結婚の魅力を広めていけたらよいと思う。婚活イベントなどで、実際の夫婦に結婚のいいところを話してもらいたい。

出合いの機会というの、なかなかなくなったり、あつたとしても互いに感情ばかり優先でうまくいくほど、結婚は安易なものではない。結婚は、互いの思いやりと努力の積み重ねで、与えたり、与えられたりして継続していける。そういうことが当たり前に思われがちですが、地域内で結婚生活を長く営んでいる先輩ご夫婦のお話を聞く機会など、事例を通して、結婚を考える取り組みも、どんどんあったらいいのではないのでしょうか。

若い人が仕事を求めて地域を離れてしまうので、企業をもっと誘致するべき。
税金が高すぎるのもっと安くしてもらいたい。水道代も高いです。結婚する前は気にしない事ですが、どちらもうまくももらいたくない。

自分自身で相手を探す、決める事だと思つたので、よくわからない
結婚も子育ても一人でいる以上責任を持たなければいけない気がします。どちらにせよ、年齢に見合った給料がもらえれば経済的には安心してゆとりを持って生活できるようなになり、好きな人と幸せな暮らしがしたいと思つたのではないのでしょうか。

結婚〇周年記念には抽選で夫婦旅行をプレゼントする企画を立てるとうれしい。鶴岡市内のステキな夫婦の募集(自薦等)広報に紹介する

新世代が結婚できないようでは「マトモでない」というようなマイナスな発想を捨てること。今現在結婚している人が、幸せだと感じられること。嫁いだら最後、地区行事や役員などの負担がありすぎる！という地区は、それだけで足踏みの原因になっているのも事実です。時代に合った活動に切り替えては？

出産や育児に協力的な企業が増えてほしい。
テニススポーツや若い人たちが安心して集える場を設けたらよいのではないかと。鶴岡には遊ぶところが少ない！！

問 23 に、別居したくてまだまらな人がまんしている。
就職場が少なく都会へ行く若い方が多く感じます。職場が都会第一の場だと思つたので働ける場を提供して欲しいです。

夫妻が仲がよいこと、それぞれが生きていることを楽しんでいる姿を見て子供が育つことだと思つています。
出逢いの場がたくさんあったら…

結婚する人や、した話、結婚についてのイメージ(同居とか)が悪ければ良くなってしまう。結婚していいんだという人がたくさんいれたいと考えると思う。実際ムリ。
やはり経済力を伴うので働きやすい環境が必要かと思つています。
ボランティア活動など少しの時間でも参加したいと思つたと思つたと思う。それによって人の和が広がると思われる。

結婚後も家事や子育てで介護等女性にはばかり負担にならないことが必要。⇒男性女性も育休や介護休業あたりまえのように自然に取れる社会になること。⇒仕事で人生のすべてではなく人生をよりよく生きるパートであること。

自分の場合はまわりが当然結婚するものという考えを洗脳されて育つた様な気がします。今は選択するものが多いはずですが結婚だけが良い事？と思われなくなつたのでは…。結婚の負のイメージのほうが大きくなるのかもしれない。負のイメージとはいろいろなところを軽減できて(子供を産み育てていくことの楽しさとか)結婚に夢が持てれば…。答にはありませんが、
福祉の充実！旧鶴岡は(年配方地域の様に感じる)ところも若者が来る地域になって欲しい！ 鶴岡町の商店の活性化(若者向けのファッションを扱う店が全くない！あってもスニーカーなどの安そうな服ばかり！)

交流パーティーなどやっても、あまり意味がないと思つた。上記にもあつたように、交際術やファッションを学ぶ出会おう方が自分のためにもなるし、楽しいと思つた。パーティーやっても互いに人見知りでは意味がない)多くなくてもいいから、収入源があれば…。

小さい単位の地区内の回帰、地区内の愛人体制、若い人の自治会への参加が活発であること(新卒者より専門的な仕事に就けるような職場があれば定住しやすくなると思つています。
若い世代の人が鶴岡に残っていられる環境を整える。一就職しやすくする

将来に夢を持ち安心して生活するための仕事の安定化
就職(職種)の安定

イベントをもっと増やしたほうが良い。それも年代別に分けて。楽しい企画を…。

旧市内と他地域の格差があまりにもありすぎるため、旧市内でないで敬遠されるのかな？と思つた
市内から田舎へ住む場合の生活の不便さ

結婚し、子供がいる家庭、家族が増える喜びを感じる事が必要。辛い事がある分、幸せな事もたくさんあるという事。

結婚したいと思えるような人が鶴岡にいないければ無利だと思つた。
自己中心的な生活をしていると、心の余裕や他人の優しさなどに気づくことや、両親が自分を産み育ててくれたことへの感謝の気持ちがなくなってしまうように思つた。自然の中の一部であること、次の世代へ引き継いでいくことへの大切をもっと知ってほしい。

山形県の労働賃金額の引き上げ。給与所得が上がらないと住めない(住むとも思わない)若い人が働く場所(遊ぶ場所)がないので、よそに出たくなる。また、もどって来ない人が多い。
親も周りもあまりとやかか言わない環境。男女(若い)が地域にもっと関わる行事や事業があれば、それが自ずと出会の場となるのでは？

結婚しやすい地域社会というよりは、一人一人の意識の問題だと思つています。結婚したいと思つた人はいれば、周りを気にすることもなく、結婚すると思つています。とにかく、出会の場が少ないのだと思つています。結婚のためパーティーとかではなく、軽い飲み会みたいな場の方が参加者も多いのでは？
公務員の年収を民間企業に合わせ、減収としその予算を、これからの子供教育(英会話や絵、部活動等)の指導にあて、子供たちにする気を起こさせさせまおこしに役立ててほしい。
他の国のように医者代や教育費を無料にしたりすれば良いと思つています。
交流会を増やす。出会の場。
仕事がない。若い人がいない。娯楽がない。
いろんなイベントやレジャー施設の充実。出会う場所がなければ出会えないと思つた。
子供に関する支援をもっと充実した方がよい。現在の庄内町はすばらしいと思つています。(支援や支援金等)(住宅購入の支援等も)鶴岡地区はスポーツ大会が多すぎると思つています。私の地区は人が少ないために、全部フル出場の時も。スポーツの苦手な人にしてみれば、苦痛です。引越したくなる。せめて回数(種目)を減らしてほしい。

就労とある程度の収入があること
父方の祖父、祖母との子どものしつけ、子育ての意見のずれの違いが大変です。甘やかさないでほしいと言つても、手も口も二人で出てきて、本当に困ります。そのおかげで子どもが太ってしまいました。
就労時間が長く、なかなか自由な時間が作れない気がする。
難しい問題ですが、まずは出会うなければ何も生まれませんという事です。
仕事をやる場所があること。収入もないのに結婚などできないのでは。若い人たちが遊べるところがないのでは。ファッションとか？だから仙台とかに行つて買いたいものとかするのでは、交通の便も悪いのでは。

「安心して子供を産み育てられる地域社会となるためには、どのようなことが必要とお考えか。」
(男性)

税金の配分をもっと福祉や子育てに充てて、国民が次世代へ安心して進める政策が必要と思つた。
育児、教育にかかる費用の行政補助があれば少子化にも歯止めがかかるのでは？と思つた。

学童保育等、施設面では充実していると思うので、鶴岡市独自の経済的支援があれば良いと思う。現金支給でなくてもいい。例えば、給食費、制服購入時の半額補助。

三川町みたいの子ども3人目にはお金を出すとか！保育料を少し市で出すとか！

雇用や労働条件を良くしていけば、地元に残っていくとうとずする人が増えていくと思います。

経済的な援助、補助。保育施設の充実。

不審音などの犯罪がない社会

経済的な助成。教育施設、システムの充実。

子育てにかかるとお金の負担の軽減。子育てによる体力的、精神的負担を軽減する施設や環境。父親の育児参加！！

子育てにお金がかかりすぎ。

不審音や危険道路の打ち上げを軽減にできるシステムを構築。地区盛談会等では発言がしにくい。この辺をアドバイザーして分譲地へ人を呼び。

経済的支援・同年代のコミュニケーションの場

相談も含む医療関係の体制整備と助成の充実。子育てに関連する費用補助

とにかくお金がかかる。年末調整で還付される(オムツ代など)ような仕組みにしてほしい。2人目以降、祝日金など。

父親の仕事があり、収入が安定している原因はひとつだけではないのですが、今までのやり方が現在の結果になっています。今、子ども数が少ないのは原因はひとつだけではないのですが、今までのやり方が現在の結果になっていることは事実の状態なのです。

過保護にならないこと(地区や教育の場で)

行政をもっと良くする

親とはどういうものか、人間とはどういうものか、理解、納得できる環境

上記同様、安心して子供を預けることができる保育施設・保育士の充実・子供と一緒に休日などを楽しく過ごすことができる様な施設の充実(例、八木山動物園、遊園地、など安くて大人も楽しめる場所)

地域1つになったのを見守り隊のような組織がある地区がいいと思う

育児にお金がかかりすぎる。子供が異合が悪くなること会社を休まないといけなくなる。

子供手当て。子供の医療費負担。老人介護。安定した職場。仕事＝企業誘致。こんなアンケート取らなくてもあなた達が一番よくわかっているんじゃないですか。高給取りのあなた達だと分らないんですか？

子どもを預ける施設の増設・保育料、教育費、医療費の免除(高校まで)・子どもを持つ親同士が子供連れて楽しめるイベントを作る。(働いている金券やサービス権の配布・不妊治療費の補助)

地域商店やスーパーなどで使える金券やサービス権の配布・不妊治療費の補助

地域、学区等で親子共に仲良くできる環境が必要であると思う。

教育費の負担が少なくなること。

結婚、出生率うんぬんより、現状の子供の数が増える手を打ってほしい。

日本では習業がないので海外に移住したい。

生活の基盤となる仕事(雇用)が鶴岡市内にあること。⇒やりたい仕事分野の拡大を求めます。

地域地産産業の健全化

地域全体で育てる姿勢

祖父母世代の育児参加と勉強会 小児科・産科医療の充実と保育所の充実

住民税を下げる

企業の思いやりある対応が必要

一般的に言えば、職場・学校・病院・スーパーが近い。子供を地域で育て見守っていくという雰囲気がある。

不妊医療に対する助成の拡大

共働きの方が子供を安心して預けられるところが必要(24H対応可能であること)

官僚や政治家が本来の国民のための役割という根本に戻らないと国家そのものが破綻してしまうのではと思います。この人々には利己主義者が多すぎる

子育てしながら働ける仕事が多すぎる

教育にお金のかからない制度作りが必要

物価が高いので安くしてもらいたい。

両親が定時に帰ることができる社会(子供と接する時間大)

母子家庭であっても、きちんと子育てできる社会環境が必要だと思います。そうすれば離婚しても良いので子供がほしいと思う女性が増えると思います。(結婚よりも少子化対策！)

子供を安心して預けて仕事ができる保育施設の充実。

地域、会社ぐるみでやらなければ何も変わらない。個人では限界があり、話し合いが必要だと思います。

・義務教育中の医療費の軽減・子供手当ての充実、保育料の軽減・山形の西蔵王公園のようなアスレチックレジャー施設等、子供が遊べる場がない。動物園や遊園地など。

共働きの夫婦が安心して働けるために子供を預けられる施設を整えてもらいたい

親自身の意識改革

各種負担の軽減。子育て施設の充実。子育て中の情報交換や交流の場の設置

チャイルドシート未使用者注意！！

同上。現代の様な個人主義がまかり通ってしまう社会では、当然の結果だと思います。国家レベルで「市場原理主義」の今後のあり方を考えるべき。100円ショップが乱立する社会に「雇用」が生まれないのは自明の理。

様々な保障制度(保育料金の補助等)

酒田にある子ども広場？の様な大規模な雨天でも遊べる室内遊技場があればと思う。

地元の商店や産業の発展、就労率の高さを上げる。また、市民の事を考えた行政のあり方ではないだろうか。

行政サービス(周囲との交流が可能なもの。育児等への金銭的補助)

経済的支援。女性の優遇。他者とのネットワーク。

保育施設の充実

地域社会の密接なつながりが重要である。特に警備面ならびに医療面の迅速化です。(連絡網他)

鶴岡市外から来た人でも容易に行動できるような子育て支援本(医療機関、ショッピング、遊び場、保育園や幼稚園の特色etc)など。

子供を預ける施設と人材の増加、増設

秋田県のように全国トップクラスの学力にするための取り組みに力を入れて『山形県で子供を育てたい！』と思わせることも必要かと思う。

安定した収入と職場理解。不景気といわれる中、収入ダウンや職場からのプレッシャーがある為非常に厳しい現状です。学校行事などで休みを取るのも難しい状況、子育てにかかる費用など若い世代のことを考えてほしい。

金銭面の補助(出産時など)あったらいいと思うし、その後の育児の出来ない環境の人などの為の場の管理稼働されてほしいと思う。この御時世、この日本で生活していくだけでも大変な事になっているのに、少子化になっていくのもあたりまえに思う。

黒川橋を通る子どもが結構いるので、玉襦橋と関係なく広げてほしい。
 経済的に大変で、子どもを育てるのがとても、とても大変です。低所得な家庭について、どのように考えていくか逆に関きたい。

福祉や教育にもっと力を入れてください。観光にもっと力を入れてください。

PTA、育成会、学校と連携してよく聞くが、行政の教育委員会があるだけで、全て関係各位で具体的な案、考えをまとめてくださいというだけで、頭打ちにする。全てとは言わないが実現性のある話し合いをぜひ実施してほしい。忙しくも時間を取る人たちに失礼だと思わないのか。

地域の平均年収を上げる施策をとる。例えば企業誘致等。

人対比との人間関係(本当の人間らしさ、やさしさ)

3世代同居を進めたい！！

安全な社会であること(ただし、現代のように法律や体制によるものではなく、社会の人々の精神的な安定による部分が大きい意味で)

出産、子育てにかかる費用を補助するべき

安全な地域

- ・子育てしやすい環境を整えること。(施策)・児童館の保育園化。待機児童の解消。・保育園の無料化。
- ・子供の医療費を小6まで無料化。

平和

安定した収入の確保ができるように考えていただきたい。

育児費用の軽減

親の収入の安定。金がないと子供を育てられない。別にほしいとも思わない。

地域の中でコミュニケーションの場がなくなっている。

近所や通学路などの人とのコミュニケーションを密にし、地域全体で子どもを見守ってくれていると思えるような環境にしてほしい。

子育て環境、支援の体制の整備。同居(多世代共同)のすすめ。(経済・子育て)メリットを伝える。

夫婦だけでの子育て、育児には経済的負担が大きい。子育て支援についての鶴岡市独自の対策が必要と思う

(女性)

公的な保育所が少ない。

雇用の促進。夫婦共安定した職が無いので子供を生み育てる余裕がない。

学校教育にかかる経済的負担の軽減。子どもを見守ってくれる地域。目。

育児サービスとの安定。育児後の母親の仕事復帰できる制度。

昔からの風習を押し付けるのには無理があると思う。お互いの価値観を認め合うこと。

地域住民の挨拶、声かけにより、日頃からコミュニケーションを図る。夜遅くまで預けることが出来る保育所。

保育園に預けて仕事をしていたが、核家族の為、会社によちゅう電話が来て(具合悪くクビになった。仕事をしていないと保育園に預けるのも難しいし、大変だと思う。少しでも、そういう家族の事を理解してくれる職場があればいいなあと思う。子供が欲しくても、ためらってしまう。仕事はないし、働いてもすぐクビになるし、一体どうすればいいのだろう。子供はたくさん欲しいのに。

保育園を選びにくい。数が少ないと思う(近くに)。近くを申し込んだら断られたので、子供を育てる環境が整っていないで2人目を産むのをためらっている。

もっと、援助のお金がほしい。

せめて、小学校6年までは、医療費無料。

子供手当で。保育園入所する所がたくさんあればいい。

スクールバス！通学が遠くて大変。

民間の会社に勤めています。制度が整っていないので、子供が具合悪くても休みづらい。官公庁のような制度が、どの会社、企業にもあるようになってもらいたいです。

子供を生んでも働きやすい環境<核家族にとって>

育児休暇取得のしやすさや、待機児童に関する改善。託児所を増やしたり、育児相談などが簡単にできる環境が増えれば良いと思う。地域ぐるみで子育てをしていける環境。

子どもがいない家庭でも、運動会等育成会行事に参加して、地域で子どもを守り、地域を盛り上げていくこと

仕事・医療・食に自分以外が提供してくれる場がほしい。保育の充実・学童も高学年まで行ってくれる。夫の理解(ない人にはセミナーなど！)

出産時の賃金を安く…そして出産一時金を後からもらうのではなく、入院している時にもらえるシステムをつくってもらいたい。(例えば出生届を出しに行く時にするetc)大抵は産まれてすぐに行くと思うので…。

安定した仕事がある

共働き率が高いところなので、雇用の場が必要だし、出産後も学校行事や医者や業者に連れて行くなど休まなければならぬ時があるので、会社での理解も必要だと思います。(なかなか休みづらいので)パパの育児休暇も取りやすい雰囲気もあればいいと思います。子育てにはお金がかかるので、出生率が高くなると思いません！住みやすいですが、それは別問題です。

医療費の個人負担を減らすなど、経済的な支援

もっと子供が自由に遊べるようにしてほしい

子供の医療費を無料にしてほしい

もっと子供がほしいと思っても、経済的なことを考えるとためらってしまう。理解は得られにくいかもしれないが、子供のいない世帯(夫婦)の税負担を少し高し、子供の教育費(高校以上)に補助してほしい。(将来、年金を負担するのだから…)

育児保険のような制度もあるといい。子供1人につき週3時間は無料で預かりますなど。保育園やその他の育児サービスと組み合わせ、また交換できるような仕組みが作れるといい。お金を配るばかりが育児支援ではないと思う。

0歳児から預けられる保育所があればよい。時間も午後9時頃まで願えるところが、夜勤帯でもOKなところを…。病院に隣接するような施設を作してほしい。

少子化の割には、保育園に空きがない！そういうところから考えてほしい。

土曜日半日学校があったほうが良い。実際子供が良ければ働かせません。仕事を続けるため、つらい、つらい、つらい人もいるのでは？

0歳児からの保育、希望のところで保育

経済的な面が一番必要なのは…。色々な援助が必要だと思います。

子供を預けられるところをもっと増やしてあげられれば、みんな仕事も安心して続けられるのでは。

・待機児童がなくなるように子供の数に合わせた保育士さんの補充をお願いしたい。・子供をつれて遊びに行くところがない。(例えば動物園など)・県、又市町村に合わせた保育料の年齢が違えば鶴岡市にもう少し頑張ってもらいたい。

若い人が魅力を感じる職業や会社があり安定した雇用があること。

離婚して自分ひとりで子供を育てている人、嫁ぎ先の親が子供の面倒をみれないなど様々な理由でこどものことが負担になった。

高齢化になり子供を見てもうには容易ではなくなっているので学童施設は学校の側にあって欲しい。共働きが多くなっているのを考えて欲しい。

この地域では子供を預けて働く人が多いので保育費をただにするとか安心して仕事ができる様な環境があればよいと思う。短時間で子供を預けて自分の用事ができる様な所があれば良いと思う。

仕事が終われば収入が溢れる事が無いが、安定した就業環境とはいえない。収入が低いとすべてにひびく。生活上不安だらけ。この辺が改善されればいい。

治安の良い環境

どんな子供でも安心して学べる教育の場。そして、今のニーズにあった教育内容にしてほしい。例えば、週二制ではなく土曜も昔のように学校に行くとか、今大人達は週二で休む親も少なくなっています。その間、学校にいるんだという安心感もできます。

子育ての悩みや喜びを共有できる場所がほしい。子育てした後に働く職場がほしい。

勤労の充実(ママたちが働きやすい社会)子育て支援の今以上の社会的協力(今のままの職場では確実に子供をもうける人が減っていくと思う。)

- ・世代間交流がある地域社会・経済的支援

教育環境の充実 経済面でのサポート

どこでも子供が自由に遊ぶ店をいっぱい作る。

教育や出産・育児にかかるお金の負担を減らして欲しい。子沢山=貧乏では子供は増えない。子供の看護休暇・行事の休みなど取れるようにして欲しい。ワークライフバランス。

特に何も期待していません

子どもに対して、もっと経済的な援助が必要。子どもを産む前の仕事を続けていくのは、困難。仕事をええれは経済的に苦しくなる。女性への仕事面でもっと支援してほしい。今ある子ども手当で半額支給は、うれしいように、とても経済的に不安。不要に入っている私にとっては、全額支給でなければマイナスになる。この景気の悪いときに、子ども手当で家計がマイナスになるのは、とても苦痛。

保育料をもっと安く、預けたい時にすぐ預けられるようにしてもらいたい。

犯罪や事件が起きないよう警察の方のパトロールや地域での声かけ、目配り

企業の育児についての理解。(育児を取りやすくする、男性の育児の支援等) 病児病後児保育 保育園への予算拡大

- ・保育園、幼稚園の充実(児童館は内容に比べて費用が高すぎる。都会の私立幼稚園並み)・育児後の再就職先の充実(育児しながら働くか、育児をしてから働くか、自由に選択できるように)

子供を保育してくれる場所(両親が勤務の日で子供が病気でなくなった時でも保育してくれる)が多くあること。

- ・保育料の低額

私の周りの人も「子育て=お金がかかる」と思っている人が多く、実際でもお金がかかっていると思います。オムツ、ミルク代はもちろんですが、1番は保育園です。共働きなので仕方ありませんが、やはりお金の面が一番心配です。

働きながら安心して子育てができる環境をもっと作ってほしい

病気のとき見てくれる施設

子供を産んでも(2ヶ月から)預けて働けない、入所を希望しても入園できないことが多い、子供が病気で会社を休めない、休むと上司にいやな顔をされる、もっと社会全体で働く母親を応援してほしい。それができないから少子化にもなるし、子育てにお金がかかるため子供は要らない、だったら結婚しなくてもいいか……になっていることはないのか?

妊娠→出産→育児 全てにおいて金銭面で負担が大きいです。子供1人を育てるだけでも大変なので、少しでも継続した援助があると助かります。

保育料などが無料化になると良いと思う

保育所をもっと多くして待機児童にならないようにしたりすれば仕事をすることができるようになると思います。

子供手当より保育園無料化のほうがいい

保育施設の充実。収入。24時間小児救急の対応がある病院。

庄内町のようにランドセルや産婦人科受胎料(妊娠・出産時)の支給等、子供を金銭的に安心して育てているバックアップがあったほうが良いと思う。子育て支援とよく聞くと、子育て応援パスポートも実際しようできない試みがない。もっと実感できる支援をみんな必要としていると思います。

経済の面で、子育ての支援が、もう少しあれば、・・・と思う。同じ県内でも、最近の話では新型インフルエンザの予防接種の費用が全額負担してくれる町があり、そのような支援はありがたいし、うらやましく思えた。経済的なことで、出産に踏み込めない人もとても多く感じるし、負担も大きいので、少子化のことを本気で考えないのであれば、支援は必要と思う。例えば、小中学生くらいまで医療費の軽減になるようなこととか・・・。

- ・男の人の考え方が変わること。ジェンダーにとらわれない。育児・家事を女性の仕事と思わない。・子供ができたら産める環境になれば・・・(中絶が多すぎる、中絶の数が全て出生数になると、出生率はぐんと上がると)
- ・母親を見守る体制が必要。批判でなく、手助けを。
- ・子供の病気の時の仕事の休暇を取りやすくしてほしい

今、待機児童が増えています。鶴岡市は合併したことで、保育所等受け入れる体制が整っていると思う。

今、ニュースになっている育児放棄で子供をかわいそうに合わせる目にも合わせることのないように行政にもお願いしたい

子供にまつわる経済面の優遇をしてもらいたい。

子供を預かってもらえる環境。みんなが近所の子供たちを見ていられる環境がほしいと思う。

出産後も働けるように子供預けられる施設が充実していること

今は親の私たちの生活費がきついため、2人目がほしくてもすぐには・・・と考えてしまいます。出産費用もかからなくなりますが、そこからが大変。教育などにもお金がかからない社会になればいいと思います。

- ・妊婦検診の無料化、出産費用をもう少し負担するとか
- ・子供が遊べる場所が揃えば少ない。
- ・保育園、今は市町村合併したから仕方ないのかもしれないが、旧鶴引町以外の市(旧鶴岡市)が入園しているせいで、旧町内の人が、町内の園に預けられないので、鶴岡市の人は、保育園が市内にいっぱいあるのだから、そっちに入園するとかするようにならねばならない。役場がでたらめだと安心できない。

福祉関係に財政を充実させてほしい

生活基盤がしっかりと社会にすること(収入と行政サポートがしっかりした社会)

乳幼児は急に熱を出したり、怪我をしたりすることが多い。医者に連れて行くことで仕事を休むと、職場での立場が大変になる。周囲の理解が必要だと思うし、父親ももっと育児参加すべき。男性も育児がとれるような社会でなくてはならない

新発田市のように中学までの医療費無料や、子供に対しての助成を積極的にしてほしい

保育園を増やしてほしい。保育料を少し見直したほうが良いと思う。

子育て中の家庭を支える支給がもっと十分にほしい。保育料の無料化。子供手当を保育料の方へまわす等考えてほしい。

子供の医療費の助成をもっと拡大してほしい

やはり、経済的なことが大きいと思うので、支援してもらえたらありがたいと思う。

子供を生み育てる上で、女性は仕事と家庭のバランスを考えて、最適な時期を考えると、計画性を持っていると思います。仕事に出て行くとき、あるいは、不測のときなど、子育て経験のある女性のサポートが受けやすいように、高齢者のための地域包括支援センターのような存在が必要。子育て支援センターがあるが、保育園に入園していない在宅で見ているお母さんたちにもサービスして、どんどん働きかけて話す機会を持つようにすると良い。母子手帳が全てのお母さん様に配られるように、こうしたサービスももっとはとへ外へと提供していければ。

「親」だけに子育ての責任をおわせるのではなく、家族・地域で助け合えると良い。福祉にはかり力を入れすぎ。

保育料をもっと安くしてもらいたい。高すぎると産む事に不安を感じます。いくら所得に応じてはいいえ、高すぎると思います。全国平均から見てもかなり高いようです。見直しをお願いします。育休も市で義務化して会社に言ってもらいたい。(今の会社では前例がないため取れないようなので)

保育料の減額。病気の時の一時保育できる施設の充実

もっと子どもたちが遊べる所があれば良いと思ってる。

医療の充実、教育、ゆとり(経済、時間)共働き率が高いので、ゆとりがない。楽しめることが少ない。子どもたちが大人になったとき、住みたいと思える地域になってほしい。何にお金をかけるのか？

育児や子育ての相談できる場所が少しかない

子ども手当を控えてほしい

安心して働ける環境、豊富な職種が家族を守るために必要だと思います。

掘引に大きな公園があったらいい。

経済的余裕

乳幼児を子育て中でも夫婦が2人だけの時間を持つ様なサービスの充実(映画を見る間とか夕食の間とか)。乳幼児期はとも大切な時期なので、仕事をセーブして、なるべく親子で過ごす時間をつくる様に条例をつくってほしい。親子関係の信頼が築かれてからフルタイムで働いた方がずっと幸せに過ごせると思う。思春期の難しい時期も乗り越えられる。

子育てに大変な時期は家で子育て出きる経済的支援があり、働ける時期になったらスチームズに仕事につける制度があれば心配なく子どもを産もう！と思う。

保育園や学童保育の充実。上記の利用料の安さ。子供が病気になる時に保育してくれる場所等。

私が勤めてきた企業は、賃金が安く、経済的にとても苦しかったので、地域全体の賃金のスペースアップが可能となれば嬉しいです。

子供が欲しくても不妊症などで病院に通うのもお金がかかります。そんな人たちのために支援金があれば、もっと子供が増えると思います。子供を育てたくても、産めないとしたかたがたから、お金がないから産むことをあきらめてしまう人もいます。

安心して仕事が続けられるようにしてほしい。保育にかけなくても近くの保育園には空きがなく、一時保育もたらいまわし状態。毎日なれないばかりの様子。仕事に集中できず、子供を産みたいが困難を感じる。

子供が生まれても再就職できるように、保育所の充実を図って欲しい。経済的に共働きたいが子供を預かってくれるところがなく働けません。

問24に、子供が大きくなったら出て行きたいと本気で思っている！！

低年齢の子供を受け入れてくれる保育施設を充実させること。

地域内で子供を受け入れる施設が多ければ働きながら子供を預けられる安心感があると思います。時間等。

子供を安心して誰でも預けられる環境、保育園の待機がなくなるよう。

大人が自分の家の子と関わっている子供や周りに(環境)について良く知ること、関心を持つこと。

若い人が希望を持って働ける職場や職業の確保、地元に住みたくても安定した収入がなくて住めない。

地区毎違うが、うちの地区には子供が遊べる場所がない。

医療費を無料にしろ(高校から中学まで)お金がかからずいい教育を受けられること

子供はたくさん育てたいと思ってるが、高校・大学と学費がとほうもなくかかってしまう。そのため、共働きになると子供と関われなくなってしまう。たくさんお子供とかかわり育てられるよう教育費などの負担をお願いしたい。

昔みたいに同居する人が減ってきているので出生率は下がると思う。同居しても義父母が仕事をしていたら同じだと思う。産み育てられる地域社会になるには難しいと思う。

保育所とか預けられる環境が一番だとは思いますが、支障しすぎるものかどうかと思います。

子育てをしながらかパートで仕事をしているが、職場の上司は30代後半、40代で結婚していない男性のためか理解がない。職場環境と企業努力、理解が必要。

地域サポートセンターのような支援機関。困ったとき、悩んだとき、相談できるしくみ。

お金よりも、個々の人生を楽しくできる様な社会体制だと思う。

女性に負担が少しでも軽減されることが必要。⇒体力的にも精神的にも協力し、支えてくれる人やシステムがあること。

・子供を持つ親の教育、勉強会 ・子供の授業料(高校、幼稚園)・医療費の無料 ・お悩みホットライン(子育て)

子供関係のアミューズメントパークが必要！(他県まで行かない様に庄内地域に沢山！交通の便(掘引町内循環バスが少なすぎる！)

経済的にも共働き家庭が多い中、保育園などほ施設が少ない気がする。また、手続きや説明がややこしい(わかりにくい)。結婚がどうのこうのよりも、そういった将来かかわる土台がしっかりしていなければ結婚を考える人も不安を感じると思う。

地域の公園や遊具をきちんと管理し、安全なものにする。

義務教育までは無料としたら子どもの数も増えるかも。

保育施設の受入体制の拡大、学童保育の配置、雇用促進

治安のよさが大事だと思います。

保育園の充実、子供の遊び場の確保

・子供連れでも過ごしやすい、出かけやすい場所を作る(スーパーとかレストラン等) ・子供への医療面への助成(小6まで全員無料とか) ・第2子以上を出産の人に何らかの特典があるとか→6ヶ月間オムツ無料など、金銭面で助ければ・・・

子供を預ける保育園や親子でくつろげる公園などが身近にあることかな？

平和と福祉の充実

周囲の大人がしかる、見守る！！まずは地域からだと思います。子供を1番に考えたいです。

少子化の中、子供が欲しくても子供ができません。不妊治療にも費用がかかり大変です。鶴岡市でも不妊に對する補助を行って欲しいです。現在県の補助金15万しか出ていません。実際はその2.5倍はかかります。どうか検討して下さい。

やっぱりお金です。児童手当や出産費用や、高校の授業料無料とか大変助かると思います。子供が年子だったり、双子だったら・・・自分自身、子供2人を私立高校に入れ授業料や部活費用など大変でした。その上、仕事がなくったりと・・・やっぱり様々な経済援助は必要だと思います。

周りの理解、助け合える環境。

<p>会社の上同等の子育てに対する理解が必要だと思えます。今の時代の流れを理解してくれないので…社会保険など、子供を生んでから安心して育てられる体制が必要。(保育・支援) 仕事をしながらでも育てられる会社・地域がもっと増えなければならぬ。</p> <p>衣食住において、様々な情報が錯綜している。子供たちや、人間にとってなにが危ないのかをしっかりとした価値観を持って選択することが重要だと思う。自分の手で育てた作物で料理して子供を産み育てたら理想です。</p> <p>一般企業の育児休暇を完全に取得できるようにする事。(例えば市で条例など決めてしまった方がよい。) 保育料の無料化。</p> <p>充実まれていると思えます。</p> <p>保障</p> <p>子ども手当よりも、保育料の値下げ、医療費の一部負担の年齢を上げるなど、生活に直結した政策が必要だと感じている。</p> <p>中学生まで医療費がタダとかしてほしいです。医者にかかる費用は小学生になると3割と高いです。3人も子供がいると、医療費がかさみます。鶴岡市は残念ながらこのような制度がありません。市内の核家族の人だと、子供が風邪をひいても医者には連れていかないといいました。(風邪位では連れて行かないと) などとなく分かる気がしますが…。</p> <p>おじいちゃん、おばあちゃんも子どもたちとふれあえる場があっても良いと思います。</p> <p>子どもに対して、お金がかからないような仕組み</p> <p>子どもの学費など、必ず必要なお金を子ども手当のような費用で、直接支払うようにしてほしい。</p> <p>1番の不安はお金だから、仕事が増え、若い人が地元に残るよう奨励施設を設けるべき。</p> <p>安心して子どもを預けることができる。職場での対応(子どものいる家庭に対して) 理解</p> <p>子どもが大きくなるのに必要なものは、プレゼントしてもらおう</p> <p>子供を安心して預けることのできる場所を。親が働く場所を失わない環境が一番大事。働かなければ子供は育てられない。子供手当をこれからも現金支給で。</p> <p>育児をしながら仕事が続けられること</p> <p>・子どもを連れて遊びにいける場所が増えること・子供にかかる費用が安くなること。</p> <p>福祉の充実が益々重要だと思う。</p> <p>育児休暇の徹底や保育園の充実、社会復帰しやすい状況が必要だと思う。</p> <p>市の雇用対策</p> <p>子供を育てるのはお金がかかる！収入源の確保が必要。</p>

20～40代の市民の生活・意識に関する アンケート調査ご協力をお願い

平成22年8月
鶴岡市榑引庁舎総務課

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。
日頃より鶴岡市の市政運営にご理解とご協力をいただき心から感謝申し上げます。
さて、このアンケート調査は、榑引庁舎の「未婚化実態調査・検討事業」の一環として、成年層の生活・意識を調査するため、榑引地域にお住まいの20代から40代(平成22年6月30日現在)のすべての市民の皆様にご協力をお願いするものです。
調査結果は、結婚したいと思える人が結婚しやすい地域社会や、安心して子どもを生み育てられる地域社会など、活力ある地域社会づくりのための基礎資料として活用するとともに、鶴岡市ホームページへの掲載、榑引庁舎及び榑引公民館での閲覧により公表を予定しております。
お忙しい中誠に恐縮ですが、アンケート調査にご協力いただきますようお願い申し上げます。
なお、この調査のご回答は、数字に置き換えてデータとして処理しますので、ご回答結果から個人情報が特定されることはありません。(ただし、婚活についての情報提供を希望される方は、別紙「婚活情報の情報提供について」に、住所・氏名等を記入頂き、アンケートに同封してください。)

○アンケートの記入等について

- ・アンケートの記入は、アンケート対象者ご自身の方にお願いいたします。
- ・記入頂いたアンケートは、同封の封筒(小)に入れて密封のうえ、世帯分をまとめて同封の封筒(大)に入れて、8月20日(金)まで地区区長さんにお渡しください。

ご不明な点などがございましたら、下記の担当までお問い合わせください。

敬具

【お問合せ】
鶴岡市榑引庁舎総務課
担当：佐藤文博、菅原
TEL 57-2111 (内線 258、213)
FAX 57-2117
E-mail ku-somu@city.tsuruoka.yamagata.jp

右側のアンケートに進んでください。➡

問1 あなたのプロフィールについて、お尋ねします。

- (1) あなたの年齢
*記入いただいている時点での満年齢をお答えください。 _____ 歳
- (2) あなたの性別 (1つに○印) 1) 男性 2) 女性
- (3) あなたのご両親からみでの続柄 (1つに○印)
1) 長男・長女 3) 三男・三女 5) 五男・五女
2) 二男・二女 4) 四男・四女 6) それ以外
- (4) お住まいの地区 (1つに○印)
1) 榑引東小学区 2) 榑引西小学区 3) 榑引南小学区
- (5) あなたの就労状況 (1つに○印)
*収入を伴う就労(家業の手伝いも含む)を対象とし、家事やボランティア活動は除いてください。
1) 正社員・正職員 4) パート・アルバイト 7) 学生
2) 農林水産業 5) 契約社員・派遣社員 8) その他 ()
3) 農林水産業以外の自営業 6) 無職
- (6) あなたの父親の就労状況 (1つに○印)
1) 正社員・正職員 4) パート・アルバイト 7) 学生
2) 農林水産業 5) 契約社員・派遣社員 8) 父親はいない
3) 農林水産業以外の自営業 6) 無職 9) その他 ()
- (7) あなたの母親の就労状況 (1つに○印)
1) 正社員・正職員 4) パート・アルバイト 7) 学生
2) 農林水産業 5) 契約社員・派遣社員 8) 母親はいない
3) 農林水産業以外の自営業 6) 無職 9) その他 ()
- (8) あなたの世帯の主な収入 (1つに○印)
1) 給与収入 3) 事業収入 5) 給与収入と事業収入
2) 農業収入 4) 給与収入と農業収入 6) その他 ()
- (9) 結婚について (1つに○印)
1) 結婚していない (9-1) へ
2) 婚約中である (10) へ
3) 結婚している (10) へ
4) 結婚していたが、離別・死別した (10) へ

②のページ(9-1)または(10)へ
進んでください。➡

(9-1) あなたは、「結婚」したいと思いませんか。(1つに○印)

- 1) 必ず結婚したい 4) 特に結婚したいとは思わない
- 2) いい人が現れたら結婚したい 5) 結婚したくない
- 3) いつかは結婚したい

※すべての方にお尋ねします。結婚している方も、していない方もお答えください。

(10) 現在の子供の人数 (1つに○印)

- 1) 0人 2) 1人 3) 2人 4) 3人以上

(11) 将来の理想の子供の人数 (1つに○)

- 1) 0人 2) 1人 3) 2人 4) 3人以上

生活について

問2 あなたの趣味は、どのようなことですか。(あてはまるものいくつかでも○印)

- 1) 友人との遊び、おしゃべり 6) パソコン、ケータイ 11) ボランティア活動・地域活動
- 2) スポーツ 7) ゲーム 12) 育児
- 3) 音楽・映画 8) 食事、飲酒 13) 勉強
- 4) 読書 9) ドライブ 14) その他 ()
- 5) おしゃれ、ファッション 10) 旅行・アウトドア

問3 あなたは、時間の余裕があるときに、どのように過ごしていますか。

(あてはまるもの2つまで○印)

- 1) 同性の友人と過ごしている 4) 趣味の仲間と過ごしている
- 2) 恋人・配偶者と過ごしている 5) ひとりで過ごしている
- 3) 家族・子どもと過ごしている 6) 仕事や学校が忙しく、ほとんど時間の余裕がない

問4 あなたは、ご自身の人生設計について、どのように考え、行動していますか。

(A～Dそれぞれ1つに○印)

	考えて行動している(した)	考えているが、行動(対応)していない	真剣に考えていない	考える必要がない
A. 女性の出産年齢を考えて、結婚すること	1	2	3	4
B. 定年の年齢を考えて、子どもを作ること	1	2	3	4
C. 親の介護が必要になったときの対応	1	2	3	4
D. 老後の過ごし方	1	2	3	4

問5 あなたは、他人とのコミュニケーションについて、得意な方ですか。(1つに○印)

- ①初めて会う人 1) 得意である 2) 普通 3) 苦手である
- ②異性 1) 得意である 2) 普通 3) 苦手である

③のページ 問6へ進んでください。➡

問6 コミュニケーションについて、どのようなことが大切だと思いますか。(3つまで○印)

- 1) いろいろな話題を提供する 6) お互いが楽しめる話題を探す
- 2) 相手の知らない情報を提供する 7) 会話が途切れないようにする
- 3) 会話がおもしろくなるようにする 8) はずかしがらずに話す
- 4) 相手の話を良く聞く 9) その他 ()
- 5) 相手の話したいことを話しやすくする 10) 特に気をつけていない

問7 あなたが結婚した場合、女性(妻)の就業について、どのように考えますか。(1つに○印)

- 1) 結婚・出産しても、育児休暇などを利用しながら働き続けたい(続けてほしい)
- 2) 結婚・出産の際に、一時的に仕事をやめて、子どもが大きくなったら復職したい(してほしい)
- 3) 専業主婦をしたい(してほしい)
- 4) よくわからない

結婚についての考え方・イメージ

※すべての方にお尋ねします。結婚していない方も、イメージをお答えください。

問8 あなたは、「結婚」に、喜びや希望を感じますか。(1つに○印)

- 1) 非常に感じる 4) 全く感じない
- 2) どちらかといえば感じる 5) どちらともいえない
- 3) どちらかといえば感じない

問9 あなたは、「結婚」にどのような負担を感じますか。(あてはまるもの全てに○印)

- 1) 家事が増えること 7) 行動の自由が制約されること
- 2) 育児をすること 8) 結婚相手と自分の家族との同居
- 3) 結婚相手の父母などの介護 9) 結婚相手の家族との同居
- 4) 生計を立てること 10) わからない
- 5) 生活の水準が下がりそうなこと 11) 特に負担は感じない
- 6) 仕事と家庭を両立すること

問10 あなたは、どのようなことを結婚する(した)相手に求めますか(ましたか)。

(特に重要なことすべてに○印)

- 1) 人柄 6) しっかりと仕事をする 11) 自分の仕事に対する理解・協力
- 2) 信頼感 7) 家事・育児の能力 12) 家族との同居
- 3) 共通の価値観 8) 顔・身長など容姿 13) その他 ()
- 4) 共通の趣味 9) 学歴
- 5) 経済力 10) 職業

問11 結婚すると、どのようなことが良いと思いますか。(2つまで○)

- 1) 精神的な安らぎの場が得られる 6) 生活が便利になる
- 2) 愛情を感じている人と暮らせる 7) 経済的余裕が持てる
- 3) 子どもや家族を持てる 8) その他 ()
- 4) 社会的信用や対等な関係が得られる 9) 特にない
- 5) 親や周囲の期待に応えられる

裏面④のページ 問12、または問14へ進んでください。

※結婚している方、したことがある方にお尋ねします。(結婚していない方は問14へ)

問12 どのような理由で結婚しましたか。(重要なこと3つまで○印)

- 1) 自分や相手の年齢を考えて
- 2) 相手に結婚を迫られた
- 3) お互いに信頼できると思ったから
- 4) 家族や親戚から勧められて
- 5) 転勤など仕事の関係で
- 6) 子どもができたから
- 7) 子どもがほしかったから
- 8)なんとなく、特にない
- 9) その他 ()

問13 配偶者とは、どのようなきっかけで出会いましたか。(1つに○印)

- 1) 友人・知人を通じて
- 2) 家族・親戚の紹介
- 3) 職場や仕事で
- 4) 学校で
- 5) クラブ・習い事・趣味活動で
- 6) 見合いで
- 7) 幼なじみ・隣人関係
- 8) 街なかや旅先で
- 9) 飲み会やコンパで
- 10) 結婚相談所やお見合いパーティーで
- 11) その他 ()

(※) SNSとは・・・「ソーシャル・ネットワーク・サービス」のことで、人と人のつながりを促進・サポートする、コミュニティ型のウェブサイト。

※現在結婚していない方にお尋ねします。(結婚している方は問22へ)

問14 あなたは、現在特定の異性と交際していますか。(1つに○印)

- 1) している
- 2) していない

問15 同じ年代の異性と、新たに出会う機会がありますか。職場や学校の出会いも含めてください。

(1つに○印)

- 1) 1年に数回はある
- 2) 1年に1回程度ある
- 3) ほとんどない

問16 あなたは、どのような理由で結婚していませんか。(重要なこと3つまで○印)

- 1) まだ若すぎる
- 2) 仕事や勉強に専念したい
- 3) 趣味や娯楽を楽しみたい
- 4) 自由や気楽さを失いたくない
- 5) 適当な相手にめぐり合わない
- 6) 異性とうまく付き合えない
- 7) 親や周囲が結婚に同意しない(だろう)から
- 8) 家庭の年収が心もとない
- 9) 結婚すると生活水準が下がりそう
- 10) もう少し、相手のことを知りたい
- 11) 婚約中、結婚を考えているところである
- 12) 必要を感じない
- 13) その他 ()

問17 異性と、どのように出会う機会があると良いと思いますか。(重要なこと3つまで○印)

- 1) 趣味や娯楽を通じて出会う機会
- 2) 仕事を通じて出会う機会
- 3) 友人の紹介
- 4) コンパやお見合いパーティーなど、たくさんの人の中で出会う機会
- 5) お見合いや結婚紹介所など、一対一で出会う機会
- 6) その他 ()

⑤のページ 問18へ進んでください。➡

問25 同居すると、どのようなことを負担に思いますか？(重要なこと2つに○印)

- 1) 生活・文化が異なること(衣食住)
- 2) 生活のリズムが異なること
- 3) 親や家族の介護
- 4) プライバシーが保ちにくいこと
- 5) 経済的な負担や分担
- 6) 価値観が異なること
- 7) 特にない
- 8) その他 ()

問26 将来あなたの子ども夫婦との同居について、理想的なものを選んでください。

(1つに○印)

- 1) 結婚後すぐに同居してほしい
- 2) 結婚後すぐは別居でも、いずれ同居してほしい
- 3) 自分の介護が必要になったら同居してほしい
- 4) 同居してほしい
- 5) わからない
- 6) その他 ()

子育てについての考え方・イメージ

※すべての方にお尋ねします。子どもがいない人も、イメージをお答えください。

問27 あなたは、「子育て」をどのように感じますか。(1つに○印)

- 1) 楽しいと感じるときが多い(と思う)
- 2) 楽しいと感じるときとつらいと感じるときが同じくらい(と思う)
- 3) 辛いと感じるときの方が多(と思う)
- 4) わからない

問28 「子育て」は、どのような楽しさがあると思いますか。(当てはまるものすべてに○印)

- 1) 子どもの成長がわかること
- 2) 子どもの笑顔が見られること
- 3) 子育てで、自分自身も成長できること
- 4) 自分がリフレッシュできること
- 5) 夫婦・家族の中で会話が增えること
- 6) 子どもを通じて、近所や地域に知りあいが增えること
- 7) 子育ての経験が仕事や趣味に役立つこと
- 8) 自分が大切な存在と思うようになること
- 9) その他 ()

問29 あなたは、自分にとって「子育て」の辛さとは、どんなことだと思いますか。

(当てはまるものすべてに○印)

- 1) 体力や根気がいること
- 2) 乳幼児期の子育てにお金がかかること
- 3) 子どもの将来の教育にお金がかかること
- 4) 自由時間がなくなること
- 5) 思ったように働けないこと
- 6) 子どもにどのように接すればよいかわからないこと
- 7) 子どもを連れて外出するのが大変なこと
- 8) 子育ての大きさを配偶者など周りの人にわかってもらえないこと
- 9) その他 ()

⑦のページ 問30へ進んでください。➡

問18 あなたは、現在婚活(結婚活動)をしていますか。(1つに○印)

- 1) している (問19)へ
- 2) していない (問21)へ

問19 あなたは、どのような婚活をしていますか。(主なものに3つまで○印)

- 1) 友人・知人の紹介
- 2) 家族・親戚の紹介
- 3) クラブ・習い事・趣味活動で
- 4) 見合いで
- 5) 飲み会やコンパで
- 6) カップリングパーティーで
- 7) 結婚相談所の紹介
- 8) ブログやSNSを通じて
- 9) 自己啓発セミナー等の受講
- 10) その他 ()

問20 あなたは、婚活に関する情報をどこから得ていますか、または得ましたか。

(主なものに3つまで○印)

- 1) テレビ・ラジオ
- 2) 新聞
- 3) 雑誌・書籍
- 4) インターネット
- 5) 広報誌・コミュニティ情報誌
- 6) フリーペーパー
- 7) 口コミ
- 8) 家族や友人・知人
- 9) その他 ()
- 10) 特にない

※問22へ進んでください

※問18で「2) していない」と回答した方にお尋ねします。

問21 あなたは、どのような理由で婚活をしていませんか。(主なものに3つまで○印)

- 1) はずかしいから
- 2) 金銭的余裕がないから
- 3) 異性と話すのが苦手だから
- 4) やり方がわからないから
- 5) 効果がないと思うから
- 6) 面倒だから
- 7) 特にない
- 8) その他 ()
- 9) 交際している人がいるから
- 10) 婚約しているから

※すべての方にお尋ねします。

問22 あなたは、どのような婚活支援事業を行政に期待しますか。(重要なこと3つまで○印)

- 1) 結婚相談員・アドバイザーの配置
- 2) 交流パーティーなど出会いの場の創出
- 3) 祝い金や記念品を贈る結婚祝いの贈呈
- 4) 交際術やマナー、ファッションを学ぶ自己啓発セミナーの開催
- 5) 結婚紹介ビジネスや出会いの場の情報提供
- 6) その他 ()
- 7) 特に期待しない

問23 結婚した後のご両親やご家族との住まいについて、理想的なものを選んでください。(1つに○印)

- 1) 同居
- 2) 同じ敷地内で別居
- 3) 鶴岡市内で別居
- 4) それ以外で別居
- 5) わからない

問24 同居すると、どのようなことが良いと思いますか？(重要なことに2つまで○印)

- 1) 経済的に節約できる
- 2) 家事や育児を分担できる
- 3) 病気や緊急事態の助け合える
- 4) 精神的な安心感がある
- 5) 知恵や文化を伝承できる
- 6) 特にない
- 7) その他 ()

⑥のページ 問25へ進んでください。➡

問30 あなたは、出生率の低下により子供の人数が少なくなってきている「少子化」に関心がありますか。

(1つに○印)

- 1) とても関心がある
- 2) 多少関心がある
- 3) あまり関心がない
- 4) 全く関心がない
- 5) わからない

鶴岡市の魅力

※すべての方にお尋ねします。

問31 鶴岡市にはどのような魅力があると思いますか？(主なものに3つまで○印)

- 1) 自然や風景
- 2) 歴史・文化
- 3) 農林水産業
- 4) 商工業
- 5) 観光
- 6) 福祉
- 7) 教育
- 8) 人柄や人情
- 9) 友人や家族がいること
- 10) 働きやすさ
- 11) 暮らしやすさ
- 12) その他 ()

問32 あなたは、今後も鶴岡市に住み続けたいと思いますか。(1つに○印)

- 1) 住み続けたい
- 2) どちらかといえば住み続けたい
- 3) あまり住みたくない
- 4) 住みたくない
- 5) わからない

(その他)

結婚したいと思える、また、結婚したいと思う人が結婚しやすい地域社会となるために、どのようなことが必要とお考えか、ご自由にご記載ください。

Blank box for writing answers to Q32.

安心して子どもを生み育てられる地域社会となるためには、どのようなことが必要とお考えか、ご自由にご記載ください。

Blank box for writing answers to Q30.

ご協力ありがとうございました。